

第Ⅳ章 各自治体の被害想定の概要

1. 想定項目
2. 被害予測単位
3. 想定地震および被害予測結果の概要

1. 想定項目

近年の自治体の被害想定では、物的被害や人的被害の予測だけではなく、ライフライン施設や交通輸送施設の被害予測を実施している自治体が多くなっている。また、被災地域の住民の生活支障を評価するためライフラインの機能支障や震災廃棄物の発生量などを予測したり、地域防災計画の策定に役立てるため災害シナリオ（被害、生活支障、防災対策の時間的推移）や防災対策上の課題などを検討している自治体も増えてきている。

各自治体の被害想定における想定項目を表IV-1-1にまとめる^(注)。表中「○」が記載されている項目は、定量的あるいは定性的に評価がなされているものを指す。

(注) アンケート調査で地震被害想定調査を実施していないと回答のあった自治体（北海道，大分県，北九州市），県による被害想定結果を使用していると回答のあった政令指定市（さいたま市，神戸市，福岡市）は表に含めていない。

各項目の想定状況を見ると、地震動、液状化危険度、建物被害（ゆれ）、地震火災、人的被害（死傷者）については、ほぼ全ての自治体で想定されている。地盤崩壊危険性、建物被害（液状化）、人的被害（避難者等）、ライフライン（電力・通信・上水道・下水道・ガス）、交通輸送施設（道路）については8割以上の自治体が想定している。海岸線を有する都道府県では、津波に対する検討を行っているところが多い。一方、建物被害（地盤崩壊・ブロック塀等）、人的被害（要救出者・帰宅困難者）、土木構造物（河川堤防・海岸堤防・ため池）については、想定している自治体は少ない。

なお、想定を実施していない自治体の中には、その項目に関する被害の発生可能性について基礎的な調査や検討を実施した上で、被害が発生しない（または、発生する可能性が非常に低い）と判断し、未実施とした自治体もあると考えられる。また、自治体によっては、被害想定は行われているが報告書に記載されていない想定項目があると思われる。本表を活用される際には、十分ご留意いただきたい。

※ 本原稿作成後、東京都および和歌山県のホームページに以下の被害想定資料が公開されたため、本章についてのみ内容を反映した。

- ・東京都(2006) 首都直下地震による東京の被害想定(最終報告)，平成18年3月，
<http://www.soumu.metro.tokyo.jp/04saigaitaisaku/17chousa/higaisoutei/18051honpen.pdf>
- ・和歌山県(2006) 和歌山県地震被害想定調査報告書(概要版)，平成18年3月，
<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/011400/bousai/060113/soutei.html>

表IV-1-1 各自治体の被害想定における想定項目（その1）

自治体	地震動	液状化危険度	地盤崩壊危険性	津波	建物被害					地震火災	人的被害			
					ゆれ	液状化	地盤崩壊	ブロック塀等	津波		死傷者	要救出者	避難者等	帰宅困難者
青森県(97)	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	-
岩手県(04)	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	-
宮城県(04)	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	○	○	○	-
秋田県(97)	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	○	-	○	-
山形県(02,96)	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	○	-	○	○
福島県(98)	○	○	○	○	○	-	-	-	-	○	○	-	○	-
茨城県(04)	○	○	-	-	○	-	-	-	-	○	○	-	○	-
栃木県(04)	○	○	○	×	○	○	-	-	×	○	○	○	○	-
群馬県(98)	○	○	○	×	○	○	-	-	×	○	○	○	○	-
埼玉県(98)	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	-	○	○
千葉県(03)	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	○	-	-	-
東京都(97)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
東京都(06)	○	○	○	-	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○
神奈川県(99)	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
新潟県(98)	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	○	-	○	-
富山県(01)	○	○	-	-	○	○	-	-	-	○	○	○	○	-
石川県(98)	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	-
福井県(97)	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	○	-	○	-
山梨県(05)	○	○	○	×	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○
長野県(02)	○	○	○	×	○	○	-	-	×	○	○	-	○	-
岐阜県(04)	○	○	○	×	○	○	-	-	×	○	○	○	○	-
静岡県(01)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
愛知県(03)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三重県(05)	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	○	○
滋賀県(05)	○	○	-	×	○	○	-	-	×	○	○	-	○	-
京都府(98)	○	○	-	○	○	-	-	-	-	○	○	-	○	-
大阪府(97)	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	○	-	○	-
兵庫県(99,01)	○	○	-	○	○	-	-	○	-	○	○	-	○	-
奈良県(05)	○	○	○	×	○	○	○	-	×	○	○	-	-	-
和歌山県(06)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鳥取県(05)	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	-
島根県(97)	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	-	○	-
岡山県(03)	○	○	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	○	-
広島県(96)	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	○	-	○	-
山口県(97)	○	○	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	○	-
徳島県(05)	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	-
香川県(97)	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	○	-	○	-
愛媛県(02)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-
高知県(04)	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	○	-
福岡県(97)	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	-
佐賀県(97)	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	-	○	-
長崎県(98)	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	○	-	○	-
熊本県(97)	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	○	○	-	-
宮崎県(97)	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	-	○	-
鹿児島県(97)	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	-
沖縄県(97)	○	○	-	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	-
札幌市(97)	○	○	○	×	○	○	-	○	×	○	○	-	○	-
仙台市(02)	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	○	-	○	-
千葉市(96)	○	○	○	-	○	○	-	○	-	○	○	-	-	-
横浜市(05)	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
川崎市(97)	○	○	○	-	○	○	-	-	-	○	○	-	○	-
名古屋市(99)	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	-	○	-
京都市(03)	○	○	○	×	○	-	-	-	×	○	○	-	○	-
大阪市(04)	○	○	-	○	○	-	-	-	-	○	○	-	○	-
広島市(97)	○	○	○	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	-

(注1) -：想定を未実施または報告書に未記載 ×：海岸線を有しない自治体のため実施対象外

(注2) 自治体名の後ろの（ ）内の数字は報告書等の発行年(西暦)の下二桁を表示

表IV-1-1 各自治体の被害想定における想定項目（その2）

自治体	ライフライン					交通輸送施設			土木構造物		シナリオ
	電力	通信	上水道	下水道	ガス	道路	鉄道	港湾・漁港	河川・海岸堤防	ため池	
青森県(97)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩手県(04)	—	—	○	—	○	○	—	—	—	—	○
宮城県(04)	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○
秋田県(97)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
山形県(02, 96)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
福島県(98)	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○
茨城県(04)	○	—	○	○	○	○	○	—	—	—	—
栃木県(04)	○	○	○	○	○	○	○	×	—	—	—
群馬県(98)	○	○	○	○	○	○	○	×	—	—	○
埼玉県(98)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
千葉県(03)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
東京都(97)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
東京都(06)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—
神奈川県(99)	○	○	○	—	○	○	○	○	—	—	○
新潟県(98)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
富山県(01)	○	—	○	○	○	○	○	—	—	—	○
石川県(98)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
福井県(97)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
山梨県(05)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—	○
長野県(02)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
岐阜県(04)	○	—	○	○	○	—	—	×	—	—	○
静岡県(01)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○
愛知県(03)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○
三重県(05)	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—
滋賀県(05)	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—
京都府(98)	○	○	○	—	○	○	○	—	—	—	—
大阪府(97)	○	○	○	—	○	○	—	—	—	—	○
兵庫県(99, 01)	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—
奈良県(05)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
和歌山県(06)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—
鳥取県(05)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○
島根県(97)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
岡山県(03)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
広島県(96)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
山口県(97)	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—
徳島県(05)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—
香川県(97)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○
愛媛県(02)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○
高知県(04)	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○
福岡県(97)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—
佐賀県(97)	○	○	○	—	○	○	○	—	○	○	—
長崎県(98)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○
熊本県(97)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宮崎県(97)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
鹿児島県(97)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○
沖縄県(97)	○	○	○	○	○	○	—	○	—	—	○
札幌市(97)	○	○	○	○	○	○	—	×	○	—	—
仙台市(02)	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	○
千葉市(96)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○
横浜市(05)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—
川崎市(97)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
名古屋市(99)	○	○	○	○	○	○	—	○	—	—	○
京都市(03)	○	○	○	○	○	○	○	×	—	—	○
大阪市(04)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
広島市(97)	○	—	○	○	○	○	—	—	○	—	—

(注1) —：想定を未実施または報告書に未記載 ×：海岸線を有しない自治体のため実施対象外
(注2) 自治体名の後ろの（ ）内の数字は報告書等の発行年(西暦)の下二桁を表示

2. 被害予測単位

各自治体の被害想定における予測単位を表IV-2-1にまとめる。

各自治体とも、調査対象地区の面積や調査手法の精度と照らし合わせながら、予測単位を設定していると考えられる。なお、報告書に予測単位が明記されていない場合は、予測手法や予測結果図から推定しているものもある。

表IV-2-1を見ると、各想定項目の予測単位の傾向は以下のようにまとめられる。

- ・地震動や液状化危険度、建物被害については、500mメッシュ（4次メッシュ）で予測が行われている自治体が多く、政令指定市では250mメッシュも多い。
- ・津波は100m以下のメッシュサイズの自治体が多い。
- ・地震火災については、予測手法上の問題から市町村単位（政令指定市では全域）で予測をしている自治体も多くある。

出火件数はメッシュごとの建物被害数から求められるが、その出火件数は非常に小さく、1件に満たないことが多い。そこで、多くの自治体では市町村単位でいったん集計した後、出火点を再配置することにより、延焼シミュレーションを行っている。表中では、メッシュ図が添付されている場合はメッシュのサイズを、分布図がない場合は集計表にまとめられている最小集計単位を記した。

焼失棟数についても、多くの自治体でメッシュによる計算が行われているが、出火点の位置による不確実性が大きいという問題を抱えている。ここでは、延焼動態図が添付されている場合はメッシュのサイズを、延焼動態図がない場合は集計単位を記した。

- ・ライフラインの施設被害については、500mメッシュの自治体が多く、政令指定市では250mメッシュも多い。機能支障については、市町村単位で予測をしている自治体が多い。表中には施設被害の予測単位を記した。
- ・交通輸送施設については、路線や区間ごとに予測を行う自治体が多い。
- ・人的被害については、予測手法上の問題から市町村単位で予測をしている自治体がほとんどとなっている。これらの被害は過去の被害統計資料に基づいて予測されることが多く、これらの資料は、地震ごと、あるいは市町村ごとの被害量を整理したものであるため、母数が小さなメッシュにこの手法を適用することは問題が多いためである。なお、表中の人的被害の項目には、建物の損壊および火災による死傷者数予測の際に使用された単位を記した。

表IV-2-1 被害想定予測単位

	地震動	液状化危険度	地盤崩壊危険性	津波	建物被害(ゆれ)	地震火災		人的被害(死傷者)	ライフライン					交通輸送施設				
						出火	焼失		電力	通信	上水道	下水道	都市ガス	道路(路線)	道路(構造物)	鉄道(路線)	港湾・漁港	
青森県(97)*1	250	250	個別	40	500	250	250	市町村	1km	1km	1km	1km	1km	1km	1km	500	1km	個別
岩手県(04)	500	500	個別	40	500	500	500	市町村	×	×	500	×	500	個別	個別	×	×	
宮城県(04)	500	500	個別	50	500	250	250	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	×
秋田県(97)	500	500	個別	50	500	市町村	市町村	市町村	500	500	500	500	500	区間	区間	区間	個別	
山形県(02,96)	500	500	個別	100	500	市町村	500	市町村	市町村	市町村	市町村	市町村	市町村	区間	区間	区間	個別	
福島県(98)*2	500	500	500	100	500	市町村	市町村	市町村	市町村	市町村	市町村	市町村	事業所	路線	500	路線	×	
栃木県(04)*3	500	500	個別	×	500	市町村	市町村	500	500	500	500	500	500	区間	区間	区間	×	
群馬県(98)	500	500	500	×	500	消防	消防	市町村	500	500	500	500	500	区間	個別	定性	×	
埼玉県(98)	500	500	個別	×	500	市町村	500	市町村	500	500	500	500	500	500	500	500	500	×
東京都(97)	500	500	市町村	引用	500	町丁	250	市町村	500	500	500	500	500	500	500	500	500	定性
東京都(06)	250	250	250	×	250	250	250	市町村	250	250	250	250	250	250	市町村	区間	地区別	
神奈川県(99)	1km	1km	1km	50	1km	1km	1km	広域	市町村	市町村	市町村	×	市町村	箇所	箇所	定性	定性	
新潟県(98)	500	500	個別	10	500	市町村	500	市町村	500	500	500	500	500	区間	個別	区間	個別	
富山県(01)	1km	1km	×	×	1km	1km	1km	1km	1km	×	1km	1km	1km	1km	個別	1km	×	
石川県(98)	500	500	個別	150	500	市町村	市町村	市町村	500	500	500	定性	500	区間	区間	定性	定性	
福井県(97)	500	500	個別	500	500	市町村	市町村	市町村	500	500	500	500	500	500	500	500	500	個別
山梨県(05)	500	500	個別	×	500	市町村	市町村	市町村	市町村	市町村	市町村	市町村	市町村	路線	×	路線	×	
長野県(02)	500	500	500	×	500	市町村	500	市町村	500	500	500	500	500	区間	個別	区間	×	
岐阜県(04)	500	500	個別	×	500	500	500	市町村	500	×	500	500	500	×	×	×	×	
静岡県(01)	500	500	個別	40	町丁	250	250	市町村	市町村	市町村	市町村	市町村	市町村	区間	区間	区間	個別	
愛知県(03)	500	500	500	50	500	市町村	250	市町村	市町村	市町村	市町村	市町村	市町村	区間	区間	区間	個別	
三重県(05)	500	500	500	50	500	町丁	町丁	町丁	市町村	市町村	市町村	市町村	市町村	-	-	-	×	
滋賀県(05)	500	500	×	×	町丁	町丁	町丁	町丁	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
京都府(98)	1km	1km	×	引用	1km	1km	1km	1km	定性	定性	定性	×	定性	定性	定性	定性	×	
大阪府(97)	500	500	個別	50	町丁	町丁	100	町丁	全域	全域	500	×	全域	路線	路線	×	×	
兵庫県(99,01)	500	500	×	25	500	500	500	500	×	×	×	×	×	区間	区間	区間	×	
奈良県(05)	250	250	250	×	250	250	250	市町村	市町村	市町村	市町村	市町村	市町村	定性	定性	定性	×	
和歌山県(06)*4	250	250	個別	-	250	250	250	-	-	-	250	250	250	路線	-	-	-	
鳥取県(05)	500	500	50	50	500	市町村	250	市町村	500	500	500	500	500	500	500	500	500	個別
島根県(97)	500	500	500	町丁	500	500	500	市町村	500	500	500	500	500	500	500	500	500	個別
岡山県(03)	500	500	×	×	1km	1km	1km	1km	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
広島県(96)	500	500	500	定性	500	市町村	500	市町村	500	定性	500	500	500	区間	区間	区間	個別	
山口県(97)	500	500	×	×	市町村	市町村	市町村	市町村	×	×	市町村	×	×	×	×	×	×	
徳島県(05)	250	250	個別	20	250	250	250	250	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県(97)	500	500	500	-	500	500	500	市町村	500	500	500	500	500	路線	路線	路線	個別	
愛媛県(02)*3	500	500	個別	500	500	市町村	500	市町村	500	500	市町村	500	500	500	500	500	500	個別
高知県(04)	250	250	個別	150	1km	250	250	市町村	定性	定性	500	定性	定性	区間	区間	区間	×	
福岡県(97)	500	500	500	マップ	500	500	500	市町村	500	500	500	500	500	500	500	500	500	個別
佐賀県(97)	500	500	-	-	市町村	市町村	市町村	市町村	市町村	市町村	市町村	×	市町村	路線	個別	路線	×	
長崎県(98)	500	500	500	地域	500	500	市町村	市町村	500	500	500	500	500	500	500	500	500	-
宮崎県(97)	500	500	個別	10	500	市町村	区域	市町村	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500
鹿児島県(97)	500	500	500	-	500	500	市町村	市町村	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500
沖縄県(97)	500	500	×	-	500	500	市町村	市町村	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500
札幌市(97)	500	500	500	×	500	全域	全域	全域	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500
仙台市(02)	250	250	個別	50	250	250	250	区	区	区	250	250	250	×	×	×	×	
千葉市(96)	100	100	100	×	100	100	100	町丁	100	100	100	100	100	-	-	-	100	
川崎市(97)	250	250	個別	×	町丁	250	250	区	250	250	250	250	250	路線	個別	路線	延長	
名古屋市(99)*5	500	500	定性	62.5	500	500	500	500	全域	全域	全域	区	-	×	個別	×	全域	
広島市(97)	500	500	500	×	500	500	500	500	500	×	500	500	500	×	個別	×	×	

(注1) 各自治体の報告書より作成(予測未実施や予測単位不明の項目の多い自治体を除く)

(注2) 自治体名の後ろの()内の数字は報告書等の発行年(西暦)の下二桁を表示

*1 青森県:震度、液状化危険度、建物被害、地震火災は、居住地域500mメッシュ(市街地250m)、その他1kmメッシュを採用

*2 福島県:震度、液状化危険度、斜面・地盤災害、建物被害は、市街地で500mメッシュ、その他で1kmメッシュを採用

*3 栃木県、愛媛県:結果は市町村単位で表示されている項目もある

*4 和歌山県:市街地は250mメッシュ、その他は500mメッシュを採用

*5 名古屋市:水道の供給支障は区単位、ガスの供給支障はブロック単位で考慮

×:想定を未実施または報告書に未記載

500など:予測単位のメッシュサイズ(数値の単位無しは「m」)

広域:広域市町村圏単位での予測

区域:延焼可能区域を設定して予測

震度:同一震度の地域ごとに予測

マップ:地形図等により、被災区域を予測

定性:定性評価

-:予測を行っているが、予測単位が不明

個別:施設ごとの被災確率の予測

消防:消防本部(消防組合)単位での予測

路線:路線ごとに評価

延長:岸壁の被災延長を予測

区間:交差点間、駅間等ごとに評価

引用:ほかの調査結果を引用して記載

3. 想定地震および被害予測結果の概要

本節では、各自治体の被害想定における想定地震と被害予測結果の概要についてまとめる。

まず、各自治体の想定地震のうち被害を予測しているものを表IV-3-1にまとめる。自治体の中には、基盤に同一の地震動を入力させた場合の被害について予測している場合があるが、ここには掲載していない。また、津波については、被害量を算出せず、浸水深などから定性的評価を行っている場合がある。この場合は、表中に△を記載した。

次に、自治体別に想定地震の震源に関する情報と、主な想定地震の被害予測結果について概要をまとめる。地震数が多い場合は、被害の大きい地震について取り上げた。まとめにあたっては、地震被害想定調査報告書のほか、各自治体のホームページ等に掲載されている被害想定 of 概要説明資料、地域防災計画などを参考にした。

人的被害については、想定時刻によって表中に記載されている数値よりも大きくなる場合がある。避難者数（罹災者数）については、自治体により用語・定義が異なる場合がある。また、最近では、災害対策を実施するための基礎資料として、時系列的に避難者数を算出している場合もある。本資料では、最大値として計上されている数字を記載した。

この他、自治体ごとに集計方法や想定内容が異なる場合については、表中の備考欄に記入した。いくつかの自治体では、一つの想定地震に対していくつかのケース（条件）を設定している場合がある。複数のケースが想定されている場合は、以下の考え方に基づいて被害量を掲載している。

○基本的に、被害が大きくなると考えられる条件を採用した。

- ・季節：冬
- ・時刻：夕刻（18時頃）
- ・風速：最大のもの
- ・消防力：活動できない場合
- ・火災の影響（ライフライン）：考慮する

○少数の自治体でのみ設定された条件については、以下のとおりとする。

- ・積雪の有無（福井県における建物被害）：雪がない場合
- ・地震の予知：警戒宣言が発令されない場合

（注）レイアウトの関係で一部の自治体の掲載順を変更している部分がある。

表IV-3-1 各自治体の主な想定地震（その1）

	想定地震	地震規模 マグニチュード [°]	被害予測			想定地震	地震規模 マグニチュード [°]	被害予測	
			地震動	津波				地震動	津波
青森県(97)	想定太平洋側海溝型地震	8.2	○	○	新潟県(98)	秋田沖の地震	7.6	○	○
	想定日本海側海溝型地震	7.3	○	○		新潟県南西沖の地震	7.7	○	○
	想定内陸型地震	7.2	○			粟島付近の地震	7.5		○
岩手県(04)	想定宮城県沖運動地震	Mw 8.0	○	○	富山県(01)	下越地域の地震	7.0	○	
	明治29年(1896)三陸地震	8 1/2		○		中越地域の地震	7.0	○	
	昭和8年(1933)三陸地震	8.1		○		上越地域の地震	7.0	○	
宮城県(04)	宮城県沖地震(単独)	Mw 7.6	○	△		法林寺断層	7.0	○	
宮城県(04)	宮城県沖地震(運動)	Mw 8.0	○	△	石川県(98)	大聖寺の地震	7.0	○	
	長町-利府線断層帯	Mw 7.14	○			加賀平野の地震	7.0	○	
	昭和8年(1933)三陸地震	8.1		△		邑知湯の地震	7.0	○	
秋田県(97)	天長地震モデル	7.2	○			能登半島北方沖の地震	7.0	○	○
	能代地震モデル	7.0	○		能登半島東方沖の地震		7.8	○	○
	陸羽地震モデル	7.2	○		福井県(97)		福井地震断層	7.1	○
	強首地震モデル	7.1	○			敦賀断層	7.2	○	
	想定秋田沖地震	7.7	○	○	山梨県(05)	東海地震	8.0	○	
山形県(02, 96)	山形盆地断層帯地震	7.8	○		長野県(02)	糸魚川-静岡構造線(北部)の地震	8.0	○	
	青森県西方沖	7.3		△		糸魚川-静岡構造線(中部)の地震	8.0	○	
	山形県西方沖	7.7		△		信濃川断層帯の地震	7.5	○	
	山形県沿岸	7.7		△		伊那谷断層帯の地震	7.9	○	
	富山県北方沖	7.7		△		東海地震	8.0	○	
	新潟県沿岸	7.0		△		阿寺断層系の地震	7.9	○	
福島県(98)	福島盆地西縁断層帯地震	7.0	○		岐阜県(04)	複合型東海地震	Mw 8.27	○	
	会津盆地西縁断層帯地震	7.0	○			阿寺断層系地震	7.5	○	
	双葉断層地震	7.0	○			跡津川断層地震	7.4	○	
	福島県沖地震	7.7	○	○		関ヶ原-養老断層系地震	7.3	○	
茨城県(04)	茨城県南西部直下地震	7.0	○			高山・大原断層帯地震	7.2	○	
栃木県(04)	想定今市地震	6.4	○		静岡県(01)	東海地震	8.0	○	○
	想定宇都宮市直下地震	7.3	○			神奈川県西部の地震	7.0	○	
群馬県(98)	群馬県南西部地震	7.0	○		愛知県(03)	想定東海地震	Mw 7.96	○	○
	群馬県北部地震	7.0	○			想定東南海地震	Mw 8.15	○	○
	群馬県南東部地震	7.0	○			想定東海・東南海地震運動	Mw 8.27	○	○
埼玉県(98)	南関東地震	7.9	○			養老-桑名-四日市断層帯	7.4	○	
	東京-埼玉県境直下地震	7.2	○		伊勢湾断層帯主部と白子-野間断層の運動	Mw 7.00		△	
	綾瀬川断層	7.4	○						
	西埼玉地震	6.9	○		三重県(05)	東海・東南海・南海地震	8.7	○	○
千葉県(03)	県北西部	7.2	○			東海地震	8.0	○	○
	県中央部	7.2	○			東南海地震後南海地震	8.1, 8.4	○	○
	県北東部	7.2	○			養老-桑名-四日市断層帯	7.8	○	
	県西部	7.2	○			布引山地東縁断層帯(西部)	7.4	○	
	関東地震	8.2	○	○	布引山地東縁断層帯(東部)	7.6	○		
元禄地震	7.9	○	○	頓宮断層	7.3	○			
東海地震	8.0	○	○	滋賀県(05)	琵琶湖西岸断層帯地震	7.8	○		
東京都(97)	区部直下の地震	7.2	○			花折断層帯地震	7.6	○	
	多摩直下の地震	7.2	○			東南海・南海地震	Mw8.5	○	
	神奈川県境直下の地震	7.2	○		京都府(98)	花折断層	7.6	○	
	埼玉県境直下の地震	7.2	○			西山断層系	7.5	○	
東京都(06)	東京湾北部地震	7.3, 6.9	○			黄檗断層系	7.1	○	
多摩直下地震(プレート境界多摩地震)	7.3, 6.9	○		三峠断層		7.0	○		
上林川断層	7.0	○							
神奈川県(99)	東海地震	約8	○	○	若狭湾内断層	7.0	○		
	南関東地震	7.9	○	○	南海地震	8.4	○		
	神奈川県西部地震	約7	○	○					
	神奈川県東部地震	約7	○	○					
	神縄・国府津・松田断層帯地震	約8	○	○					

(注1) 自治体名の後ろの()内の数字は報告書等の発行年(西暦)の下二桁を表示

(注2) Mw: モメントマグニチュード[°]

(注3) △: 津波による被害量を算出せず、定性的評価を行っている場合

表IV-3-1 各自治体の主な想定地震（その2）

	想定地震	地震規模 マグニチュード	被害予測			想定地震	地震規模 マグニチュード	被害予測	
			地震動	津波				地震動	津波
大阪府(97)	上町断層系	Mw 6.88	○		愛媛県(02)	川上・小松断層	7.6	○	
	生駒断層系	Mw 6.82	○			石鎚-池田・三野断層	8.0	○	
	有馬高槻構造線	Mw 6.96	○			伊予断層	7.1	○	
	中央構造線	Mw 7.00	○			伊予灘沖海底断層	7.8	○	
	南海トラフ(南海・東南海)	Mw8.3, 8.1	○	○		安政南海地震(1854)	8.4	○	○
兵庫県(99, 01)	有馬高槻構造線～六甲断層帯地震	7.7	○		高知県(04)	南海地震単独発生モデル(高知県モデル)	8.4	○	○
	山崎断層地震	7.7	○			福岡県(97)	小倉東断層北東部	6.5	○
	中央構造線地震	8.0	○		西山断層南東部		6.5	○	
	日本海沿岸地震	7.3	○	△	警固断層北西部		6.5	○	
	南海道地震	8.4	○	△	水繩断層西部	6.5	○		
奈良県(05)	奈良盆地東縁断層帯	7.5	○		佐賀県(97)	川久保断層系	6.7	○	
	中央構造線断層帯	8.0	○			甌島列島(鹿児島県西方沖)の断層を震源とする地震	7.9		○
	生駒断層帯	7.5	○			対馬列島西の断層を震源とする地震	7.9		○
	木津川断層	7.3	○		長崎県(98)	橘湾-島原半島	7.0	○	
	あやめ池撓曲-松尾山断層	7.0	○			宮崎県(97)	日向灘南部の地震	7.5	○
	大和川断層帯	7.1	○		日向灘北部の地震		7.5	○	○
	千股断層	7.1	○		えびの-小林地震		6.5	○	
	東南海・南海地震同時発生	8.6	○		鹿児島県(97)	鹿児島湾直下	7.1	○	○
	東南海地震	8.2	○			日向灘	7.8	○	○
	南海地震	8.6	○			奄美大島近海	8.0	○	○
	東海・南海地震同時発生	8.3	○			県北部直下	6.5	○	
東海・東南海・南海地震同時発生	8.7	○		県西部直下	6.5	○			
和歌山県(06)	東海・東南海・南海地震	8.6	○	○	沖縄県(97)	沖縄本島南西沖想定地震	8.0	○	○
	中央構造線による地震	8.0	○			多良間島南方沖想定地震	7.4	○	○
	田辺市内陸直下の地震	6.9	○		札幌市(97)	プレート型地震(胆振西部)	7.5	○	
鳥取県(05)	鹿野・吉岡断層	7.2	○			直下型地震 No.1	6.5	○	
	倉吉南方の推定断層	7.2	○			直下型地震 No.2	6.5	○	
	鳥取県西部地震断層	7.3	○		仙台市(02)	長町-利府断層	7.5	○	
	気象庁量的津波予報による波源モデル	7.4		○		宮城県沖地震単独	7.5	○	○
宮城県沖地震連動	7.4		○	宮城県沖地震連動		7.9	○	○	
島根県(97)	松江南方の地震	7.0	○		千葉県(96)	千葉県直下	7.2	○	
	大田市西南方の地震	7.0	○			横浜市(05)	横浜市直下型地震	7.0	○
	浜田市沖合の地震	7.1	○		東海地震		8.0	○	
	津和野町付近の地震	7.0	○		南関東地震	7.9	○		
岡山県(03)	鳥取県西部地震	7.3	○		川崎市(97)	プレート間地震	7.0	○	
	第2鳥取地震	7.2	○			立川断層	6.6	○	
	松江南方地震	7.0	○		名古屋市(99)	想定東海地震	8.0	○	○
	中央構造線の一部	8.0	○			東南海地震	7.9	○	○
	大原断層	7.2	○			濃尾地震	7.9	○	
南海トラフの地震	8.5	○		京都市(03)	花折断層	7.5	○		
広島県(96)	安芸灘～伊予灘の地震	7.1/4	○			桃山断層～鹿ヶ谷断層	6.6	○	
	己斐断層による地震	6.5	○			宇治川断層	6.5	○	
	小方-小瀬断層による地震	7.2	○			樫原～水尾断層	6.6	○	
	中央構造線による地震	7.9	○			光明寺～金ヶ原断層	6.3	○	
山口県(97)	小方・小瀬断層	7.2	○		有馬・高槻断層系	7.2	○		
	菊川断層	7.2	○		黄葉断層	6.5	○		
徳島県(05)	南海地震(中央防災会議モデル)	Mw 8.6	○		琵琶湖西岸断層系	7.7	○		
	東南海・南海地震連動(中央防災会議モデル)	Mw 8.6	○	○	東南海・南海	8.6	○		
	徳島県西部直下の地震	Mw 7.0	○		大阪市(04)	上町断層系	7.2	○	
香川県(97, 05)	南海トラフ	8.4	○	○		生駒断層系	6.5～7.2	○	
	中央構造線	7.7	○			有馬高槻構造線	6.9～7.6	○	
	長尾断層	7.1	○			中央構造線	7.2～7.8	○	
	東南海・南海地震同時発生	8.6	○	○		南海トラフ	8.4	○	
広島市(97)	安芸灘-伊予灘(芸予地震)	7.1/4	○						
	己斐断層	6.5	○						

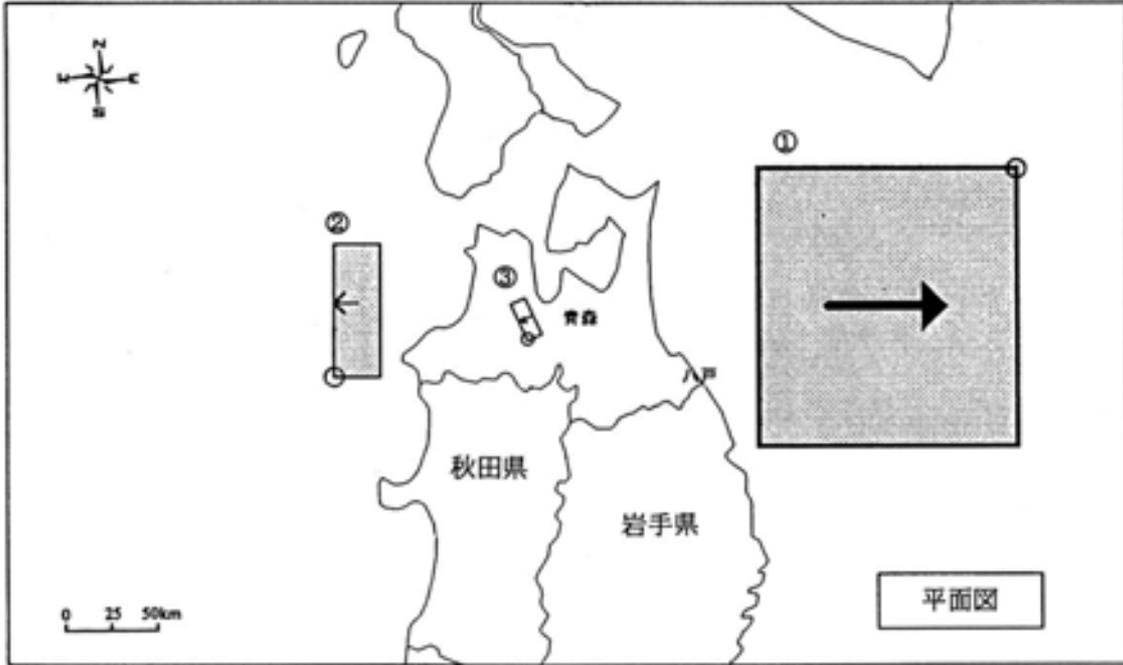
(注1) 自治体名の後ろの()内の数字は報告書等の発行年(西暦)の下二桁を表示

(注2) Mw: モメントマグニチュード

(注3) △: 津波による被害量を算出せず, 定性的評価を行っている場合

青森県(1997)

■想定地震



- は、断層の基準点を示す
- は、運動の方向を示す
- ① 想定太平洋側海溝型地震
- ② 想定日本海側海溝型地震
- ③ 想定内陸型地震

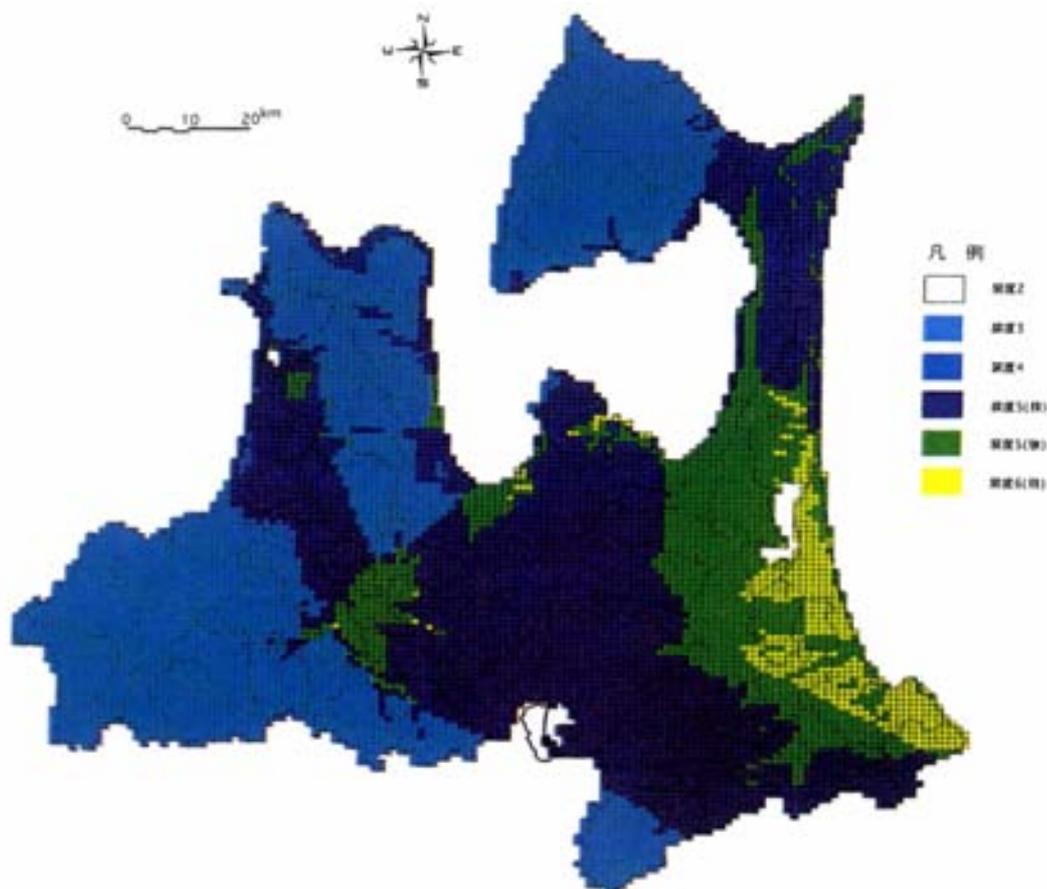
		想定太平洋側海溝型地震	想定日本海側海溝型地震	想定内陸型地震
長さ	(km)	130	70	26
幅	(km)	110	25	13
深さ	(km)	0	0	2
すべり量	(cm)	500	600	210
マグニチュード	M	8.2	7.3	7.2
走向	(°)	180	0	335
傾き	(°)	20(西下がり)	30(東下がり)	45(東下がり)
破壊方向		西から東	東から西	東から西
断層基準点	北緯	41° 30' 00"	40° 30' 00"	40° 37' 03"
	東経	143° 42' 00"	139° 24' 00"	140° 37' 51"

○ 過去の被害地震および活断層分布を参考にして震源断層を設定

■ 想定結果

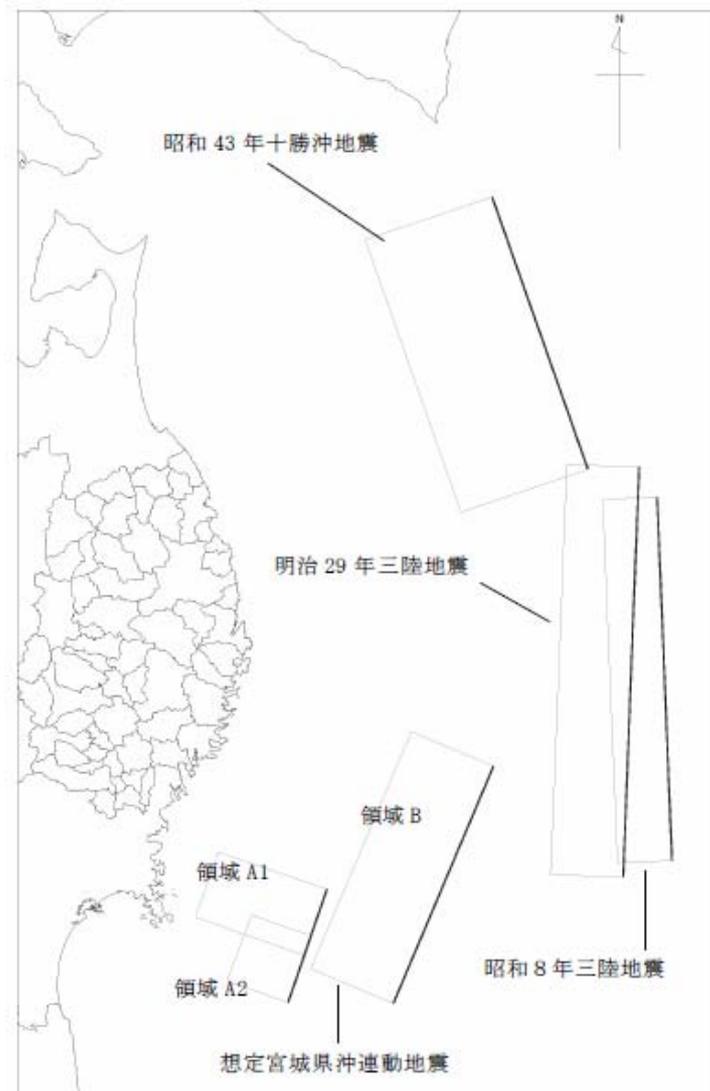
想定地震		想定太平洋側 海溝型地震	想定日本海側 海溝型地震	想定内陸型地震
マグニチュード		8.2	7.3	7.2
被害予測	地震動	○	○	○
	津波	○	○	
地震動予測	震度	～6弱	～6弱	～7
建物被害	建物全壊(大破)棟数	19,470棟	1,313棟	1,670棟
	炎上出火件数	112件	0件	3件
	焼失棟数	2,574棟	0棟	0棟
人的被害	死者数	396人	84人	7人
	重傷者数	4,938人	605人	214人
	罹災者数	143,136人	21,309人	14,596人
ライフライン被害	電力(電柱被害)	1,397本	9本	365本
	通信(電柱被害)	873本	9本	304本
	都市ガス(被害箇所数)	46箇所	1箇所	3箇所
	上水道(被害箇所数)	9,137箇所	684箇所	685箇所
	下水道(被害箇所数)	1,923箇所	28箇所	98箇所
備考		建物被害・ライフライン被害：津波による被害は含まない 人的被害：津波による被害を含む		

【震度分布：想定太平洋側海溝型地震】



岩手県(2004)

■想定地震

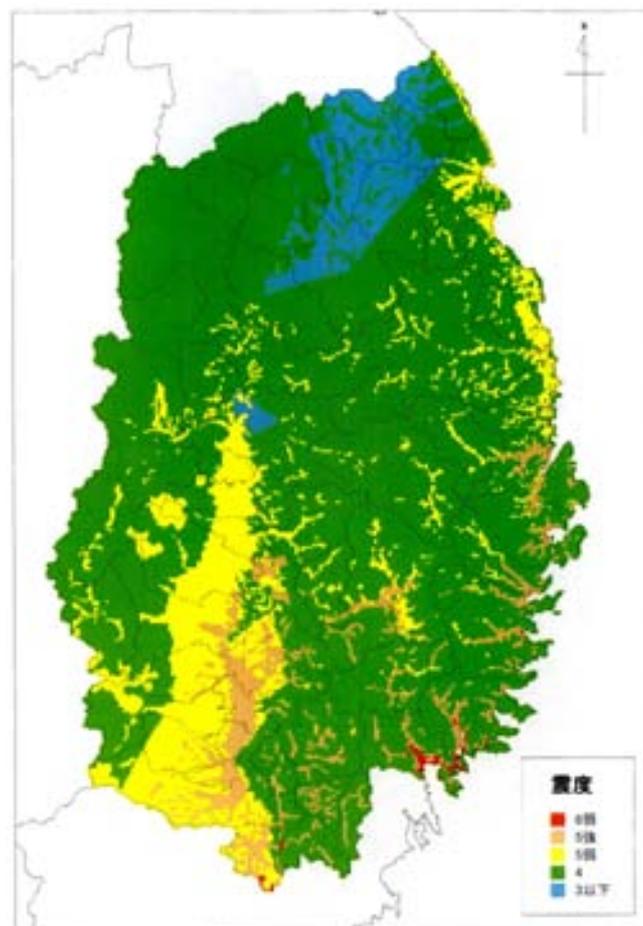


	想定宮城県沖連動地震			想定津波	
	領域A1	領域A2	領域B	明治三陸地震	昭和三陸地震
断層面基準点の緯度 N [°]	38.41	38.20	38.95	40.31	40.16
断層面基準点の経度 E [°]	142.49	142.39	143.52	144.40	144.50
断層基準点の深さ d [km]	26	26	14	0	1
断層の長さ L [km]	36	40	133	210	185
断層の幅 W [km]	64	36	49	50	50
断層の走向 θ [°]	200	200	205	190	180
断層の傾斜 δ [°]	21	21	12	20	45
断層のすべり角 λ [°]	90	90	90	90	270
断層のすべり量 U [cm]	350	350	564	1055	660
マグニチュード	Mw 8.0			8 1/2	8.1

■ 想定結果

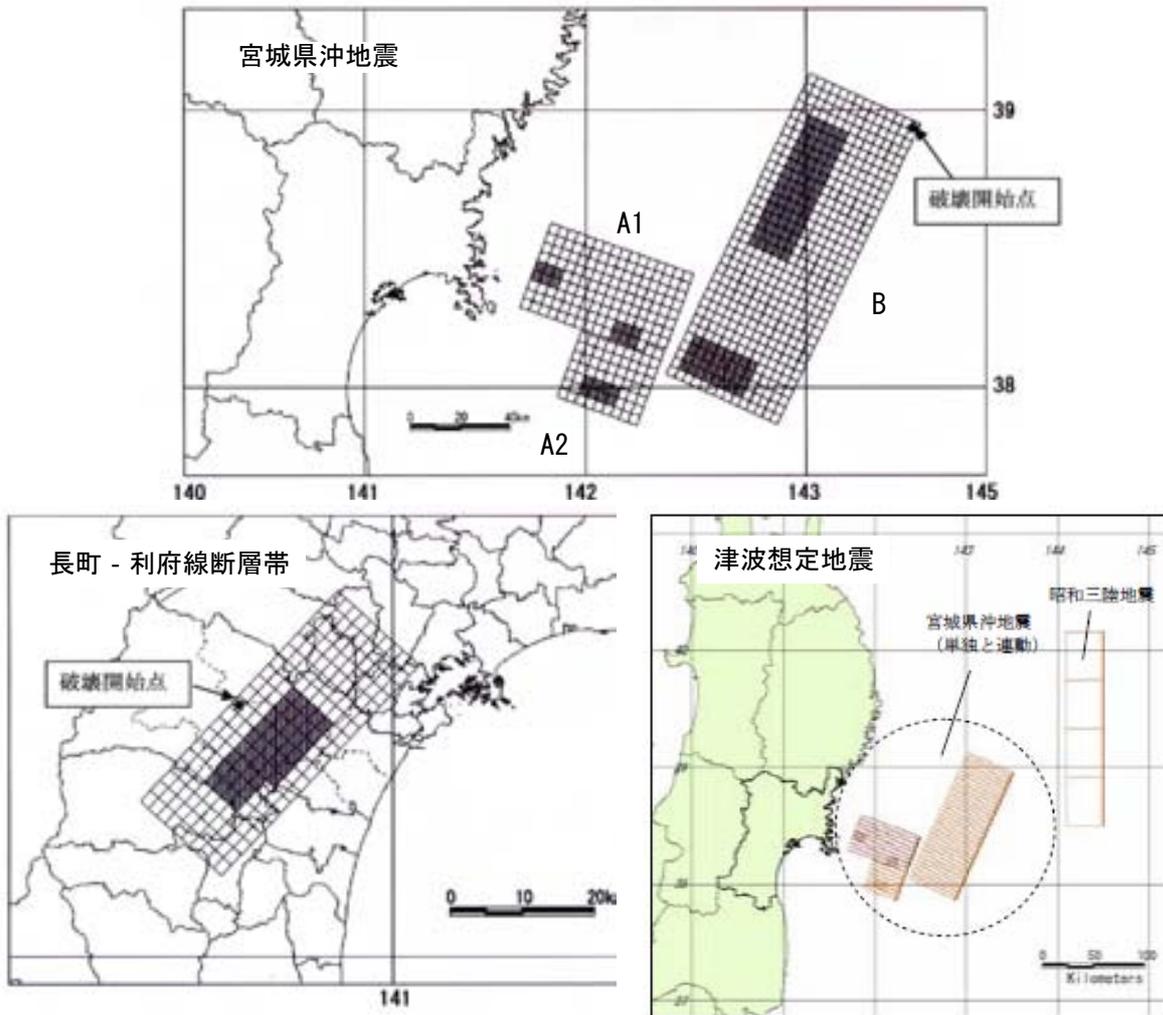
想定地震		想定宮城県沖連動地震	明治三陸地震	昭和三陸地震
マグニチュード		Mw 8.0	8 1/2	8.1
被害予測	地震動	○		
	津波	○	○	○
地震動予測	震度	～6 弱		
建物被害	建物全壊(大破)棟数	289 棟	17,628 棟	6,759 棟
	炎上出火件数	0 件		
	焼失棟数	0 棟		
人的被害	死者数	10 人	1,295 人	230 人
	重傷者数	103 人	812 人	170 人
	避難者数	1,430 人		
ライフライン被害	電力			
	通信			
	都市ガス(供給支障)	45,358 人		
	上水道(断水)	22,443 人		
下水道				
備考		想定宮城県沖連動地震：被害数には津波による被害を含まない 明治三陸地震・昭和三陸地震：津波防災施設の効果が無い場合 (夏の昼・避難所要時間 40 分)		

【震度分布：想定宮城県沖連動地震】



宮城県(2004)

■想定地震

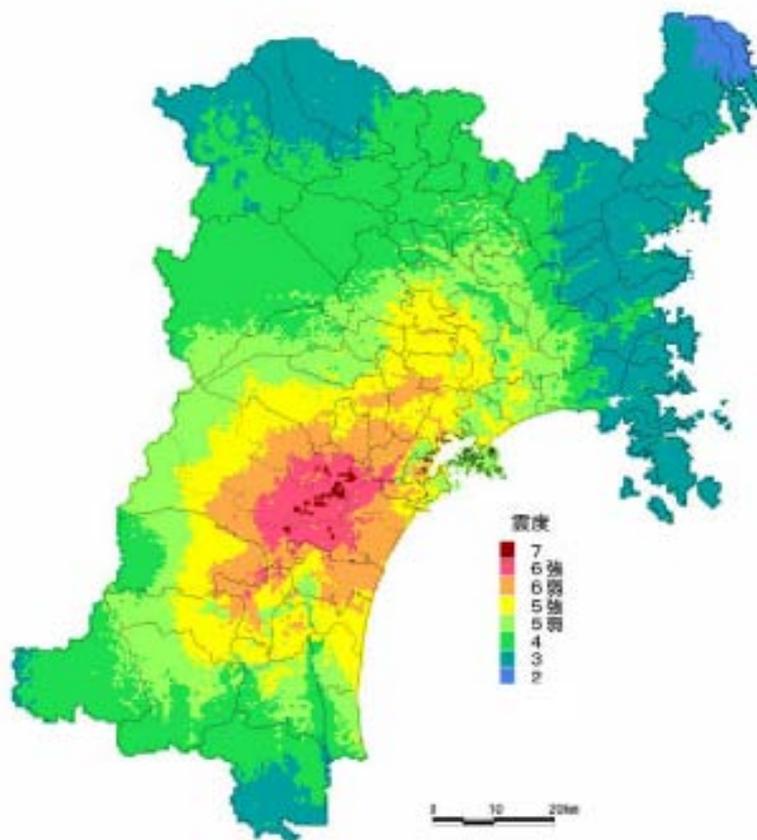


断層帯	宮城県沖地震 (単独)	宮城県沖地震(連動)			長町 - 利府線 断層帯
項目	A1	A1	A2	B	-
緯度(°)	38.41	38.41	38.2	38.95	38.366
経度(°)	142.49	142.49	142.39	143.52	141.042
上端深さ d(km)	26	26	26	14	1
長さ L(km)	36	36	40	133	40
幅 W(km)	64	64	36	49	20
走向 θ(°)	200	200	200	205	223
傾斜 δ(°)	21	21	21	12	40
すべり角 λ(°)	85	85	85	90	90
地震モーメント Mo(N・m)	3.10×10^{20}	5.48×10^{20}		6.46×10^{20}	6.35×10^{19}
モーメントマグニチュード Mw	7.6	7.8		7.8	7.14
		8.0			

■ 想定結果

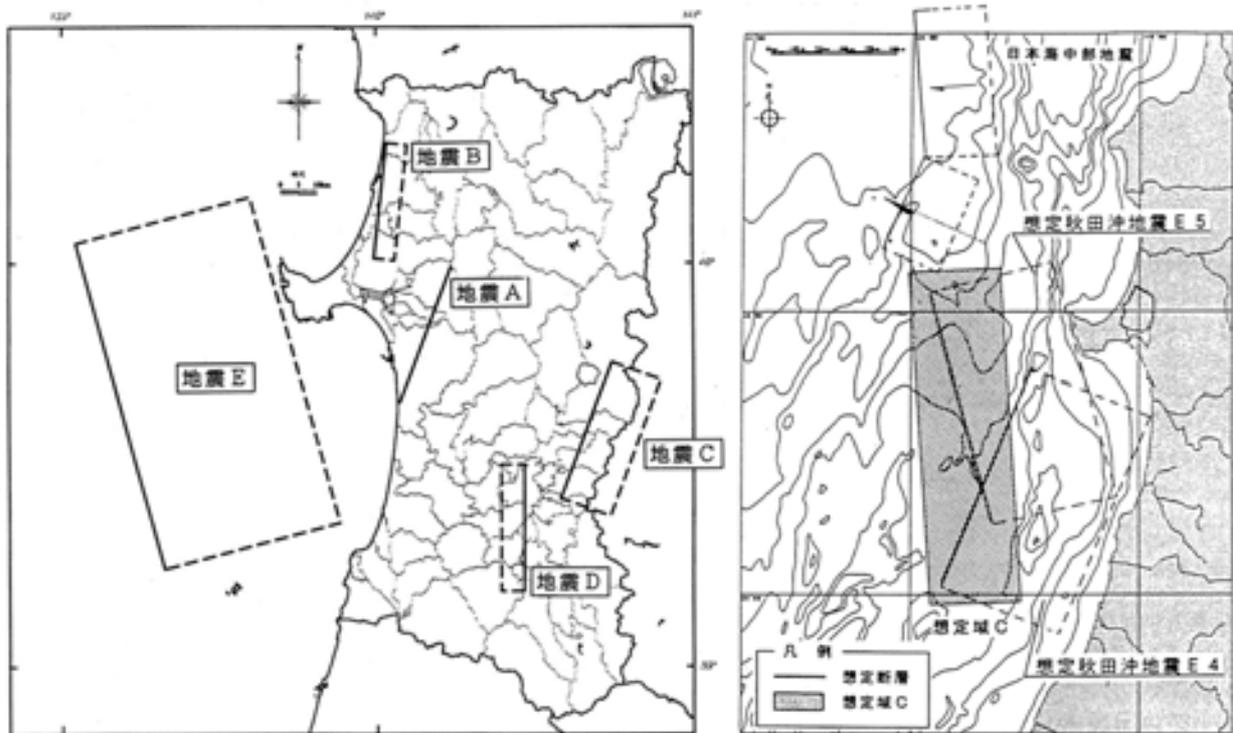
想定地震		宮城県沖地震(単独)	宮城県沖地震(連動)	長町 - 利府線断層帯
マグニチュード		Mw 7.6	Mw 8.0	Mw 7.14
被害予測	地震動	○	○	○
	津波	△	△	
地震動予測	震度	～6強	～6強	～7
建物被害	建物全壊(大破)棟数	5,496棟	7,595棟	15,251棟
	炎上出火件数	122棟	158棟	199棟
	焼失棟数	2,482棟	2,874棟	4,509棟
人的被害	死者数	96人	164人	620人
	重傷者数	468人	658人	983人
	避難者数	90,335人	122,174人	173,239人
ライフライン被害	電力(停電)	93,000世帯	100,000世帯	95,000世帯
	通信(電話不通)	11,000世帯	14,000世帯	26,000世帯
	都市ガス(供給支障)	174,000世帯	242,000世帯	314,000世帯
	上水道(断水)	149,000世帯	186,000世帯	137,000世帯
	下水道(被害箇所数)	6,769箇所	9,262箇所	10,207箇所
備考		津波は浸水深までを想定		

【震度分布：長町 - 利府線断層帯】



秋田県(1997)

■想定地震



【地震動】

想定地震	マグニチュード	長さ (km)	幅 (km)	断層上端の 深さ (km)	すべり量 (cm)
天長地震モデル A	7.2	40	20	6	—
能代地震モデル B	7.0	32	16	4	—
陸羽地震モデル C	7.2	40	20	1	—
強首地震モデル D	7.1	35	18	3	—
想定秋田沖地震 E	7.7	93	54	1	—

【津波】

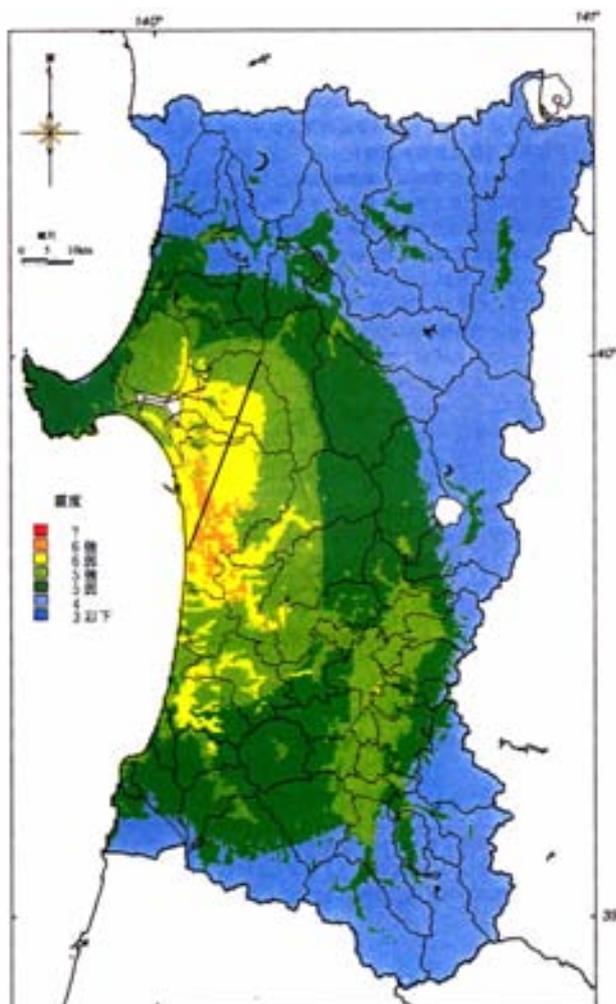
	走向 (°)	長さ (km)	幅 (km)	深さ (km)	すべり 量 (cm)	傾斜角 (°)	ずれ角 (°)	マグニ チュード
想定秋田沖地震 E 4	345	93	54	1	400	90	35	7.7
想定秋田沖地震 E 5	20	93	54	1	400	90	35	7.7

- 地震A～D：過去の被害地震を参考にして震源断層を設定
- 地震E：秋田県沖に指摘されている地震空白域を参考にして震源断層を設定
- 津波地震：日本海東縁部で津波の被害を発生させると予想される地震の想定域〔農林水産省構造改善局ら(1996)〕を参考にして震源断層を設定

■ 想定結果

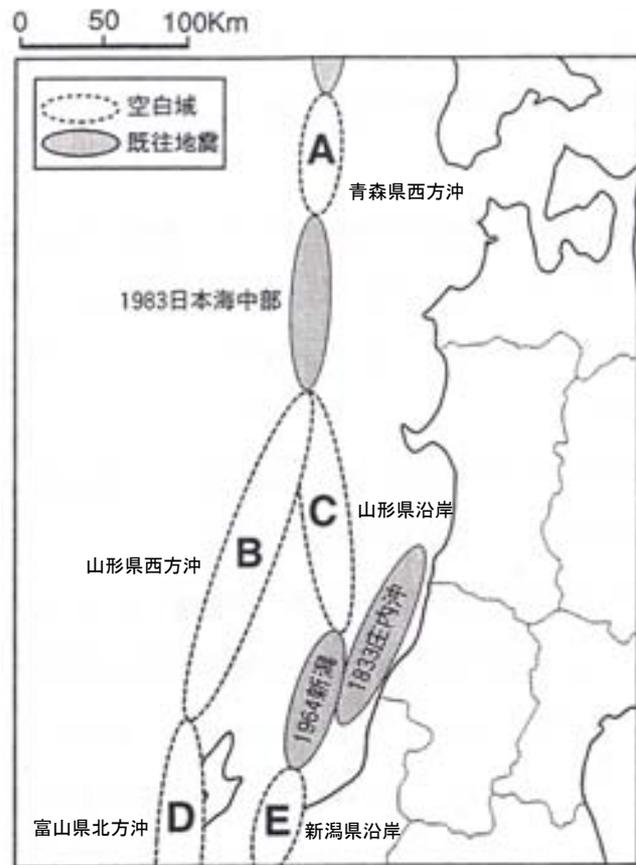
想定地震		天長地震モデル	陸羽地震モデル	強首地震モデル
マグニチュード		7.2	7.2	7.1
被害予測	地震動	○	○	○
	津波			
地震動予測	震度	～6強	～6強	～6強
建物被害	建物全壊(大破)棟数	13,495棟	16,113棟	19,406棟
	炎上出火件数	52件	36件	40件
	焼失棟数	1,956棟	368棟	248棟
人的被害	死者数	1,195人	723人	577人
	重傷者数	1,018人	616人	559人
	避難者数	94,018人	73,556人	68,323人
ライフライン被害	電力(停電)	45,730戸	11,862戸	9,008戸
	通信(電話不通)	48,498回線	7,437回線	5,504回線
	都市ガス(供給支障)	96,115件		
	上水道(断水)	140,886人	113,432人	82,383人
	下水道(被害箇所数)	740箇所	484箇所	106箇所
備考				

【震度分布：天長地震モデル】



山形県 (2002, 1996)

■ 想定地震



【地震動】

想定地震	断層の長さ	マグニチュード
山形盆地断層帯地震	約 60 km	7.8

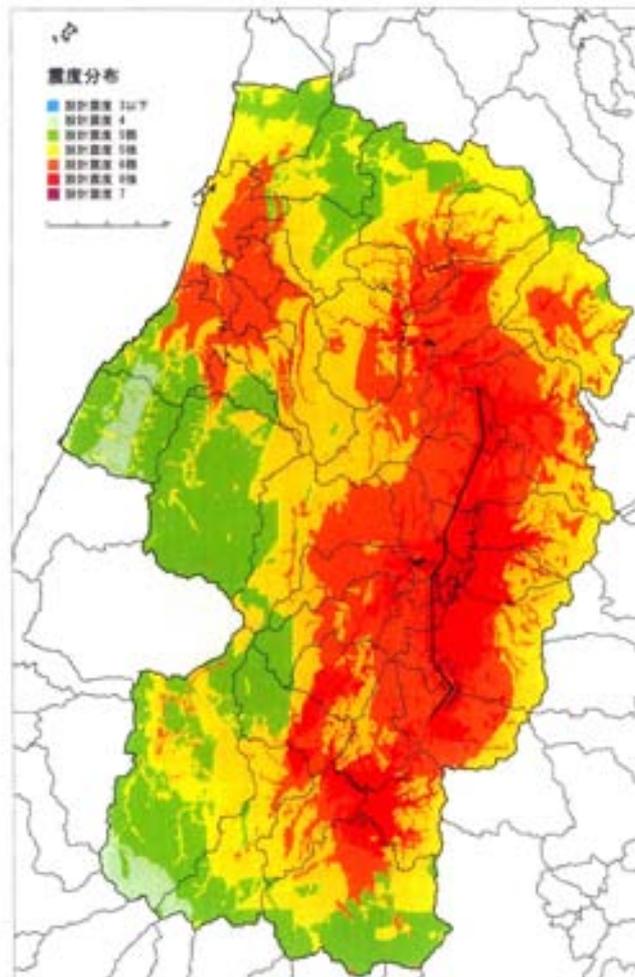
【津波】

	緯度 (° N)	経度 (° E)	走向 (°)	長さ (km)	幅 (km)	深さ (km)	すべり量 (cm)	傾斜角 (°)	ずれ角 (°)	マグニ チュード
想定域A	41.15	139.00	0	70	27	2	280	35	90	7.3
想定域B	38.93	138.09	0	100	38	2	400	35	90	7.7
想定域C	39.09	139.02	335	100	38	2	400	35	90	7.7
想定域D	37.18	137.75	0	100	38	2	400	35	90	7.7
想定域E	37.60	138.70	12	55	21	2	220	35	90	7.0

■想定結果

想定地震		山形盆地断層帯地震
マグニチュード		7.8
被害予測	地震動 津波	○
地震動予測	震度	～7
建物被害	建物全壊(大破)棟数	34,792 棟
	炎上出火件数	397 件
	焼失棟数	840 棟
人的被害	死者数	1,828 人
	重傷者数	2,818 人
	避難者数	95,553 人
ライフライン被害	電力(停電)	114,823 世帯
	通信(電話不通)	98,042 世帯
	都市ガス(供給支障)	50,082 世帯
	上水道(断水)	約 200,000 世帯
	下水道(被害箇所数)	541 世帯
備考		冬期(積雪あり)・ 夕方の場合

【震度分布：山形盆地断層帯地震】



福島県(1998)

■想定地震

【地震動】

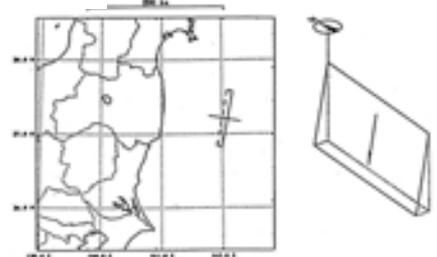


【津波】

想定地震 A



想定地震 B



【地震動】

想定地震	マグニチュード	長さ(km)	幅(km)	震源深さ(km)
① 福島盆地西縁断層帯(台山断層, 土湯断層)の地震	7.0	20	5	10
② 会津盆地西縁南部断層帯の地震	7.0	20	5	10
③ 双葉断層の地震	7.0	20	5	10
④ 福島県沖の地震	7.7	100	60	浅部 20 深部 30

○ 活断層分布および過去の地震活動を参考にして震源断層を設定

【津波】

	緯度(° N)	経度(° E)	走向(°)	長さ(km)	幅(km)	深さ(km)	すべり量(cm)	傾斜角(°)	ずれ角(°)	マグニチュード
福島県沖低角断層地震(想定地震 A)	37.43	142.27	200	100	60	20	282	10	108	7.7
福島県沖高角断層地震(想定地震 B)	37.65	142.2	190	93	46	19	282	80	270	7.7

○ 1938年11月5日19時50分に発生した塩屋崎沖地震の震源モデルを参考にして、マグニチュードを7.7に変更したものを震源断層に設定

茨城県 (2004)

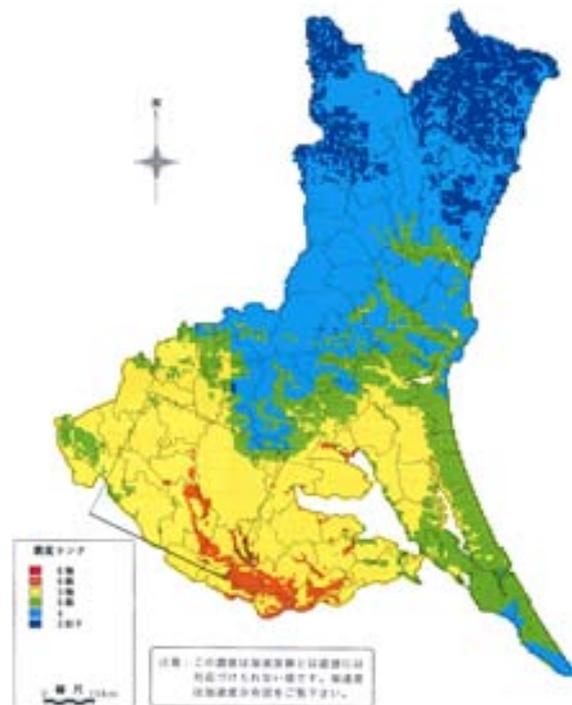
■想定地震

茨城県は、1992～1995年度と1996～1997年度に地震被害想定調査を実施している。想定地震としては、中央防災会議「南関東地域直下の地震対策に関する大綱」(1992.8)で設定された断層モデルのうち茨城県に被害をもたらす可能性のあるものや、過去の地震を取り上げている。このうち最も大きな被害をもたらすと予想される地震モデルは、マグニチュード7.0を想定した茨城県南西部を震源とする直下の地震となっている。

■想定結果

想定地震		茨城県南西部直下地震
マグニチュード		7.0
被害予測	地震動 津波	○
地震動予測	震度	～6強
建物被害	建物全壊(大破)棟数	約90,600棟
	炎上出火件数	74件
	焼失棟数	約11,000棟
人的被害	死者数	391人
	重傷者数	
	避難者数	約220,000人
ライフライン被害	電力(停電)	約133,000世帯
	通信	
	都市ガス(供給支障)	一時ほぼ全面的に供給停止
	上水道(断水)	約53,000世帯
	下水道(被害箇所数)	223箇所
備考		

【震度分布：茨城県南西部直下地震】



山梨県(2005)

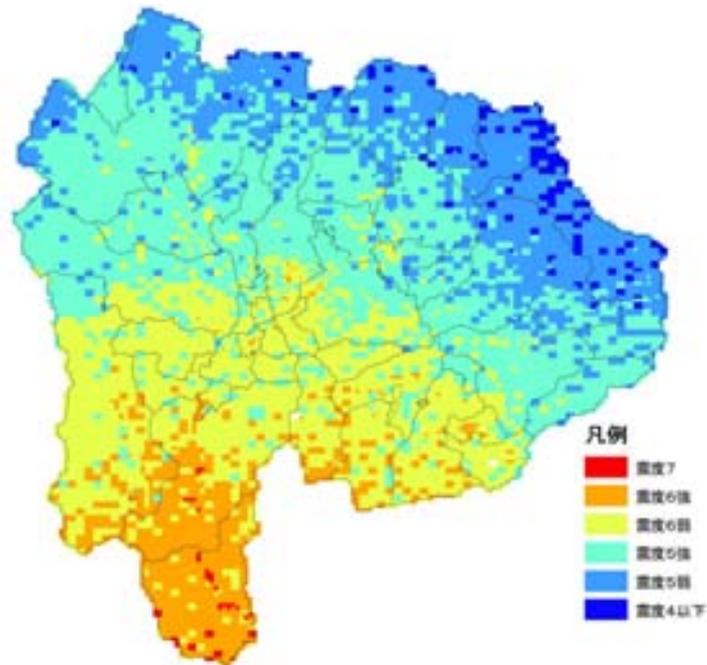
■想定地震

山梨県は、中央防災会議「東海地震に関する専門調査会」の成果として公開されている、東海地震（マグニチュード 8.0）が発生した場合の工学的基盤（ $V_s=700\text{m/s}$ ）における地震波を入力波として、地表面の地震動を計算している。

■想定結果

想定地震		東海地震
マグニチュード		8.0
被害予測	地震動 津波	○
地震動予測	震度	～7
建物被害	建物全壊(大破)棟数	6,912 棟
	炎上出火件数	93 件
	焼失棟数	244 棟
人的被害	死者数	209 人
	重傷者数	514 人
	避難者数	70,985 人
ライフライン被害	電力(停電)	145,907 口
	通信(電話不通)	17,387 件
	都市ガス(供給支障)	20,359 戸
	上水道(断水)	145,504 戸
	下水道(機能支障)	5,288 人
備考		人的被害は予知なしの場合

【震度分布：東海地震】



栃木県 (2004)

■ 想定地震

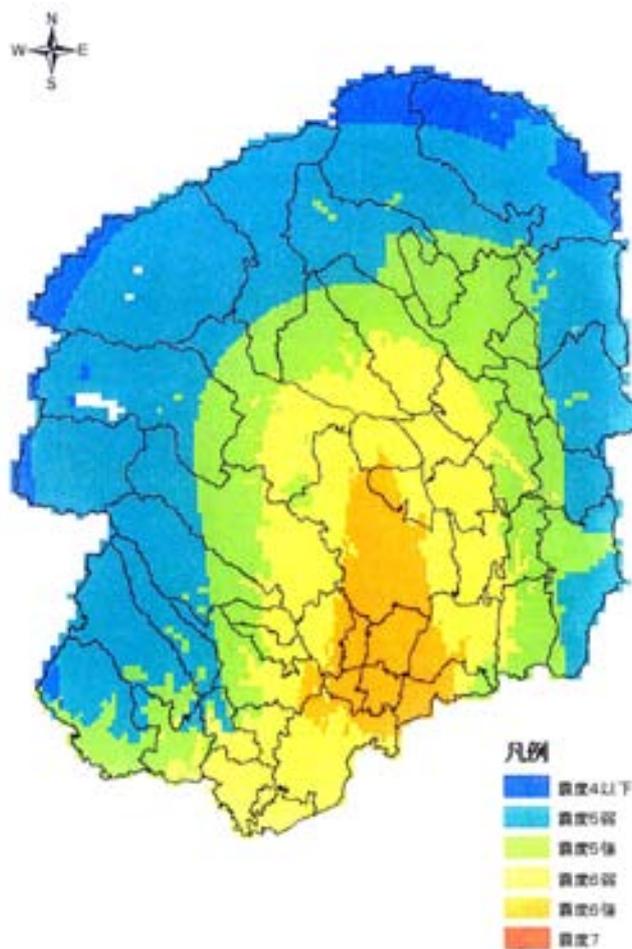


想定地震	マグニチュード	断層種別	断層長さ	震源深さ
想定今市地震	6.4	線震源	約 8.7 km	0 km
想定宇都宮市直下地震	7.3	線震源	約 30 km	5 km

■ 想定結果

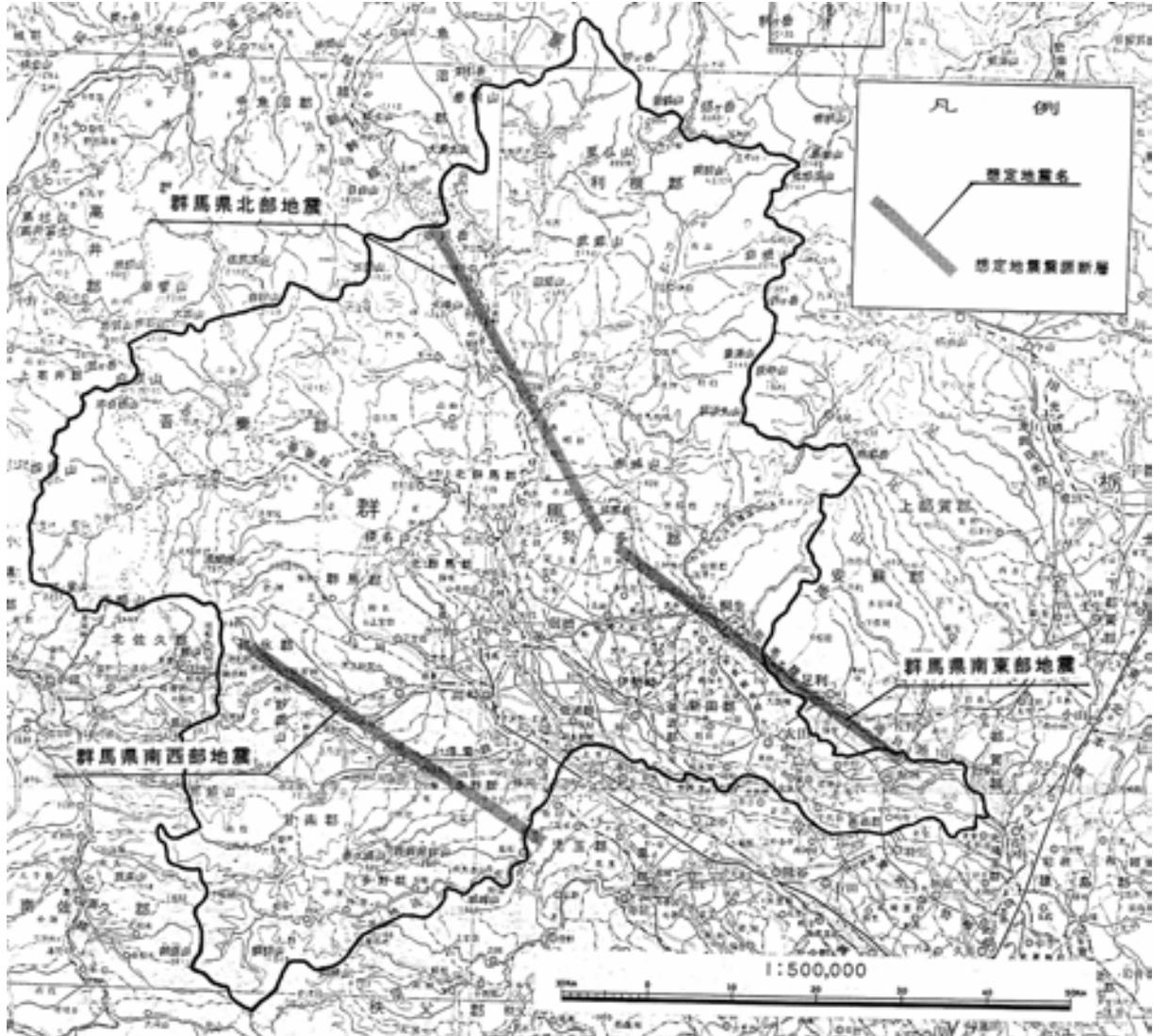
想定地震		想定今市地震	想定宇都宮市直下型地震
マグニチュード		6.4	7.3
被害予測	地震動 津波	○	○
地震動予測	震度	～6強	～6強
建物被害	建物全壊(大破)棟数	1,170 棟	38,510 棟
	炎上出火件数	6 件	188 件
	焼失棟数	22 棟	5,337 棟
人的被害	死者数	17 人	758 人
	重篤者+重傷者数	12 人	428 人
	避難者数	3,360 人	118,483 人
ライフライン被害	電力(停電)	7,536 口	139,318 口
	通信(電話不通)	1,309 件	32,091 件
	都市ガス(供給支障)	0 戸	74,602 戸
	上水道(断水)	16,532 戸	342,021 戸
	下水道(機能支障)	686 人	25,973 人
備考			

【震度分布：想定宇都宮市直下型地震】



群馬県(1998)

■想定地震

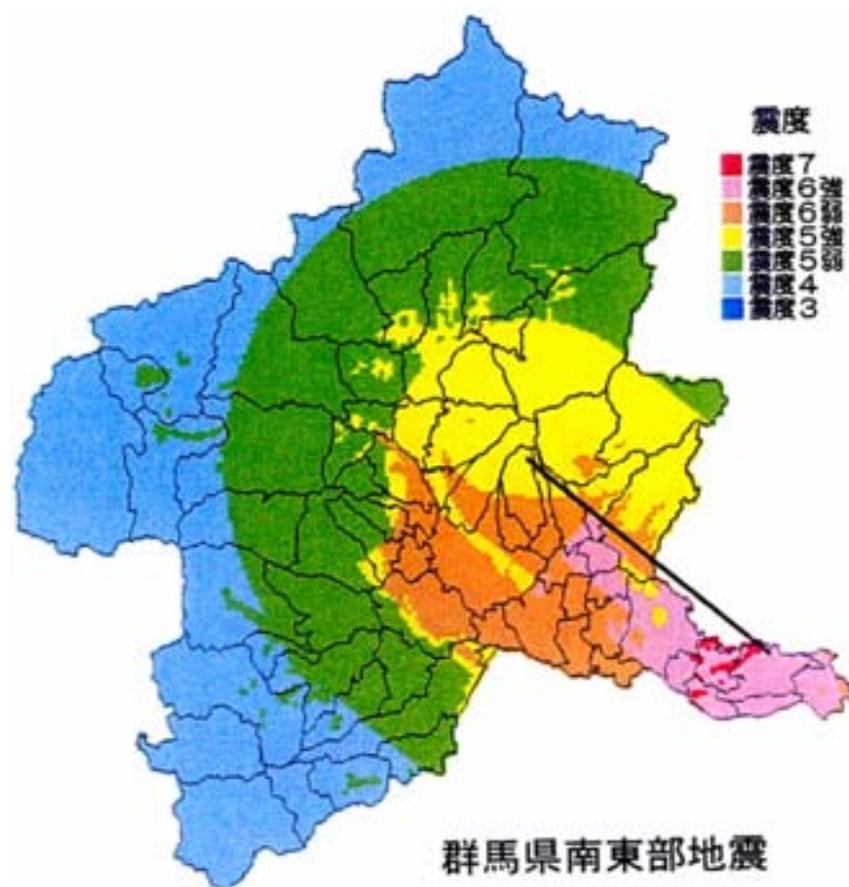


想定地震	想定地震の説明	マグニチュード	走向(度)	傾斜(度)	長さ(km)	幅(km)	深さ(km)
群馬県南西部地震	平井断層上で発生する地震	7.0	N53W	90	42	21	5
群馬県北部地震	沼田市付近の柏崎-銚子構造線上で発生する地震	7.0	N30W	90	42	21	5
群馬県南東部地震	桐生市～館林市付近の柏崎-銚子構造線上で発生する地震	7.0	N54W	90	42	21	5

■ 想定結果

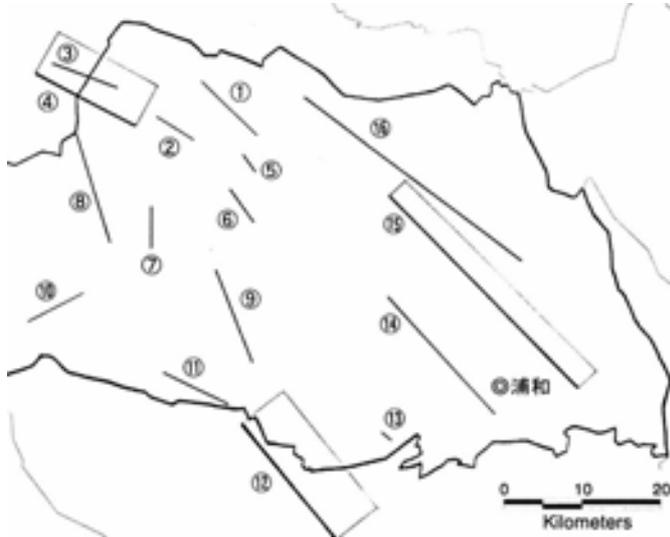
想定地震		群馬県南西部地震	群馬県北部地震	群馬県南東部地震
マグニチュード		7.0	7.0	7.0
被害予測	地震動	○	○	○
	津波			
地震動予測	震度	～6強	～6弱	～7
建物被害	建物全壊(大破)棟数	29,046 棟	20,137 棟	71,016 棟
	炎上出火件数	102 件	69 件	210 件
	焼失棟数	1,510 棟	1,136 棟	3,039 棟
人的被害	死者数	356 人	199 人	777 人
	重傷者数	1,248 人	982 人	2,120 人
	避難者数	67,180 人	44,467 人	181,471 人
ライフライン被害	電力(電柱被害)	253 本	231 本	325 本
	通信(電話柱被害)	151 本	142 本	186 本
	都市ガス(供給支障)	199,400 人	144,200 人	214,300 人
	上水道(断水)	1,646,800 人	1,669,700 人	1,667,700 人
	下水道(被害箇所数)	1,166 箇所	855 箇所	1,098 箇所
備考				

【震度分布：群馬県南東部地震】



埼玉県(1998)

■想定地震



断層番号	想定地震	マグニチュード	長さ(km)	幅(km)	地震基盤上面から断層上端までの深さ(km)	被害量の予測
①	深谷断層	6.5	10.0	5.0	3	
②	櫛引断層	6.0	5.0	2.5	3	
③	神川断層	6.3	8.0	4.0	3	
④	平井断層	6.7	14.0	7.0	3	
⑤	江南断層	5.6	3.0	1.5	3	
⑥	今市-菅谷断層	6.0	5.0	2.5	3	
⑦	象ヶ鼻-朝日根断層	6.1	6.0	3.0	3	
⑧	出牛-黒谷断層	6.7	14.0	7.0	3	
⑨	越生断層	6.7	13.0	6.5	3	
⑩	浦山口断層	6.3	8.0	4.0	3	
⑪	名栗断層	6.4	9.0	4.5	3	
⑫	立川断層	7.0	20.0	10.0	3	
⑬	所沢聖地霊園断層	4.8	1.0	0.5	3	
⑭	荒川断層	7.0	20.0	10.0	3	
⑮	綾瀬川断層	7.4	35.0	17.5	3	○
⑯	久喜断層	7.4	36.0	18.0	3	
⑰	南関東地震	7.9	93.0	53.0	5	○
⑱	西埼玉地震	6.9	20.0	10.0	3	○
⑲	安政江戸地震	6.9	34.0	20.0	30	
⑳	東京-埼玉県境直下地震	7.2	42.0	21.0	26	○

地震①～⑯：埼玉県内に存在するといわれる活断層を参考にして震源断層を設定

地震⑰～⑲：過去の被害地震(1923年関東地震, 1931年西埼玉地震, 1855年安政江戸地震)を参考にして震源断層を設定

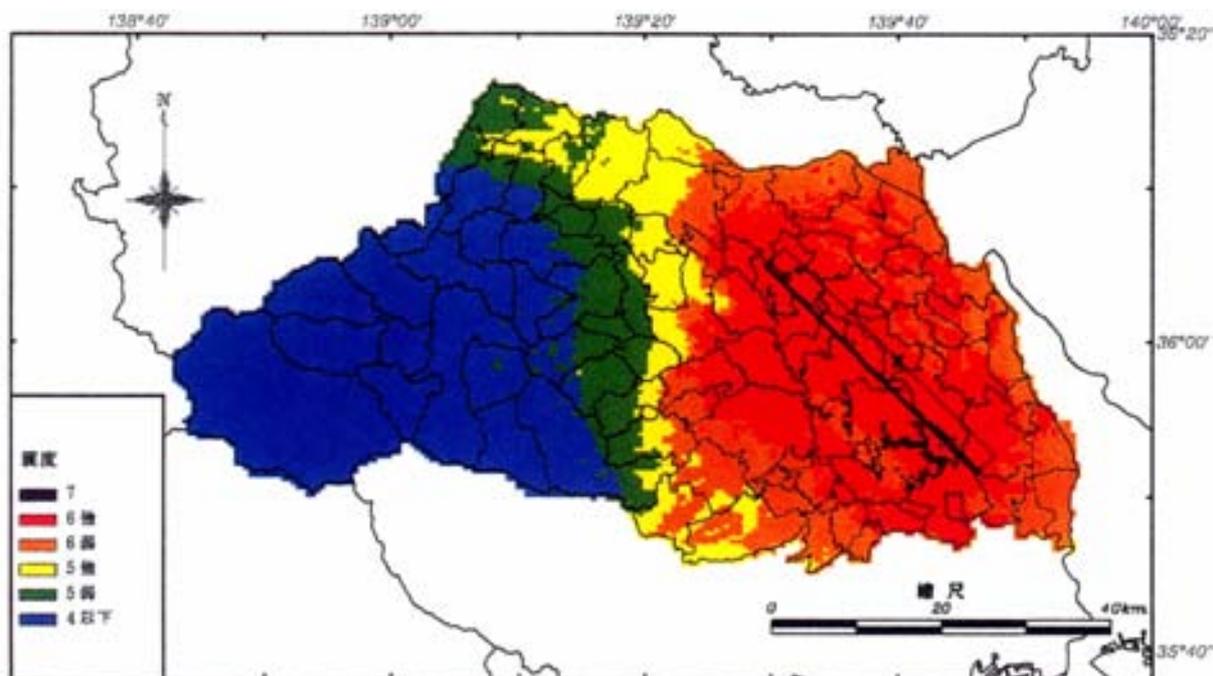
地震⑳：東京都への通勤者を100万人以上も擁するという埼玉県の特徴を考慮するため、東京都(1997)で想定された「埼玉県境直下の地震」を採用

※ 想定地震①～⑳について地震動と液状化の予測を行った結果、過去に埼玉県に被害を及ぼした地震として⑰と⑱、ひとたび発生したら甚大な被害を及ぼす可能性のある地震として⑮、東京都との関連性を重視した地震として⑳を選出し、これら4地震について被害量の予測を行っている。

■ 想定結果

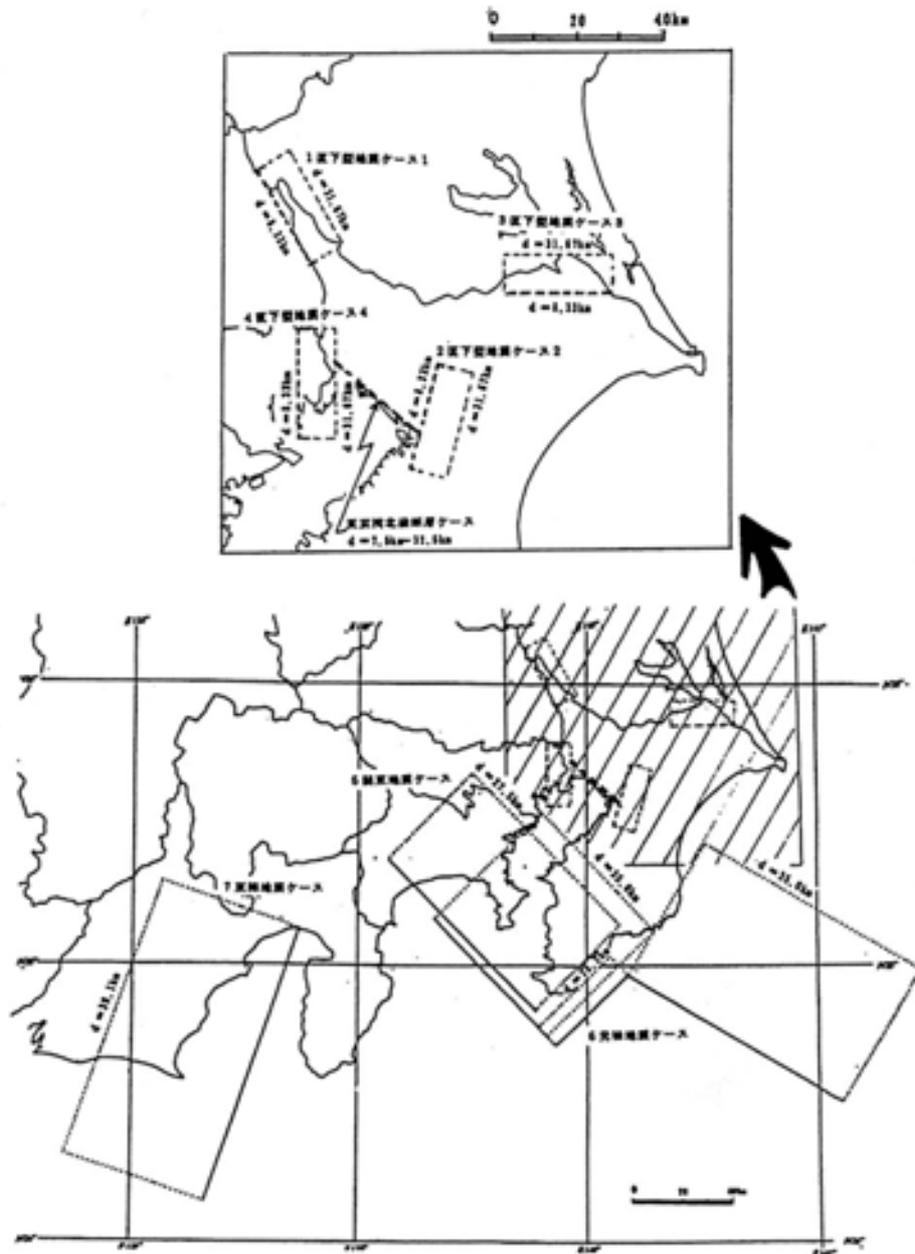
想定地震		東京-埼玉県境直下	綾瀬川断層	西埼玉地震
マグニチュード		7.2	7.4	6.9
被害予測	地震動	○	○	○
	津波			
地震動予測	震度	～6強	～7	～6強
建物被害	建物全壊(大破)棟数	16,749 棟	115,278 棟	7,817 棟
	炎上出火件数	240 件	619 件	104 件
	焼失棟数	44,187 棟	136,852 棟	22,494 棟
人的被害	死者数	1,186 人	9,759 人	435 人
	重傷者数	4,347 人	16,205 人	1,652 人
	避難者数	421,651 人	1,301,905 人	122,791 人
ライフライン被害	電力(停電)	172,541 戸	381,318 戸	32,808 戸
	通信(電話不通)	153,236 戸	497,273 戸	34,775 戸
	都市ガス(供給支障)	1,539,828 戸	1,651,283 戸	140,489 戸
	上水道(断水)	1,056,376 戸	1,874,254 戸	240,743 戸
	下水道(機能支障)	29,612 戸	36,818 戸	9,888 戸
備考				

【震度分布：綾瀬川断層】



千葉県(2003)

■想定地震

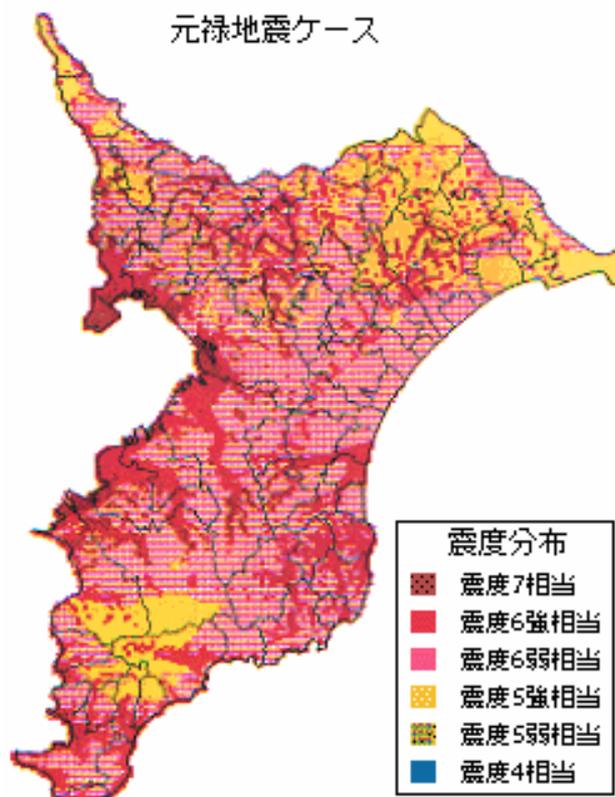


番号	想定地震	マグニチュード	震源深さ(km)	備考
1	直下型地震ケース1	7.2	20	県北西部
2	直下型地震ケース2	7.2	20	県中央部
3	直下型地震ケース3	7.2	20	県北東部
4	直下型地震ケース4	7.2	20	県西部
5	関東地震ケース	7.9	—	関東地震
6	元禄地震ケース	8.2	—	元禄地震
7	東海地震ケース	8.0	—	東海地震

■ 想定結果

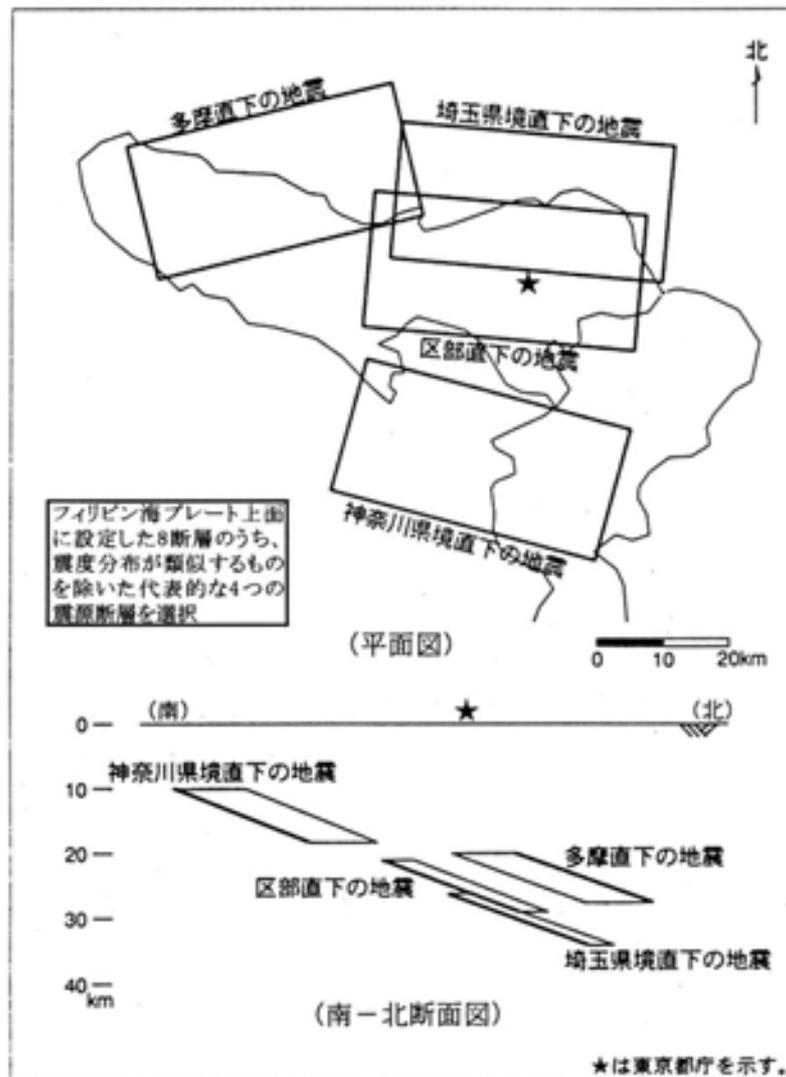
想定地震		元禄地震	関東地震	直下型地震県中央部
マグニチュード		8.2	7.9	7.2
被害予測	地震動	○	○	○
	津波	○	○	
地震動予測	震度	～6強	～6強	～6強
建物被害	建物全壊(大破)棟数	34,800 棟	(木造)23,900 棟	23,100 棟
	炎上出火件数			
	焼失棟数	48,400 棟	28,000 棟	87,300 棟
人的被害	死者数	10,100 人	4,800 人	7,300 人
	負傷者数	15,100 人	8,500 人	12,900 人
	避難者数			
ライフライン被害	電力			
	通信			
	都市ガス			
	上水道(被害箇所数)	34,200 箇所	23,900 箇所	29,000 箇所
	下水道(被害箇所数)			6,900 箇所
備考				

【震度分布：元禄地震】



東京都(1997)

■想定地震



想定地震		区部直下の地震	多摩直下の地震	神奈川県境直下の地震	埼玉県境直下の地震
南西端の位置	経度(° ')	35° 38'	35° 41'	35° 24'	35° 43'
	緯度(° ')	139° 26'	139° 5'	139° 22'	139° 29'
	深さ(km)	21	20	10	26
南縁辺の深さ(一定, km)		21	20	10	26
北縁辺の深さ(一定, km)		29	28	18	34
マグニチュード		7.2	7.2	7.2	7.2
断層長さ(長辺)(km)		42	42	42	42
断層長さ(短辺)(km)		21	21	21	21
走向(°)		355(N85W)	16(N74E)	342(N72W)	355(N85W)
傾斜(°)		25	24	26	24

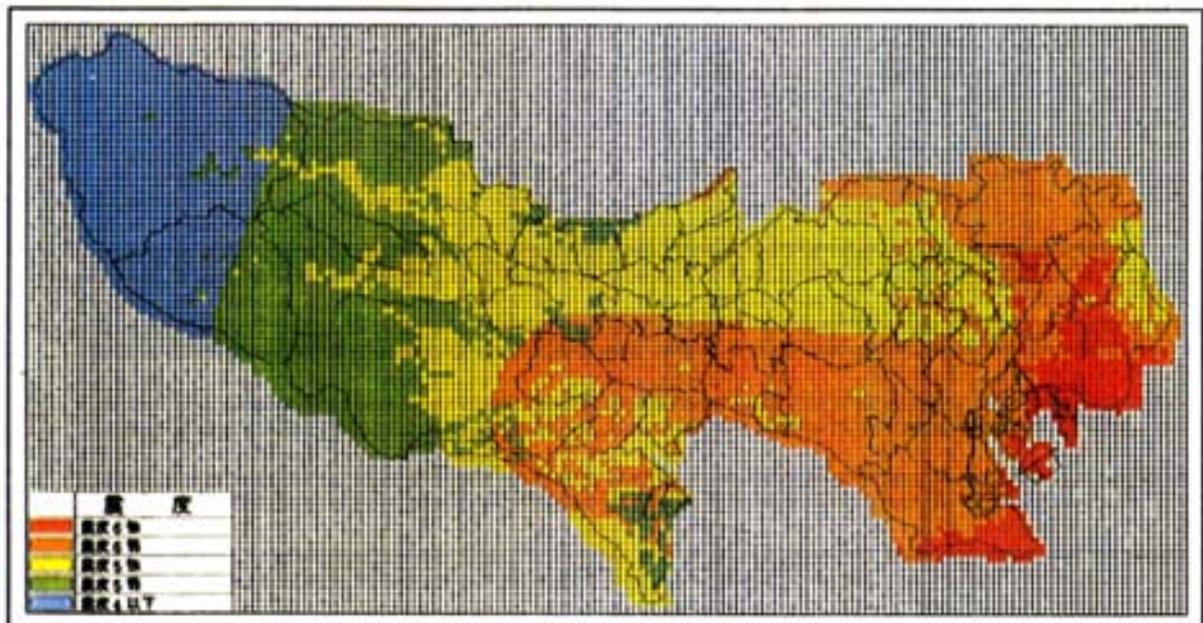
※ 走向表示は真東を0としたときの反時計回りの角度で表す [()内は北を基準とした表記]

※ 傾斜は北に向かって下がっている

■ 想定結果

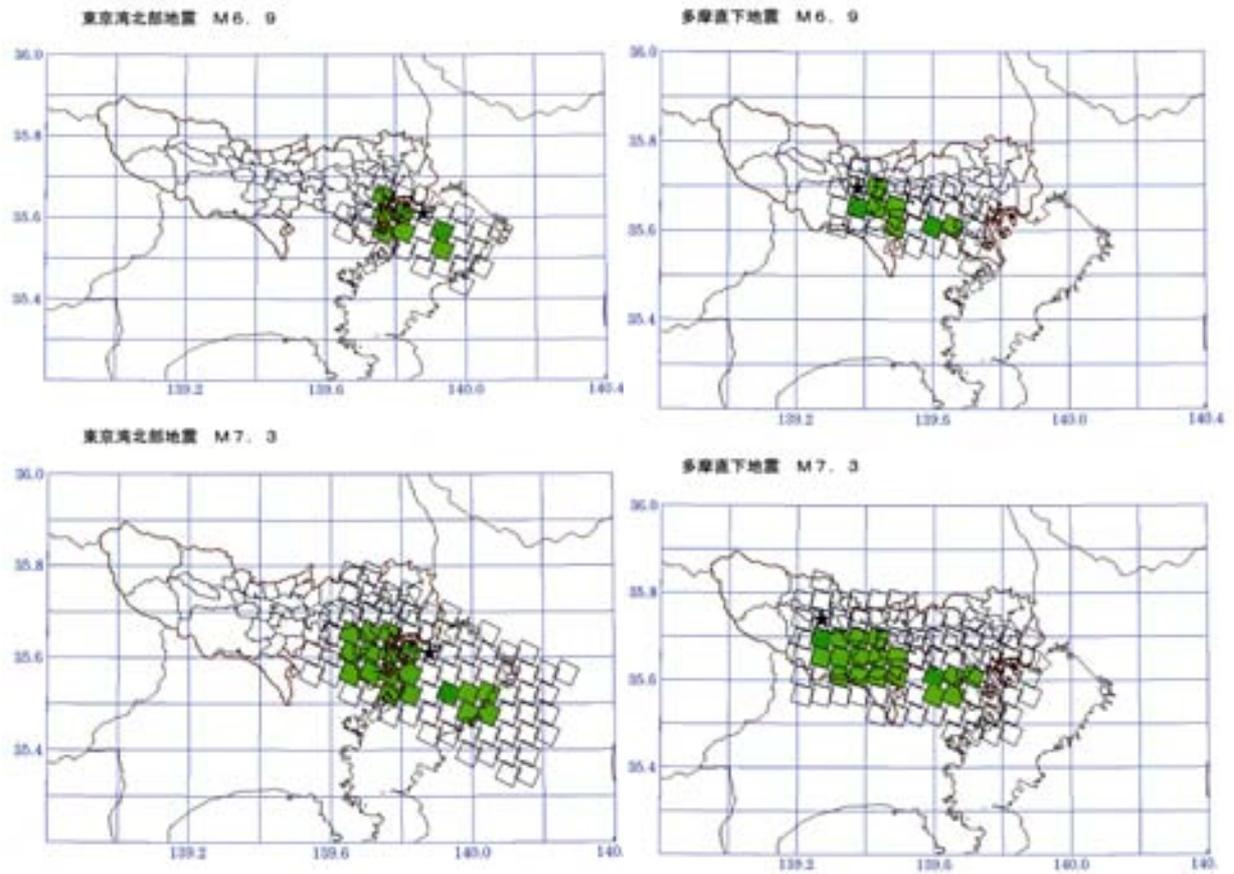
想定地震		区部直下	神奈川県境直下	埼玉県境直下
マグニチュード		7.2	7.2	7.2
被害予測	地震動	○	○	○
	津波			
地震動予測	震度	～6強	～6強	～6強
建物被害	建物全壊(大破)棟数	42,932 棟	26,405 棟	29,982 棟
	炎上出火件数	824 件	496 件	538 件
	焼失棟数	378,401 棟	66,244 棟	75,882 棟
人的被害	死者数	7,159 人	2,175 人	2,356 人
	負傷者数	17,438 人	6,080 人	7,749 人
	避難者数	2,330,328 人	1,028,573 人	1,206,072 人
ライフライン被害	電力(停電)	1,145,015	389,811	409,238
	通信(電話不通)	2,240,134	591,542	589,385
	都市ガス(供給支障)	1,316,572	253,564	906,695
	上水道(断水)	1,508,580 件	858,311 件	1,098,366 件
	下水道(機能支障)	195,505 人	166,171 人	191,136 人
備考	避難者数は発災 1 日後の住居制約者数 電気は停電需要家数. 電話は不通加入者数. 都市ガスは供給停止需要家数.			

【震度分布：区部直下の地震】



東京都(2006)

■想定地震

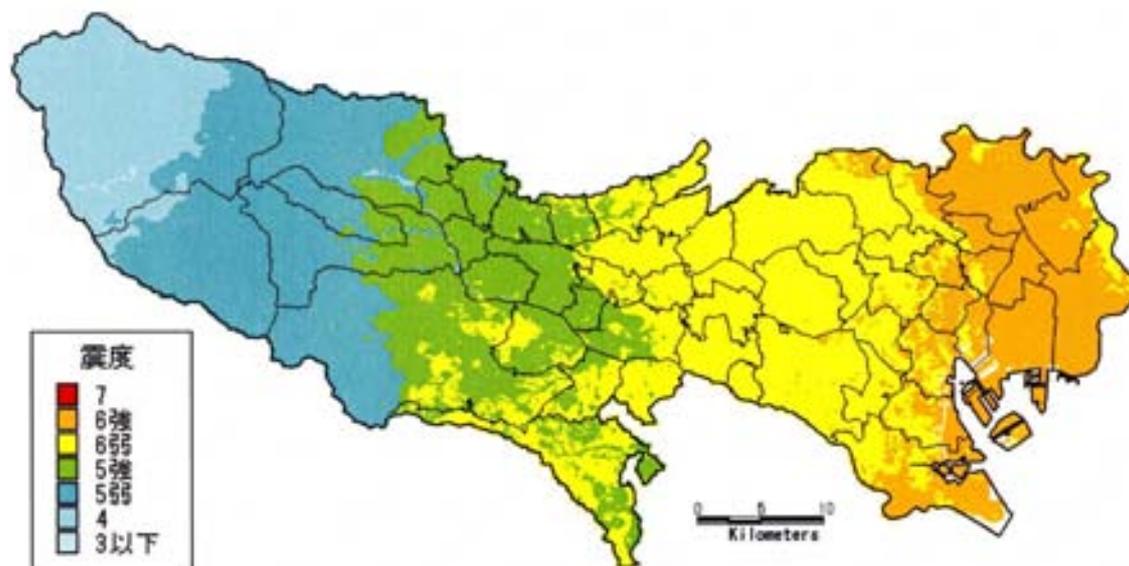


種類	東京湾北部地震	多摩直下地震 (プレート境界多摩地震)
震源	東京湾北部	東京都多摩地域
規模	M6.9 及び M7.3	
震源の深さ	約 30~50 km	

■想定結果

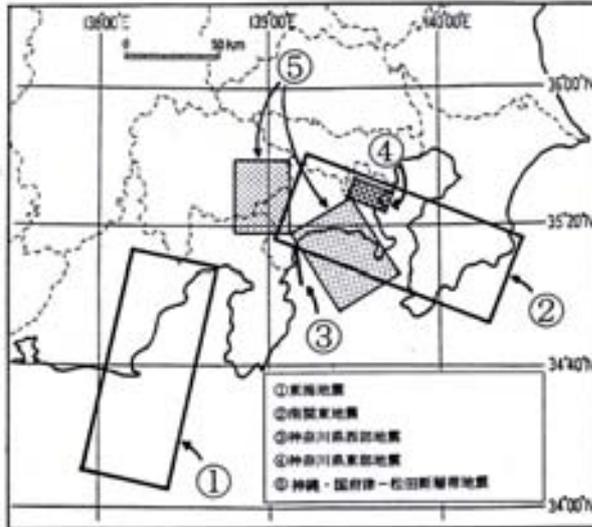
想定地震		東京湾北部地震	東京湾北部地震	多摩直下地震
マグニチュード		7.3	6.9	7.3
被害予測	地震動	○	○	○
	津波			
地震動予測	震度	6強	6強	6強
建物被害	建物全壊(大破)棟数	126,523 棟	59,824 棟	51,669 棟
	炎上出火件数	1,145 件	749 件	932 件
	焼失棟数	310,016 棟	183,034 棟	293,076 棟
人的被害	死者数	5,638 人	2,782 人	3,365 人
	重傷者数	24,129 人	11,211 人	11,511 人
	避難者数	3,854,893 人	2,708,019 人	3,131,180 人
ライフライン被害	電力(停電率)	16.9%	9.2%	11.7%
	通信(電話不通率)	10.1%	6.0%	8.5%
	都市ガス(供給停止率)	17.9%	6.4%	0.0%
	上水道(断水率)	34.8%	24.5%	29.1%
	下水道(管きよ被害率)	22.3%	19.9%	21.3%
備考		想定条件は 冬の夕方 18時・風速 6m/秒 の場合		

【震度分布：東京湾北部地震 M7.3】



神奈川県 (1999)

■ 想定地震

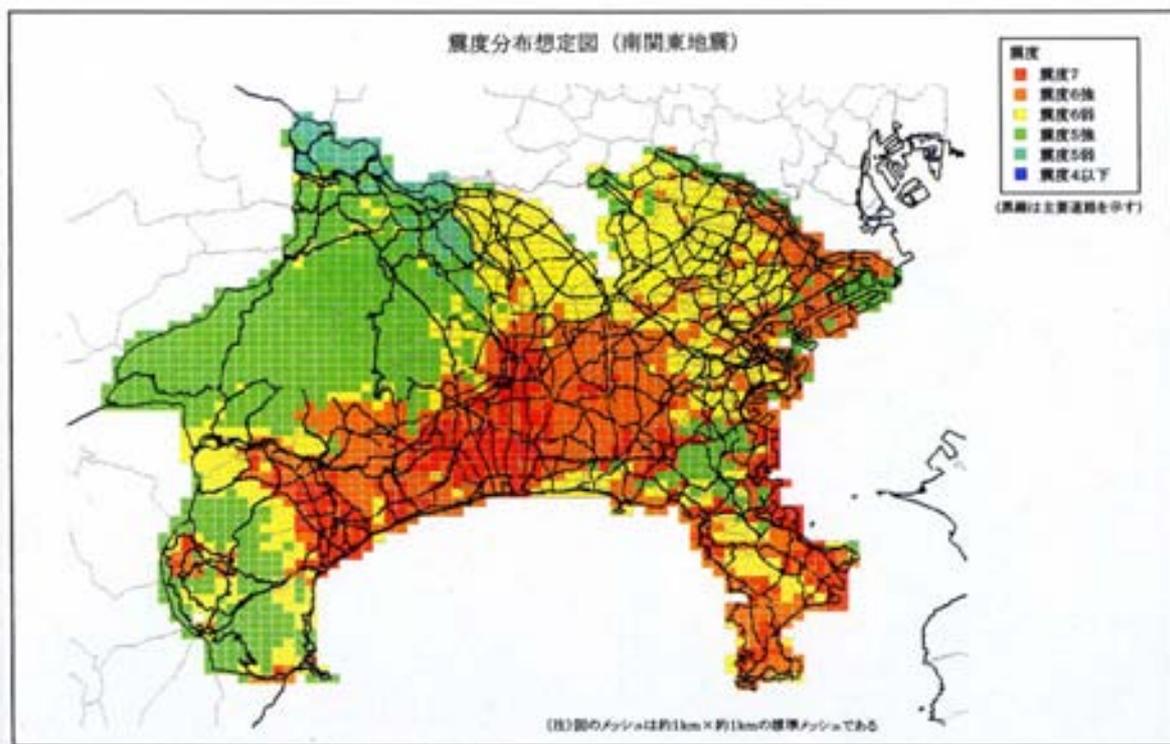


想定地震	マグニチュード	断層の長さ	断層の幅	断層の傾斜角	断層上端の深さ
①東海地震 中央防災会議(1978)で決定した断層モデルを震源とした地震	約 8	120 km	50 km	20°	5 km
②南関東地震 1971年の金森博雄氏の断層モデル	7.9	130 km	70 km	34°	2 km
③神奈川県西部地震 平成5年公表の神奈川県西部地震被害想定で採用した断層モデル	約 7	20 km	12 km	80°	2~8 km
④神奈川県東部地震 中央防災会議「南関東地域直下の地震対策に関する大綱」で検討されたフィリピン海プレート境界面で発生する地震のうち、今回新たに設定した県庁直下を震源とした断層モデル	約 7	20 km	10 km	25°	20 km
⑤神縄・国府津-松田断層帯地震 同断層帯とその海域延長部を震源とする地震で、今回新たに設定した断層モデル(神縄断層と国府津-松田断層に分割したモデル)	約 8	<ul style="list-style-type: none"> ・神縄断層 長さ 30 km, 幅 40 km, 傾斜角 45° ・国府津-松田断層 長さ 50 km, 幅 40 km, 傾斜角浅部幅 20 kmまで 45° ・深部幅 20 kmは 30° ・両断層の上端は地表 			

■ 想定結果

想定地震		南関東地震	神奈川県東部地震	神縄・国府津 -松田断層帯地震
マグニチュード		7.9	約7	約8
被害予測	地震動	○	○	○
	津波	○		
地震動予測	震度	～7	～6強	～7
建物被害	建物全壊(大破)棟数	319,000 棟	95,000 棟	410,000 棟
	炎上出火件数	990 件	430 件	1,500 件
	焼失棟数	220,000 棟	120,000 棟	
人的被害	死者数	16,000 人	2,700 人	7,600 人
	負傷者数	6,400 人	2,900 人	6,600 人
	避難者数	1,100,000 人	620,000 人	680,000 人
ライフライン被害	電力(停電)	670,000 戸	420,000 戸	
	通信(電話不通)	1,100,000 戸	720,000 戸	
	都市ガス(供給支障)	1,700,000 戸	2,400,000 戸	
	上水道(断水)	6,100,000 人	5,200,000 人	
	下水道			
備考				

【震度分布：南関東地震】



新潟県(1998)

■想定地震



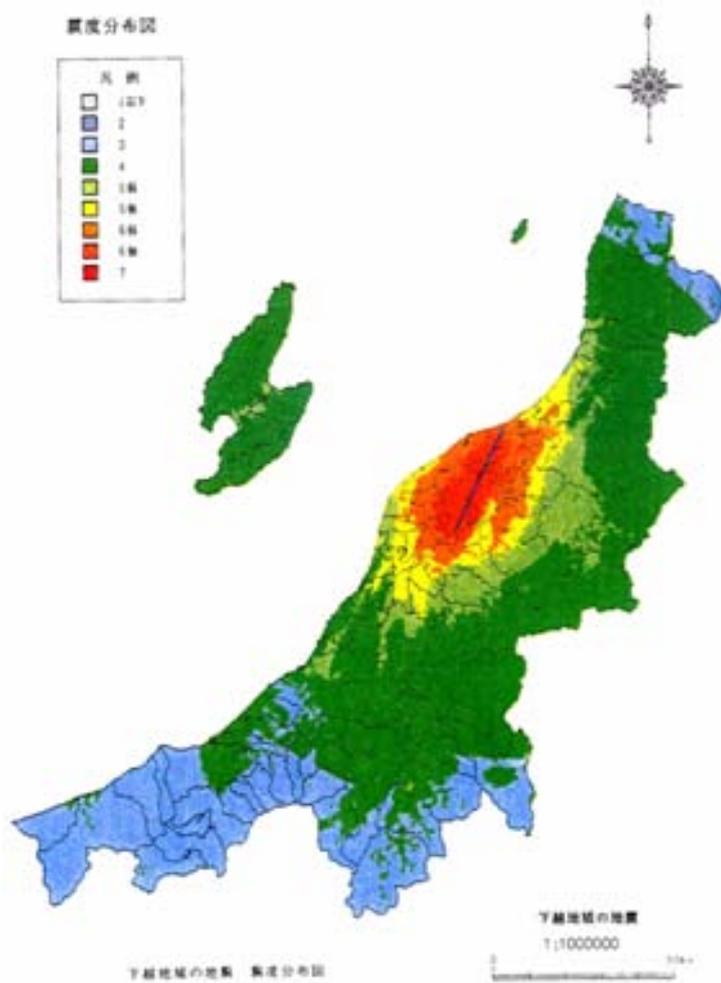
		マグニチュード	長さ	幅	傾斜	上端深さ	位置等
海域の地震	秋田沖の地震	7.6	80km	40km	30° E	1km	秋田県西方沖合の震源
	新潟県南西沖の地震	7.7	100km	38km	35° E	2km	佐渡西方から糸魚川市沖合にかけての震源
	粟島付近の地震	7.5	80km	30km	56° W	6km	1964年新潟地震と同程度の地震
内陸の地震	下越地域の地震	7.0	32km	12 km	90°	6km	新潟市から白根市にかけての断層
	中越地域の地震	7.0	20km	10km	90°	4km	見附市から長岡市にかけての断層
	上越地域の地震	7.0	20km	10km	90°	6km	上越市から新井市にかけての断層

○ 過去の被害地震，活断層分布および現時点の科学的知見を踏まえた上で，新潟県内主要都市の被害が甚大になるような震源断層を設定

■ 想定結果

想定地震		下越地域の地震	中越地域の地震	上越地域の地震
マグニチュード		7.0	7.0	7.0
被害予測	地震動	○	○	○
	津波			
地震動予測	震度	～7	～7	～7
建物被害	建物全壊(大破)棟数	35,896 棟	16,224 棟	10,613 棟
	炎上出火件数	237 件	96 件	57 件
	焼失棟数	10,660 棟	2,828 棟	3,417 棟
人的被害	死者数	1,232 人	346 人	585 人
	負傷者数	2,589 人	999 人	481 人
	避難者数	233,604 人	89,387 人	44,257 人
ライフライン被害	電力(停電)	93,483 世帯	35,356 世帯	18,814 世帯
	通信(電話不通)	185,039 回線	34,059 回線	34,036 回線
	都市ガス(供給支障)	263,016 件	95,793 件	48,564 件
	上水道(断水)	311,657 世帯	126,788 世帯	55,125 世帯
	下水道(被害箇所数)	6,902 箇所	3,277 箇所	1,283 箇所
備考		焼失棟数は、発災2時間後の棟数		

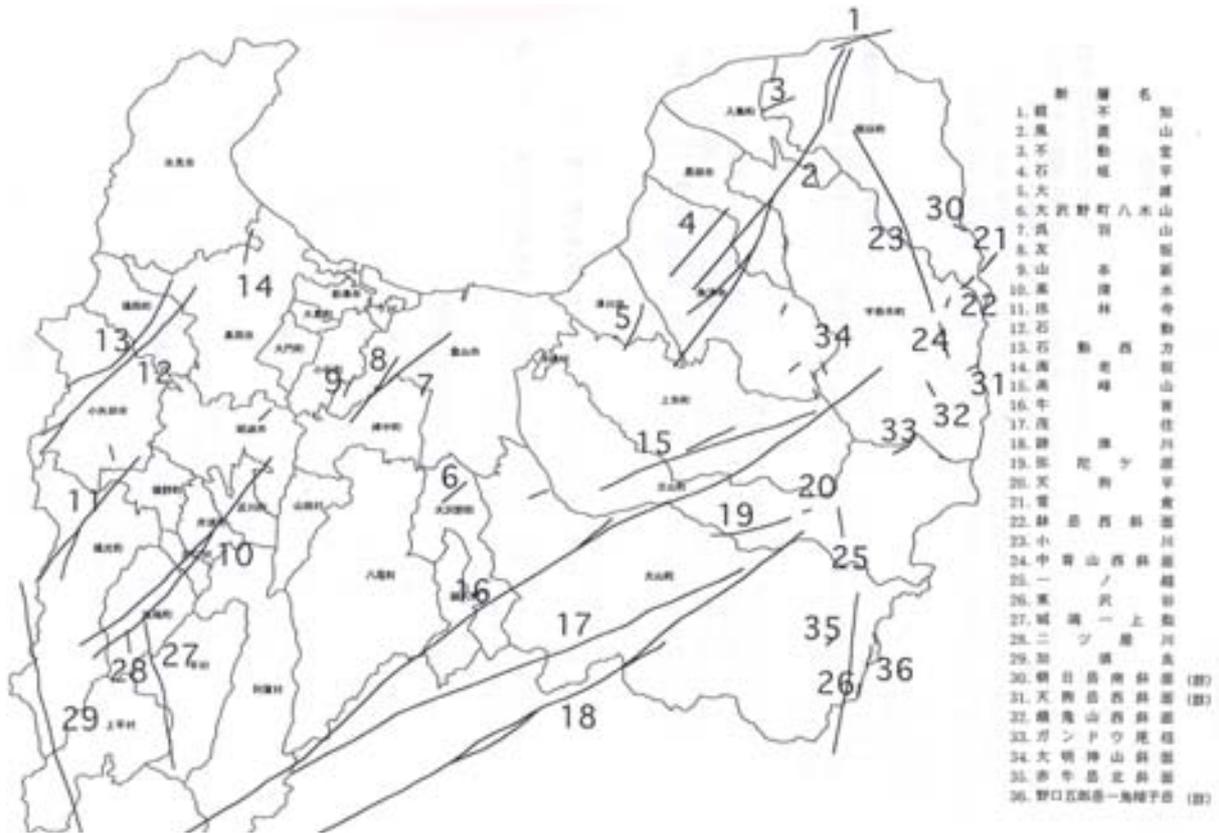
【震度分布：下越地域の地震】



富山県(2001)

■想定地震

【活断層分布図：法林寺断層は11番】

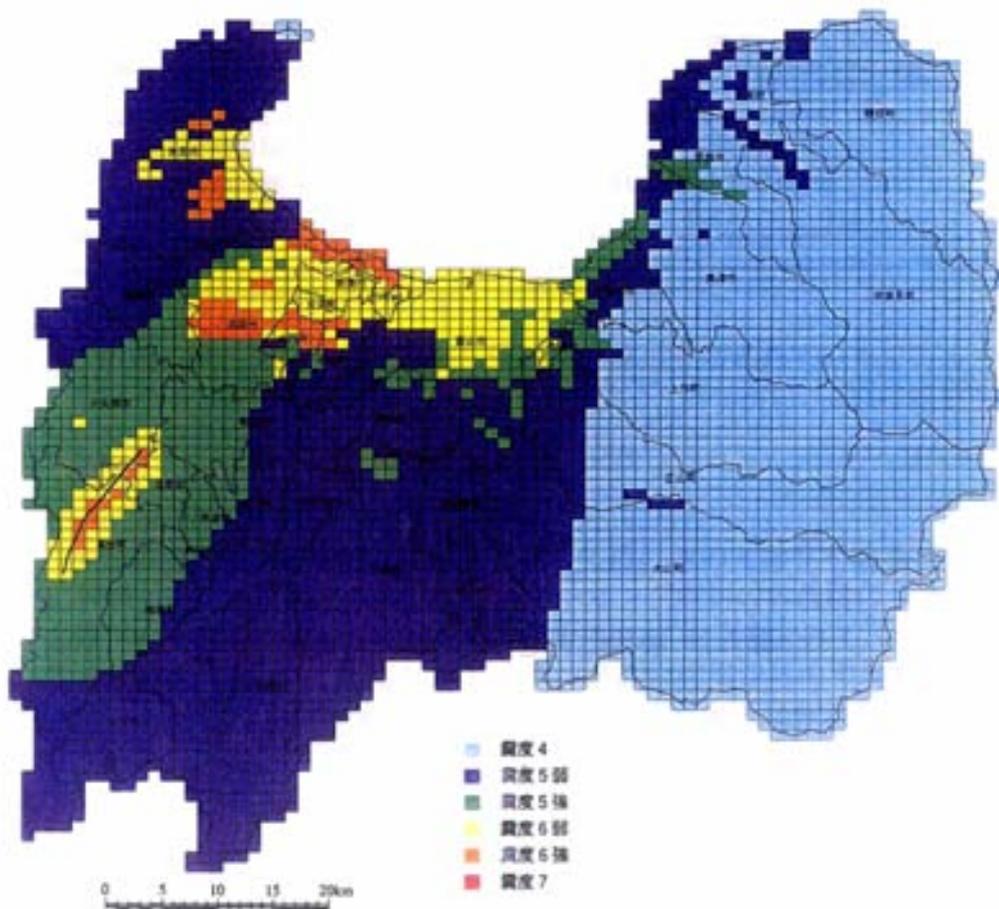


想定地震	法林寺断層
マグニチュード	7.0
長さ	13km
傾斜	西傾斜 20° ~30° 程度

■想定結果

想定地震		法林寺断層
マグニチュード		7.0
被害予測	地震動 津波	○
地震動予測	震度	～6強
建物被害	建物全壊(大破)棟数	31,201棟
	炎上出火件数	41件
	焼失棟数	5,118棟
人的被害	死者数	1,246人
	負傷者数	19,800人
	罹災者数	61,844人
ライフライン被害	電力(電柱被害) 通信	1,225基
	都市ガス(供給支障)	0箇所
	上水道(被害箇所数)	1,122箇所
	下水道(被害箇所数)	県2地点, 市町村 259箇所
備考		

【震度分布：法林寺断層】



石川県(1998)

■想定地震

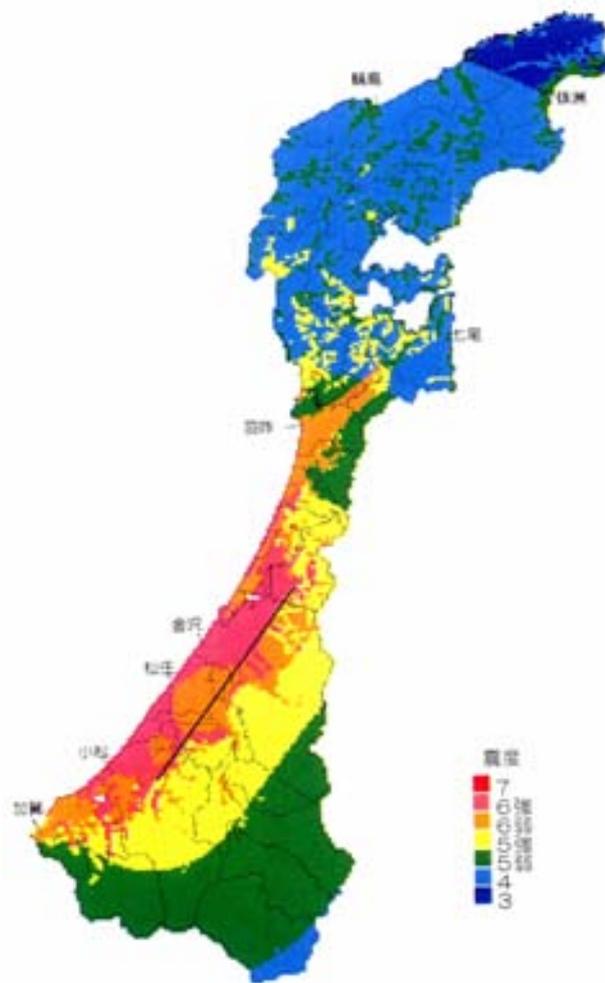


想定地震	長さ	幅	傾き	マグニチュード
大聖寺の地震	40 km	20 km	鉛直	7.0
加賀平野の地震	40 km	20 km	鉛直	7.0
能登半島西方沖の地震	40 km	20 km	40度	7.0
能登半島北方沖の地震	50 km	16 km	60度	7.0
能登半島東方沖の地震	120 km	45 km	40度	7.8

■ 想定結果

想定地震		大聖寺の地震	加賀平野の地震	邑知潟の地震
マグニチュード		7.0	7.0	7.0
被害予測	地震動	○	○	○
	津波			
地震動予測	震度	～7	～6強	～7
建物被害	建物全壊(大破)棟数	2,340 棟	16,843 棟	6,092 棟
	炎上出火件数	62 件	455 件	160 件
	焼失棟数	56 棟	3,854 棟	488 棟
人的被害	死者数	253 人	2,182 人	700 人
	負傷者数	1,869 人	7,829 人	3,663 人
	避難者数	11,738 人	104,885 人	36,792 人
ライフライン被害	電力(電柱被害)	61 本	163 本	96 本
	通信(電話柱被害)	28 本	73 本	39 本
	都市ガス(供給支障)	約 10 万人	約 30 万人	約 8.7 万人
	上水道(断水)	約 75 万人	約 101 万人	約 79 万人
	下水道			
備考				

【震度分布：加賀平野の地震】



福井県(1997)

■想定地震



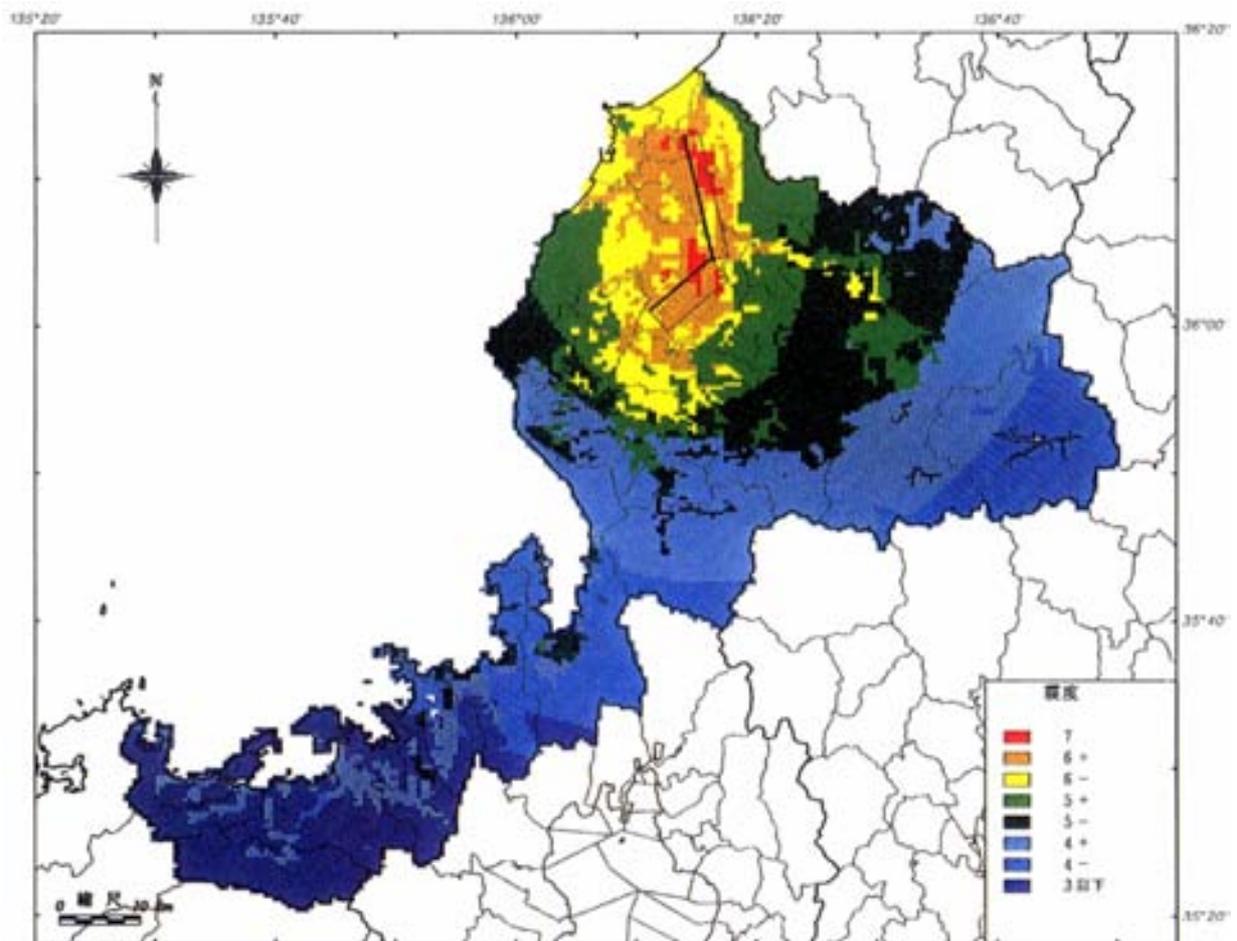
想定地震	福井地震断層		敦賀断層
	主断層	副断層	
長さ L (km)	16	10	25
幅 W (km)	11	13	12.5
深さ d (km)	2	2	2
マグニチュード	7.1		7.2
走向 θ (°)	347	49	28
傾斜 δ (°)	80	75	90

* 敦賀断層のマグニチュードは $\log L = 0.6M - 2.9$ から推定

■ 想定結果

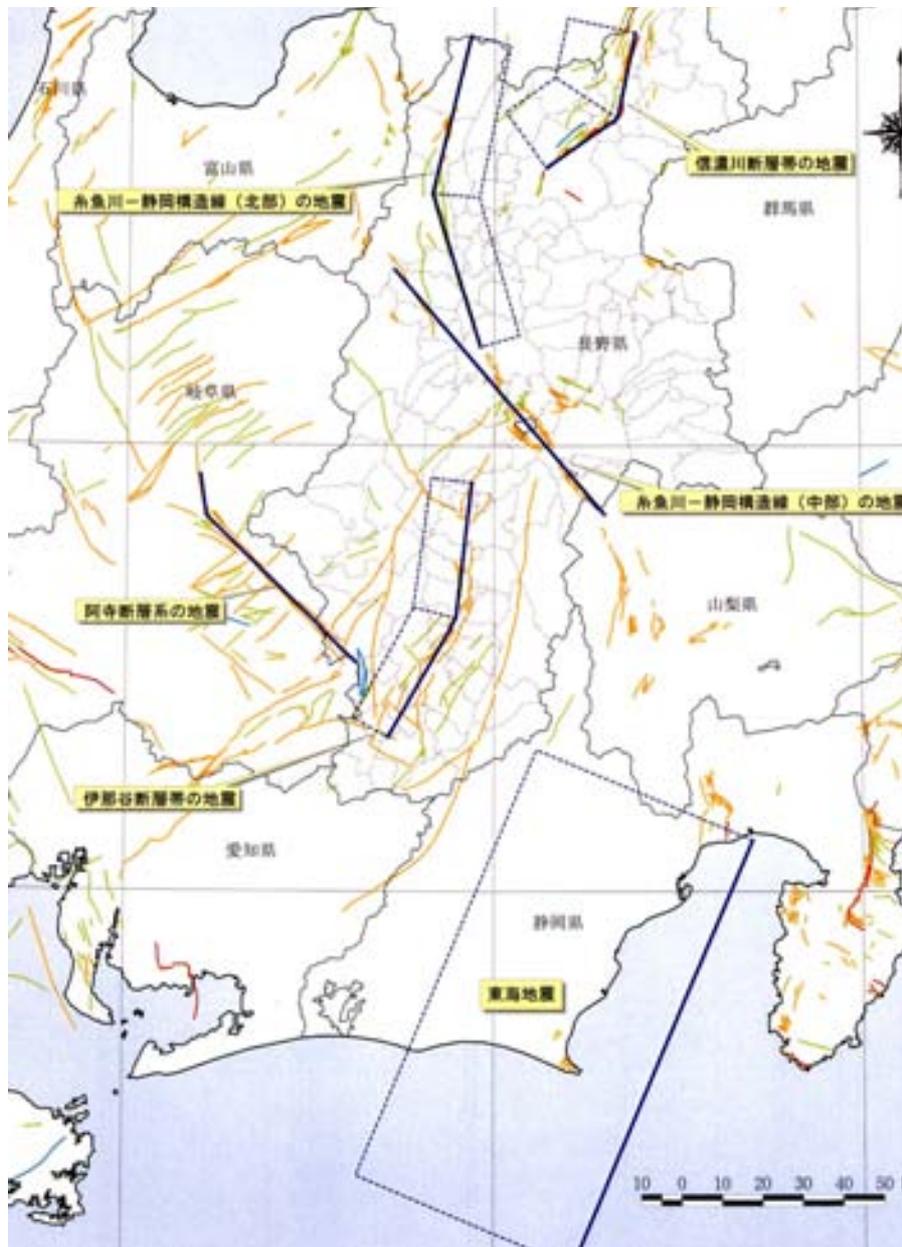
想定地震		福井地震断層	敦賀断層
マグニチュード		7.1	7.2
被害予測	地震動	○	○
	津波		
地震動予測	震度	~7	~7
建物被害	建物全壊(大破)棟数	85,944 棟	28,306 棟
	炎上出火件数	1,109 件	277 件
	焼失棟数	17,030 棟	5,107 棟
人的被害	死者数	4,286 人	1,120 人
	負傷者数	25,110 人	8,449 人
	避難者数	263,643 人	145,915 人
ライフライン被害	電力(停電)	66,918 世帯	19,360 世帯
	通信(電話柱被害)	720 本	133 本
	都市ガス(供給支障)	42,739 戸	42,739 戸
	上水道(断水)	141,607 世帯	23,892 世帯
	下水道(被害箇所数)	6,966 箇所	666 箇所
備考			

【震度分布：福井地震断層】



長野県 (2002)

■ 想定地震

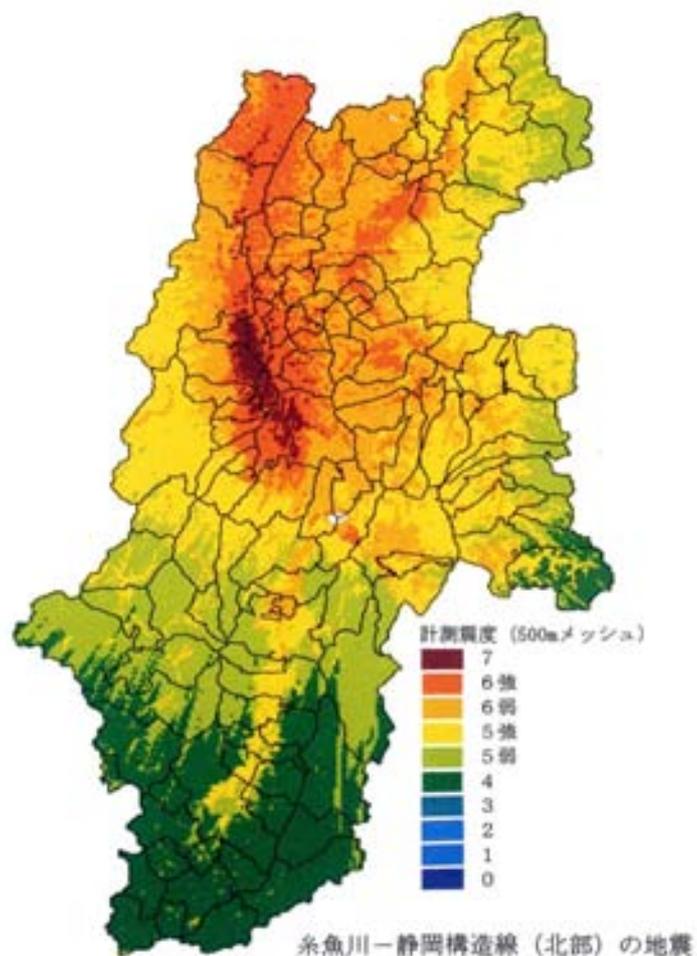


	マグニチュード	断層長さ(L)	断層幅(W)	断層上端深さ
糸魚川-静岡構造線(北部)の地震	8.0	80 km	20 km	3 km
糸魚川-静岡構造線(中部)の地震	8.0	80 km	17 km	3 km
信濃川断層帯の地震	7.5	43 km	21 km	3 km
伊那谷断層帯の地震	7.9	68 km	20 km	3 km
東海地震	8.0	115 km	70 km	2 km
阿寺断層系の地震	7.9	62 km	17 km	3 km

■ 想定結果

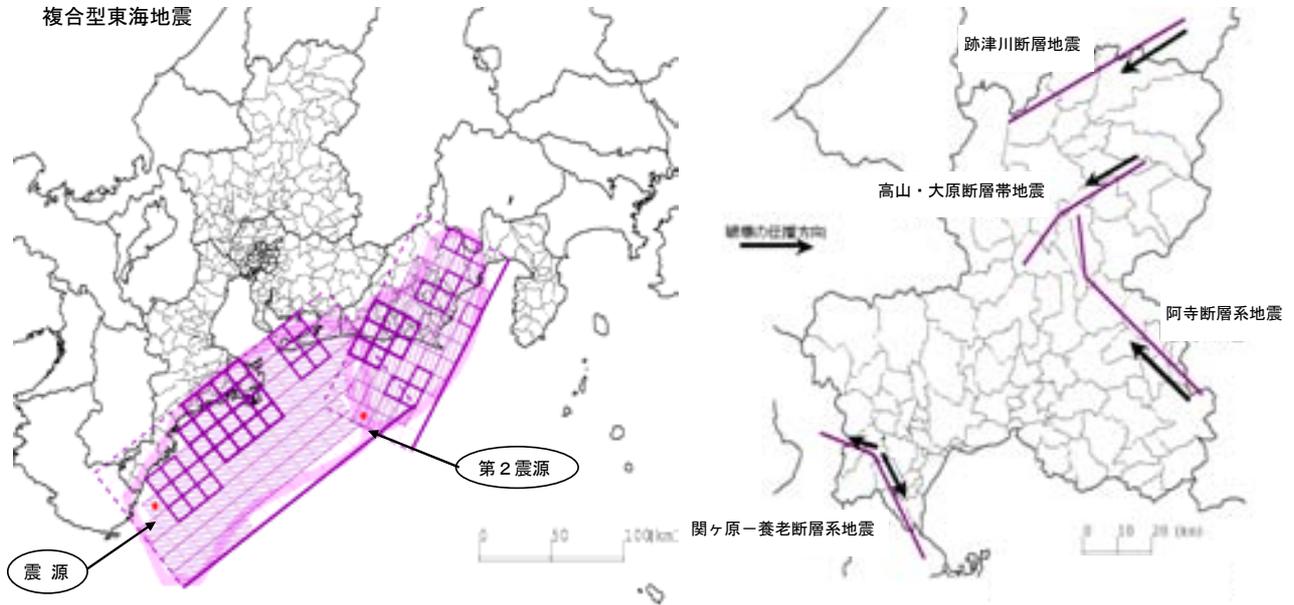
想定地震		糸魚川－静岡構造線 (北部)	糸魚川－静岡構造線 (中部)	伊那谷断層帯
マグニチュード		8.0	8.0	7.9
被害予測	地震動	○	○	○
	津波			
地震動予測	震度	～7	～7	～7
建物被害	建物全壊(大破)棟数	106,255 棟	105,925 棟	61,955 棟
	炎上出火件数	351 件	353 件	195 件
	焼失棟数	12,583 棟	11,865 棟	3,365 棟
人的被害	死者数	3,457 人	2,820 人	1,144 人
	重傷者数	4,528 人	4,356 人	2,430 人
	避難者数	413,956 人	382,692 人	219,352 人
ライフライン被害	電力(停電)	211,020 世帯	217,726 世帯	149,200 世帯
	通信(電話不通)	262,090 回線	302,307 回線	83,746 回線
	都市ガス(供給支障)	157,831 件	112,911 件	24,041 件
	上水道(断水)	432,128 世帯	514,292 世帯	162,181 世帯
	下水道(被害箇所数)	5,890 箇所	8,558 箇所	3,573 箇所
備考				

【震度分布：糸魚川－静岡構造線(北部)】



岐阜県(2004)

■想定地震



		複合型東海地震		阿寺断層系地震	跡津川断層地震	関ヶ原-養老断層系地震	高山・大原断層帯地震
		震源	第2震源				
震源位置	緯度	33° 36′ 00″	34° 11′ 19″	35° 32′ 06″	36° 30′ 52″	35° 20′ 59″	36° 08′ 41″
	経度	136° 07′ 12″	137° 39′ 14″	137° 33′ 53″	137° 29′ 56″	136° 31′ 06″	137° 24′ 25″
	深さ d (km)	21.25	21.53	16.25	16.25	16.25	11.25
断層	長さ L (km) (第1断層) (第2断層)	200	145	70 (50) (20)	60	54 (36) (18)	48 (30) (18)
	幅 W (km)	100	70	15			
	面積 S (km ²)	21,912		1026	903	780	726
	傾斜角 δ (度)	11.54	16.4	90.0			
地震モーメント M ₀ (N・m)		3.25 × 10 ²⁸		1.862 × 10 ²⁰	1.380 × 10 ²⁰	1.023 × 10 ²⁰	0.759 × 10 ²⁰
モーメントマグニチュード Mw		8.27		7.5	7.4	7.3	7.2
マグニチュード M				7.9	7.8	7.7	7.6
破壊伝播速度 v _r (km/sec)		2.7		2.5			
地震波伝播速度 v _{prop} (km/sec)		3.8		3.0			

■ 想定結果

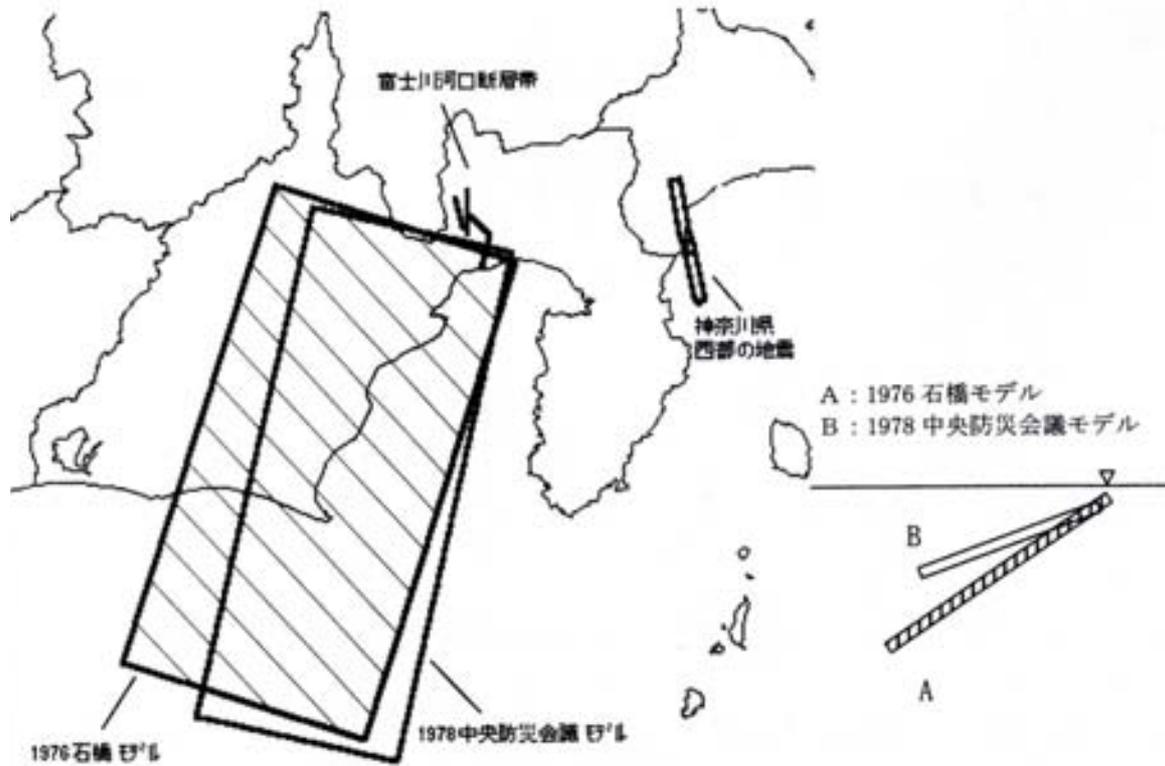
想定地震		阿寺断層系地震	関ヶ原-養老断層系地震	高山・大原断層帯地震
マグニチュード		7.9	7.7	7.6
被害予測	地震動	○	○	○
	津波			
地震動予測	震度	～7	～7	～7
建物被害	建物全壊(大破)棟数	29,361 棟	31,761 棟	27,394 棟
	炎上出火件数	54 件	67 件	63 件
	焼失棟数	126 棟	300 棟	182 棟
人的被害	死者数	1,115 人	1,443 人	1,093 人
	重傷者数	1,321 人	2,566 人	1,253 人
	避難者数	89,745 人	183,607 人	87,266 人
ライフライン被害	電力(停電)	746,077 人	1,096,183 人	615,411 人
	通信			
	都市ガス(供給支障)	11,286 人	97,135 人	9,805 人
	上水道(断水)	237,438 人	506,261 人	192,079 人
	下水道(機能支障)	5,541 人	24,579 人	6,359 人
備考				

【震度分布：関ヶ原-養老断層系地震】



静岡県(2001)

■想定地震



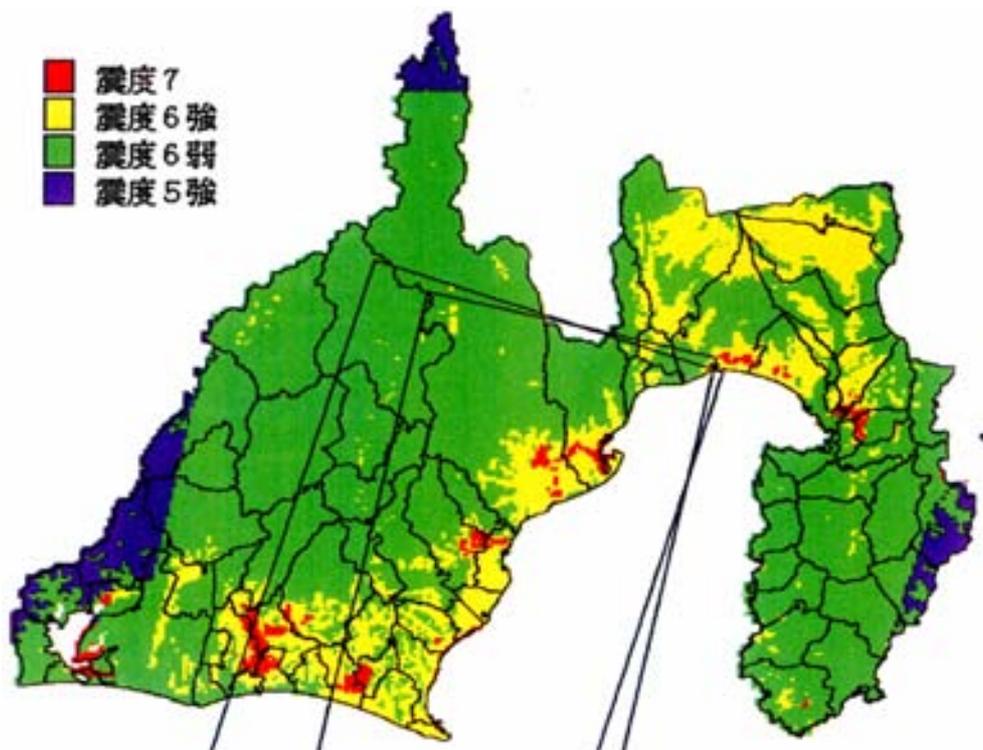
想定地震		マグニチュード	断層パラメータ						
			北緯(°)	東経(°)	深さ(km)	走向(°)	傾き角(°)	長さ(km)	幅(km)
東海地震	1978年中央防災会議モデル	8	35.150	138.700	5	193	20	120	50
	1976年石橋モデル	8	35.128	137.711	2	198	34	115	70
神奈川県西部の地震		7	35.2947	139.1288	5	170	80	14	14
			35.1717	139.1630	2	170	80	14	14
富士川河口断層帯の地震		8	35.2202	138.6029	0	135	90	6	-
			35.1815	138.6471	0	192	90	8	-
			35.2728	138.5938	0	182	90	10	-
			35.2560	138.5607	0	165	90	7	-

- 1854年安政東海地震時の震度分布(宇佐美, 1997)を最も良く再現できるものとして, 1976年石橋モデルと1978年中央防災会議モデルの両方に対して地震動を求め, その結果を重ね合わせて大きな方をその地点の地震動として採用している
- 津波の想定には, 1854年安政東海地震津波を最も良く再現できる1976年石橋モデルを採用している

■想定結果

想定地震		東海地震	神奈川県西部の地震
マグニチュード		8	7
被害予測	地震動	○	○
	津波	○	
地震動予測	震度	～7	～7
建物被害	建物全壊(大破)棟数	192,450 棟	10,421 棟
	炎上出火件数	626 件	32 件
	焼失棟数	58,402 棟	4,162 棟
人的被害	死者数	4,016 人	255 人
	負傷者数	16,309 人	2,013 人
	避難者数	2,041,208 人	
ライフライン被害	電力(停電)	582,667 件	27,090 件
	通信(電話柱被害)	3,284 本	58 本
	都市ガス(供給支障)	479,459 件	129,487 件
	上水道(断水)	1,123,204 件	179,235 件
	下水道(機能支障)	11,707 件	936 件
備考		予知なしの場合 建物全壊(大破)棟数は焼失棟数を含む	

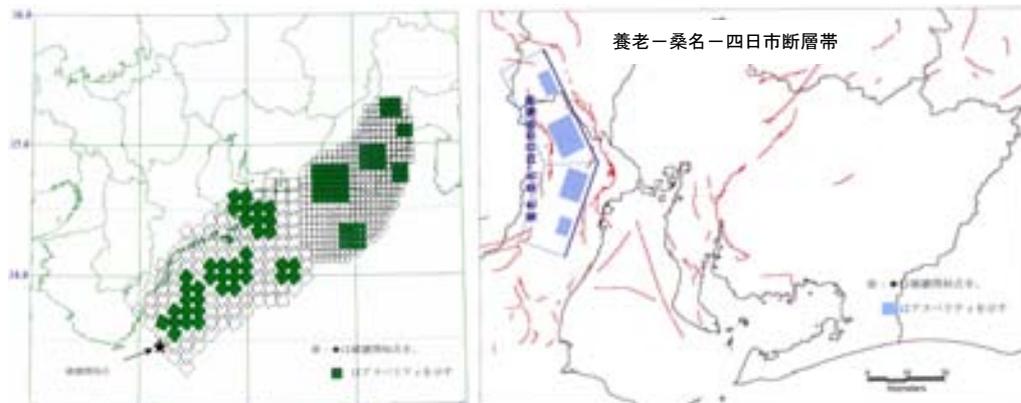
【震度分布：東海地震】



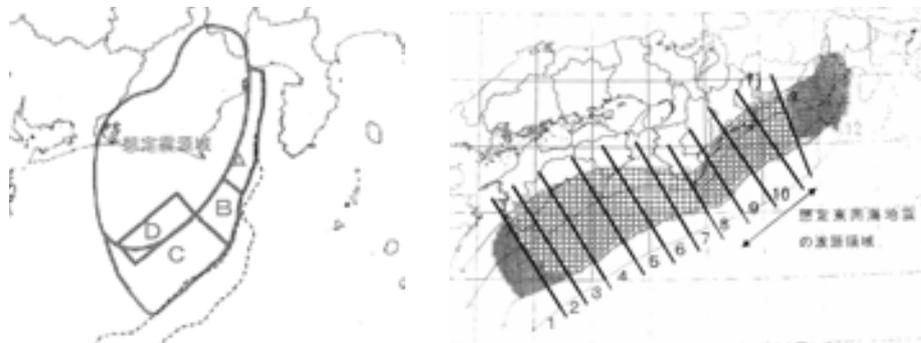
愛知県(2003)

■想定地震

【地震動】



【津波】



【地震動】

想定地震	マグニチュード	計算手法
想定東海地震	Mw 7.96	詳細法
想定東南海地震	Mw 8.15	詳細法
想定東海・東南海地震連動	Mw 8.27	詳細法
養老-桑名-四日市断層帯	7.4 Mw 7.00	詳細法
伊勢湾断層帯主部と白子-野間断層	7.5	簡易法
猿投山北断層	7.0	簡易法
猿投-境川断層と大高-高浜断層	7.4	簡易法

- 海溝型地震は、中央防災会議により設定されたモデルを基本に設定。断層の破壊開始点・アスペリティは、防災上の観点から、愛知県に影響が大きく出るように設定。
- 内陸型の地震は、最近の微小地震の活動状況や活断層に関する調査・研究成果を基に設定。養老-桑名-四日市断層帯の破壊開始点・アスペリティは、防災上の観点から、愛知県に影響が大きく出るように設定。

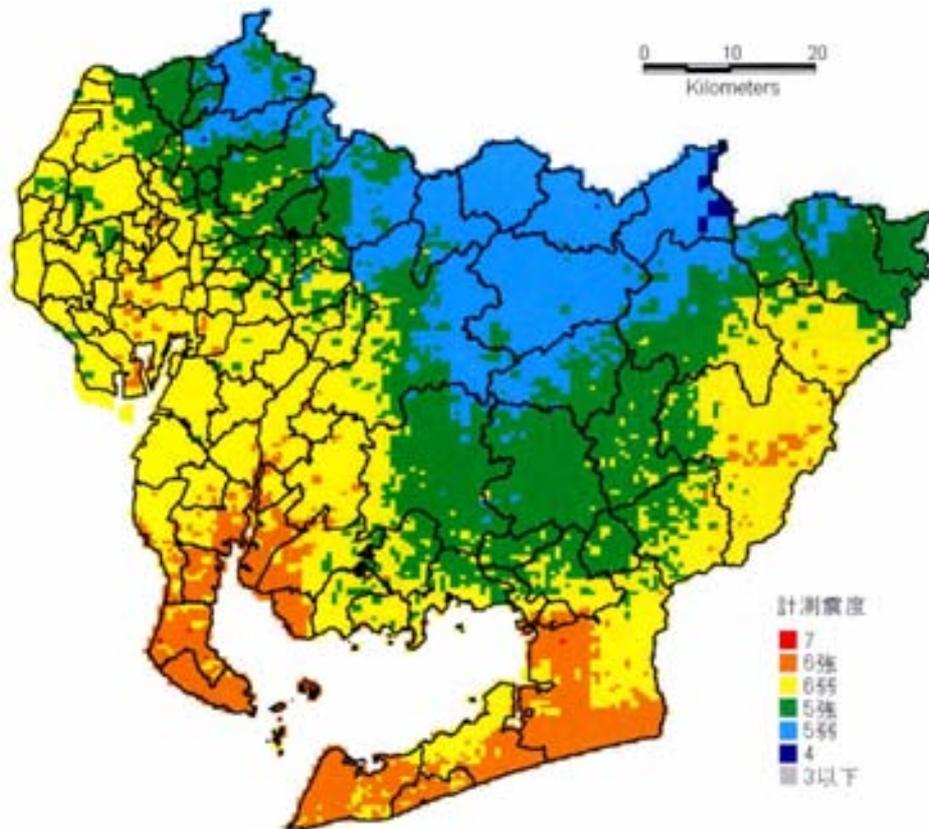
【津波】

ケース	想定地震	波源モデル	備考
1	想定東海地震	想定震源+A・B・C	2ケースのうち最大となる浸水深を被害想定に用いる
2		想定震源+A・B・D	
3	想定東南海地震	震源域8~11	2ケースのうち最大となる浸水深を被害想定に用いる
4		震源域9~11	
5	想定東海・東南海地震連動	ケース1+ケース3	4ケースのうち最大となる浸水深を被害想定に用いる
6		ケース1+ケース4	
7		ケース2+ケース3	
8		ケース2+ケース4	
9	伊勢湾断層帯主部と白子-野間断層の連動		津波想定のみ実施

■ 想定結果

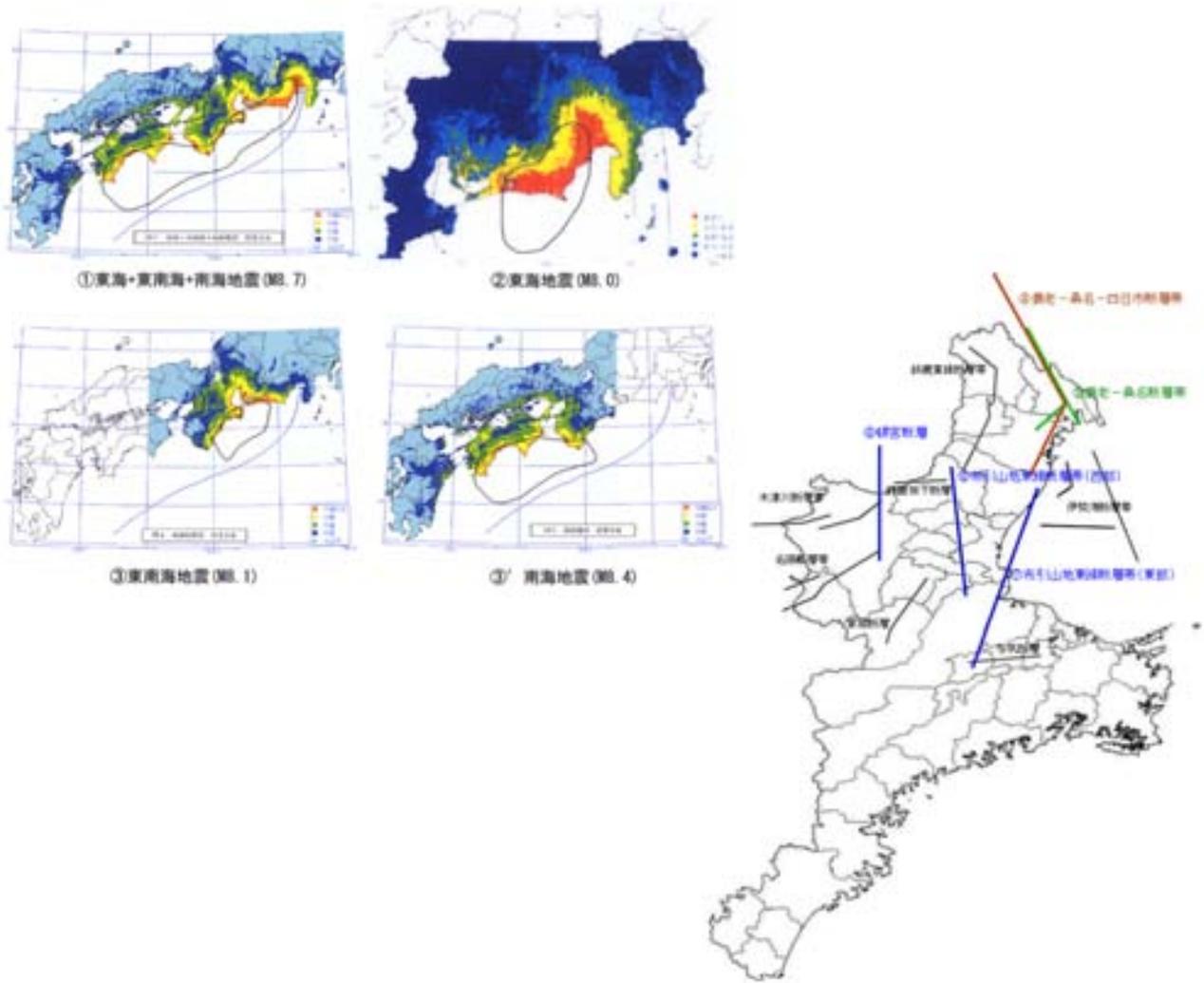
想定地震		想定東南海地震	想定東海・東南海地震連動	養老－桑名－四日市断層帯
マグニチュード		Mw 8.15	Mw 8.27	Mw 7.00
被害予測	地震動	○	○	○
	津波	○	○	
地震動予測	震度	～7	～7	～7
建物被害	建物全壊(大破)棟数	約 60,000 棟	約 98,000 棟	約 9,500 棟
	炎上出火件数	約 780 件	約 1,200 件	約 50 件
	焼失棟数	約 15,000 棟	約 49,000 棟	約 70 棟
人的被害	死者数	約 1,000 人	約 2,000 人	約 70 人
	重傷者数	約 730 人	約 1,400 人	約 50 人
	避難者数	約 520,000 人	約 780,000 人	約 130,000 人
ライフライン被害	電力(停電)	約 530,000 口	約 640,000 口	約 180,000 口
	通信(電話不通)	約 150,000 件	約 220,000 件	約 33,000 件
	都市ガス(供給支障)	約 490,000 戸	約 930,000 戸	約 170 戸
	上水道(断水)	約 1,100,000 戸	約 1,500,000 戸	約 260,000 戸
	下水道(機能支障)	約 60,000 人	約 80,000 人	約 37,000 人
備考		予知なしの場合		

【震度分布：想定東海・東南海地震連動】



三重県(2005)

■想定地震



地震の種類	想定地震	マグニチュード*
プレート境界型地震 (中央防災会議モデル)	①東海地震・東南海地震・南海地震が同時に発生	8.7
	②東海地震が単独で発生	8
	東南海地震(③)発生後、南海地震(④')が数時間～数十時間程度の時間差で発生	8.1, 8.4
内陸活断層による地震	④養老-桑名-四日市断層帯	7.8
	⑤養老-桑名断層帯	7.4
	⑥布引山地東縁断層帯(西部)	7.4
	⑦布引山地東縁断層帯(東部)	7.6
	⑧頓宮断層	7.3

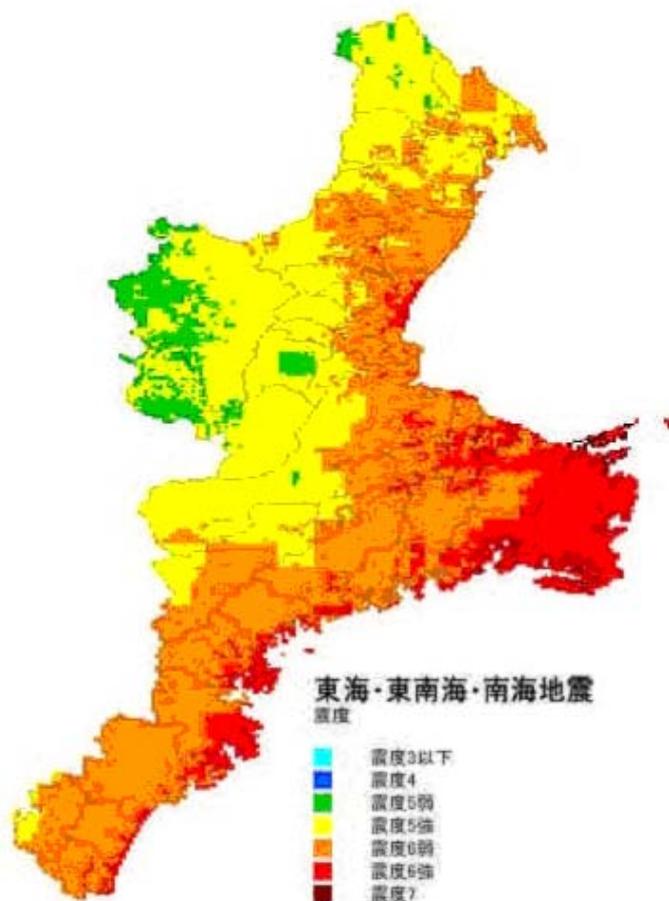
※ 次の内陸活断層は、三重県地域防災計画被害想定調査報告書(1997.3)の成果による震度分布を用いて被害を予測している

鈴鹿東縁断層帯(M7.4), 伊勢湾断層帯(M7.3), 鈴鹿坂下断層(M6.8), 木津川断層帯(M7.3), 名張断層帯(M7.3), 家城断層(M6.8), 多気断層(M7.0)

■ 想定結果

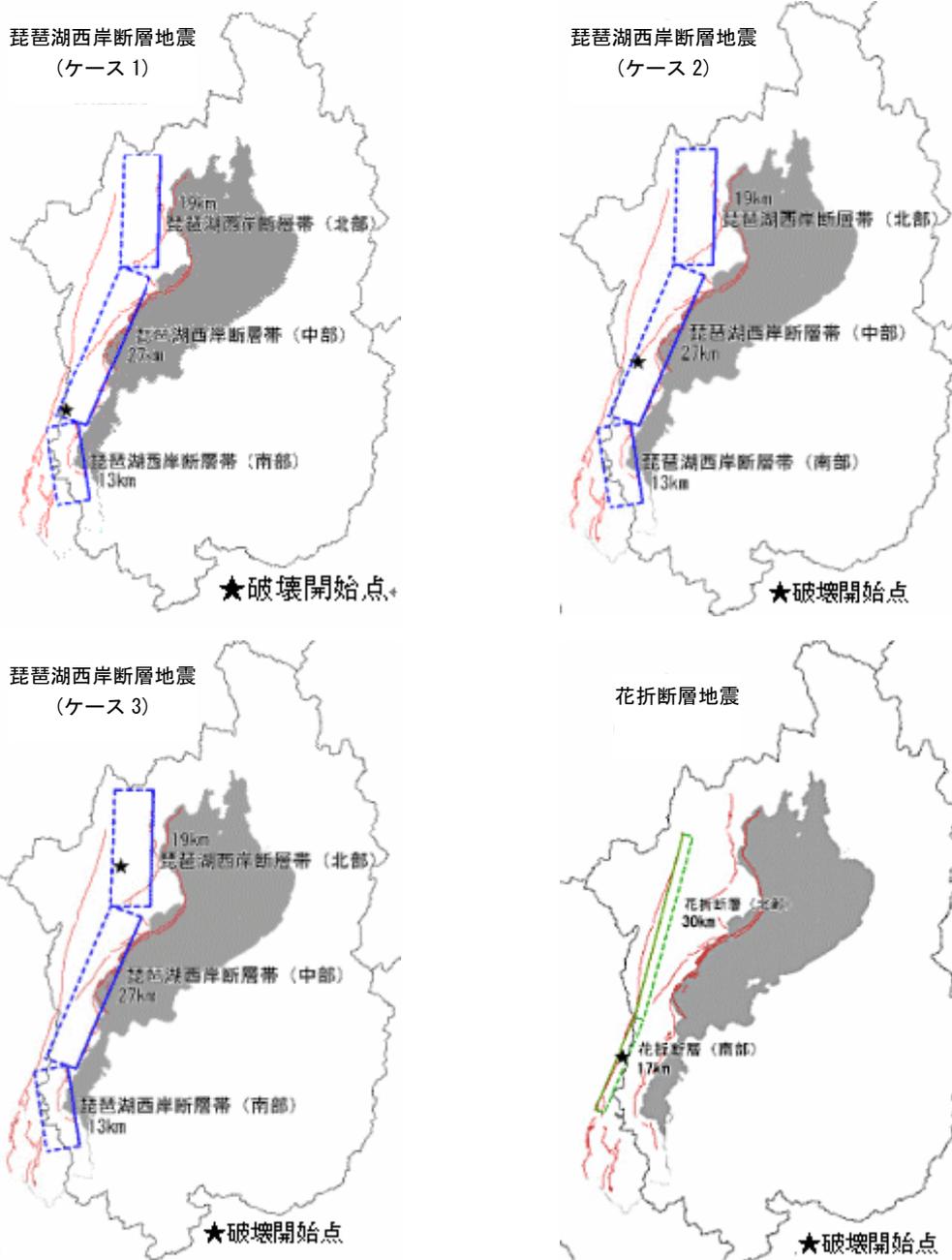
想定地震		東海・東南海・南海地震	東南海地震発生後 南海地震発生	布引山地東縁断層帯 東部
マグニチュード		8.7	8.1, 8.4	7.6
被害予測	地震動	○	○	○
	津波	○	○	
地震動予測	震度	～7	～7	～6強
建物被害	建物全壊(大破)棟数	53,220 棟	62,147 棟	13,024 棟
	炎上出火件数	359 件	398 件	100 件
	焼失棟数	26,930 棟	30,870 棟	5,390 棟
人的被害	死者数	1,000 人	1,305 人	166 人
	負傷者数	6,450 人	6,562 人	1,198 人
	避難者数	62,227 人	72,251 人	14,316 人
ライフライン被害	電力			
	通信			
	都市ガス			
	上水道			
	下水道			
備考				

【震度分布：東海・東南海・南海地震】



滋賀県(2005)

■想定地震

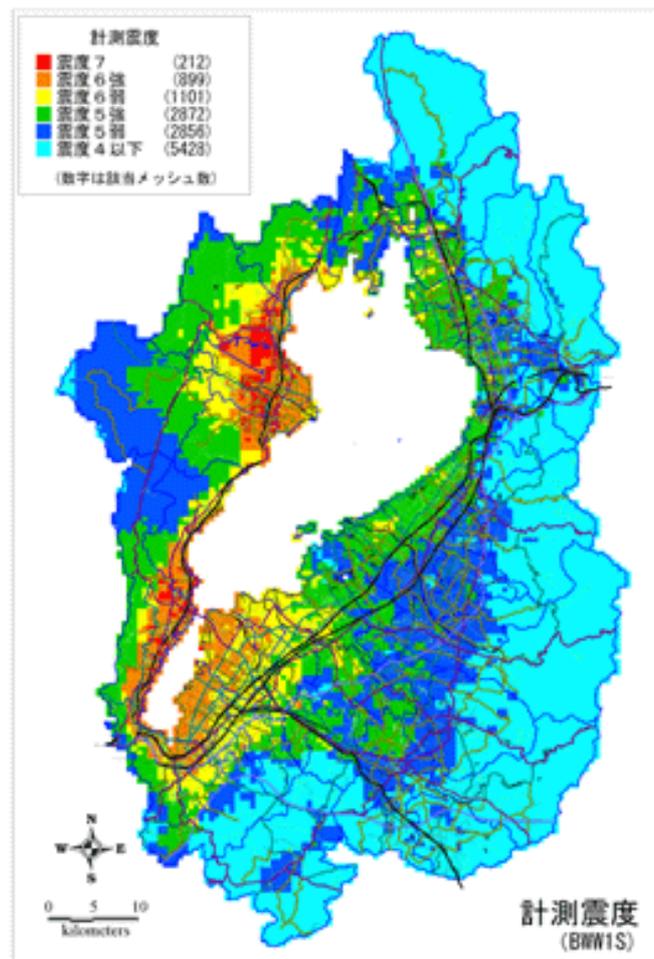


想定地震	マグニチュード	備考
琵琶湖西岸断層帯地震 (3ケース)	7.8 Mw7.3	長さ 59km, 全断層面積 1003km ² , 地震モーメント 5.6×10^{26} dyne・cm, アスベ ^レ リテ部応力降下量 14.7MPa
花折断層帯地震	7.6 Mw6.9	長さ 47km, 全断層面積 752km ² , 地震モーメント 3.15×10^{26} dyne・cm, アスベ ^レ リテ部応力降下量 14.0MPa
東南海・南海地震	Mw8.5	中央防災会議の地震動予測結果に基づく

■ 想定結果

想定地震		琵琶湖西岸断層帯地震（ケース1）	花折断層帯地震	東南海・南海地震
マグニチュード		7.8 Mw7.3	7.6 Mw6.9	Mw8.5
被害予測	地震動	○	○	○
	津波			
地震動予測	震度	～7	～6強	～6弱
建物被害	建物全壊（大破）棟数	45,994 棟	6,665 棟	1,427 棟
	炎上出火件数	93 件	19 件	ほぼ0件
	焼失棟数			
人的被害	死者数	898 人	89 人	43 人
	重傷者数	493 人	257 人	44 人
	避難者数	82,889 人	23,262 人	5,336 人
ライフライン被害	電力			
	通信			
	都市ガス			
	上水道			
	下水道			
備考				

【震度分布：琵琶湖西岸断層帯地震（ケース1）】



京都府(1998)

■想定地震

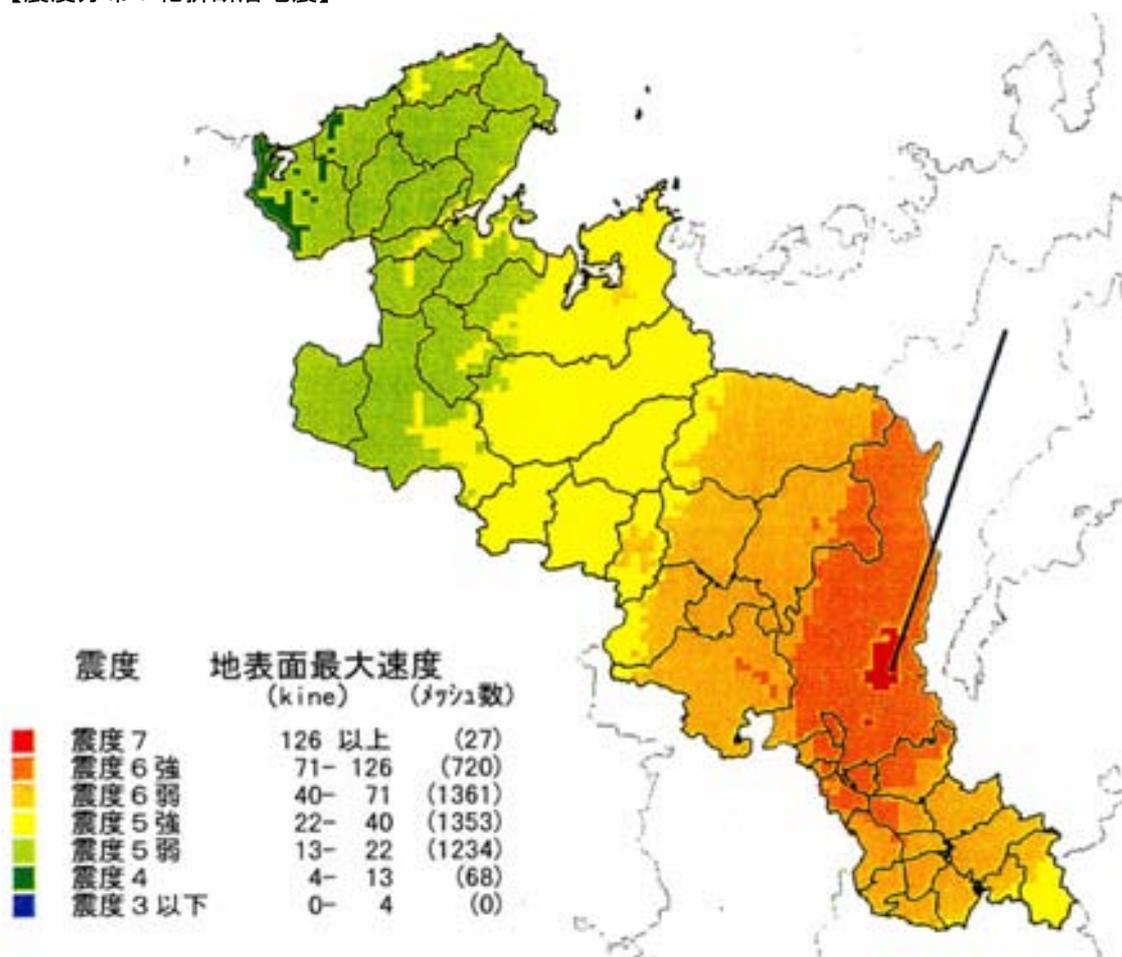


想定地震	マグニチュード	断層の長さ
花折断層地震	7.6	47 km
西山断層系地震	7.5	45 km
黄檗断層系地震	7.1	25 km
三峠断層地震	7.0	21 km
上林川断層地震	7.0	19 km
若狭湾内断層地震	7.0	20 km
南海地震	8.4	—

■ 想定結果

想定地震		花折断層地震	西山断層系地震	黄檗断層系地震
マグニチュード		7.6	7.5	7.1
被害予測	地震動	○	○	○
	津波			
地震動予測	震度	～7	～7	～6強
建物被害	建物全壊(大破)棟数	212,600 棟	127,100 棟	101,100 棟
	炎上出火件数	517 件	387 件	287 件
	焼失棟数			
人的被害	死者数	10,400 人	5,030 人	4,860 人
	負傷者数	102,530 人	71,460 人	57,570 人
	避難者数	415,800 人	268,600 人	230,700 人
ライフライン被害	電力			
	通信			
	都市ガス			
	上水道			
	下水道			
備考		炎上出火件数は冬の夕方、人的被害は建物倒壊による早朝の予測値		

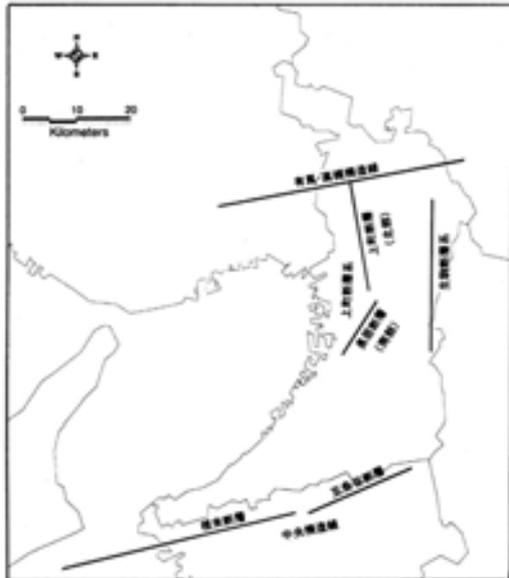
【震度分布：花折断層地震】



大阪府(1997)

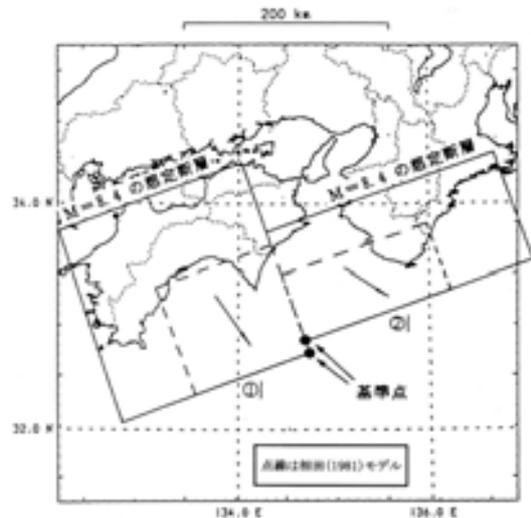
■想定地震

【地震動】



<直下型>

【津波】



<海溝型>



【地震動】

		モーメントマグニチュード [*]	長さ (km)	幅 (km)	深さ (km)
上町断層系	北部：上町断層	Mw 6.88	20	24	16
	南部：長居断層		12	24	
生駒断層系		Mw 6.82	28	24	16
有馬・高槻構造線		Mw 6.96	44	21	16
中央構造線	根来断層	Mw 7.00	40	21	16
	五条谷断層		20	21	
南海トラフ	南海	Mw 8.3	360	180	—
	東南海	Mw 8.1	270	180	

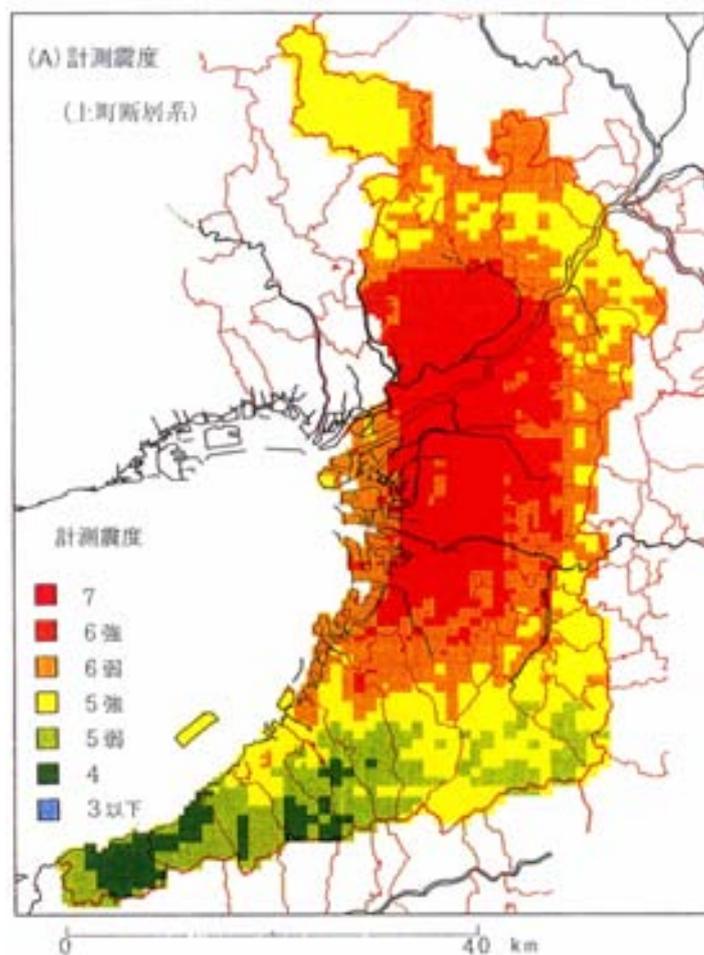
【津波】 想定地震津波モデル(マグニチュード 8.4)

	長さ (km)	幅 (km)	上端深さ (km)	傾斜角 (°)	走向方向	すべり量 (m)	縦ずれ成分 (m)	横ずれ成分 (m)	断層の位置 (断層走向線の)	
									左上端	右上端
断層① (西側)	190	190	1	20°	N110° W	7.9	-7.7	-1.9	32.68° N 134.75° E	32.08° N 132.86° E
断層② (東側)	235	110	10	10°	N110° W	6.3	-5	-3.8	33.51° N 137.08° E	32.80° N 134.71° E

■ 想定結果

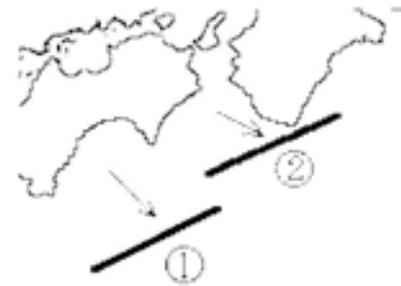
想定地震		上町断層系	生駒断層系	有馬高槻構造線
マグニチュード		Mw 6.88	Mw 6.82	Mw 6.96
被害予測	地震動	○	○	○
	津波			
地震動予測	震度	～7	～7	～7
建物被害	建物全壊(大破)棟数	280,398	227,126	31,249
	炎上出火件数	908	680	170
	焼失棟数	79,946	111,547	25,236
人的被害	死者数	19,275	12,870	3,702
	重傷者数	132,352	79,551	43,195
	避難者数	2,801,882	1,802,925	701,283
ライフライン被害	電力(停電)	837千軒	322千軒	37千軒
	通信(電話不通)	769万人	499万人	349万人
	都市ガス(供給支障)	3,172千戸	3,089千戸	1,787千戸
	上水道(断水)	663万人	299万人	246万人
	下水道(機能支障)			
備考		生駒断層系, 有馬高槻構造線の上水道(断水)は大阪市分を除いた想定値		

【震度分布：上町断層系】



兵庫県(1999)

■想定地震



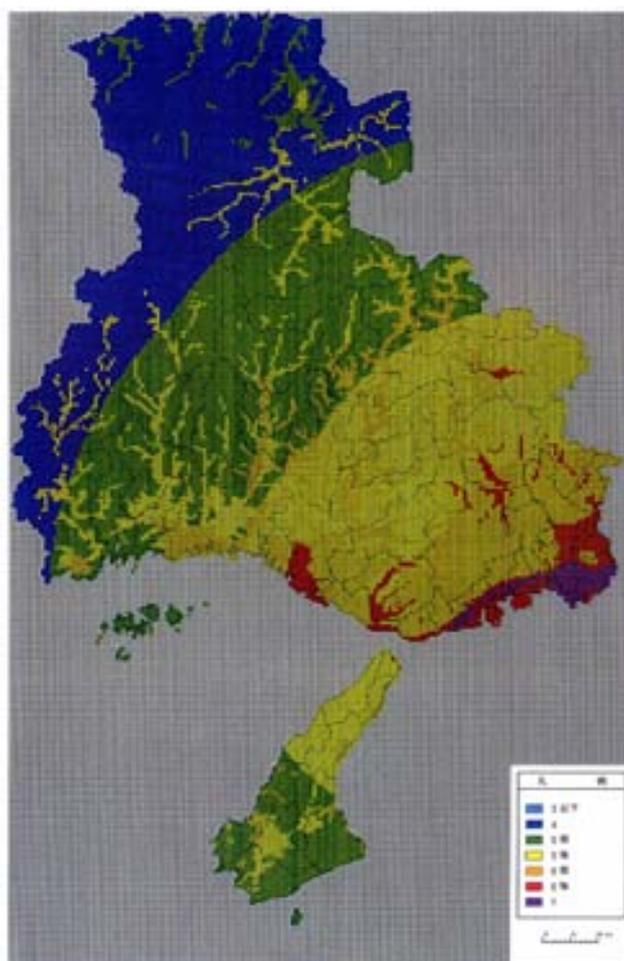
南海道地震(M8.4)

想定地震	マグニチュード	走向(度)	傾斜(度)	長さ(km)	幅(km)	深さ(km)
有馬高槻構造線～ 六甲断層帯地震	7.7	N80E N50E	90 90	53 25	- -	0 0
山崎断層地震	7.7	N60W N70W	90 90	51 19	- -	0 0
中央構造線地震	8.0	N70E	90	79	-	0
日本海沿岸地震	7.3	N15E	90	10	-	0
南海道地震	8.4	N20E N20E	160 170	150 150	120 70	1 10

■ 想定結果

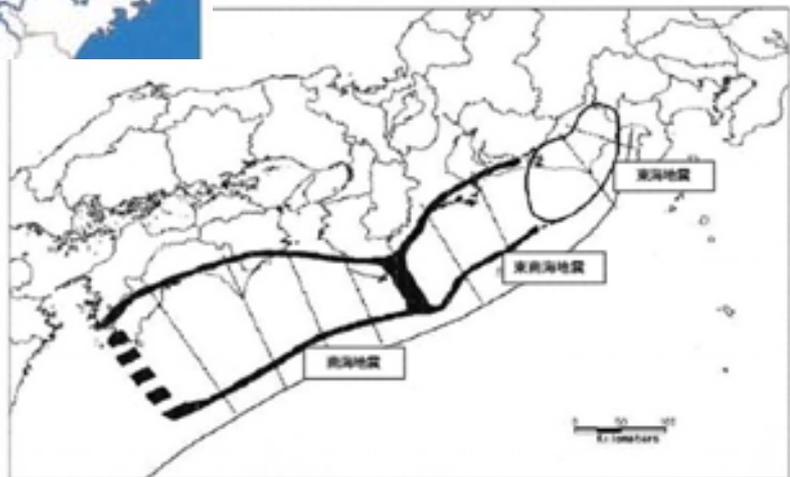
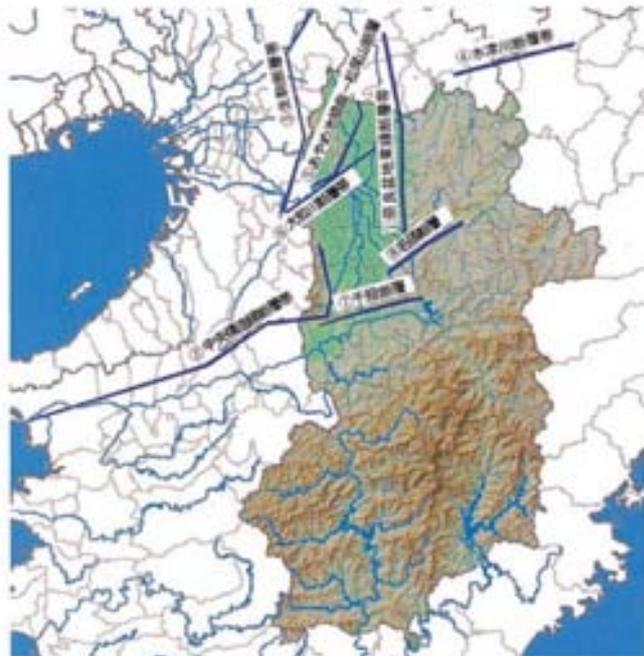
想定地震		有馬高槻構造線～ 六甲断層帯地震	山崎断層地震	中央構造線地震
マグニチュード		7.7	7.7	8.0
被害予測	地震動	○	○	○
	津波			
地震動予測	震度	～7	～6強	～6強
建物被害	建物全壊(大破)棟数	165,086 棟	58,205 棟	9,213 棟
	炎上出火件数	481 件	113 件	18 件
	焼失棟数	67,542 棟	4,416 棟	782 棟
人的被害	死者数	12,073 人	3,057 件	769 件
	重傷者数	62,011 件	21,919 件	5,543 件
	避難者数	544,890 件	398,444 件	55,990 件
ライフライン被害	電力			
	通信			
	都市ガス			
	上水道			
	下水道			
備考				

【震度分布：有馬高槻構造線～六甲断層帯地震】



奈良県 (2005)

■想定地震



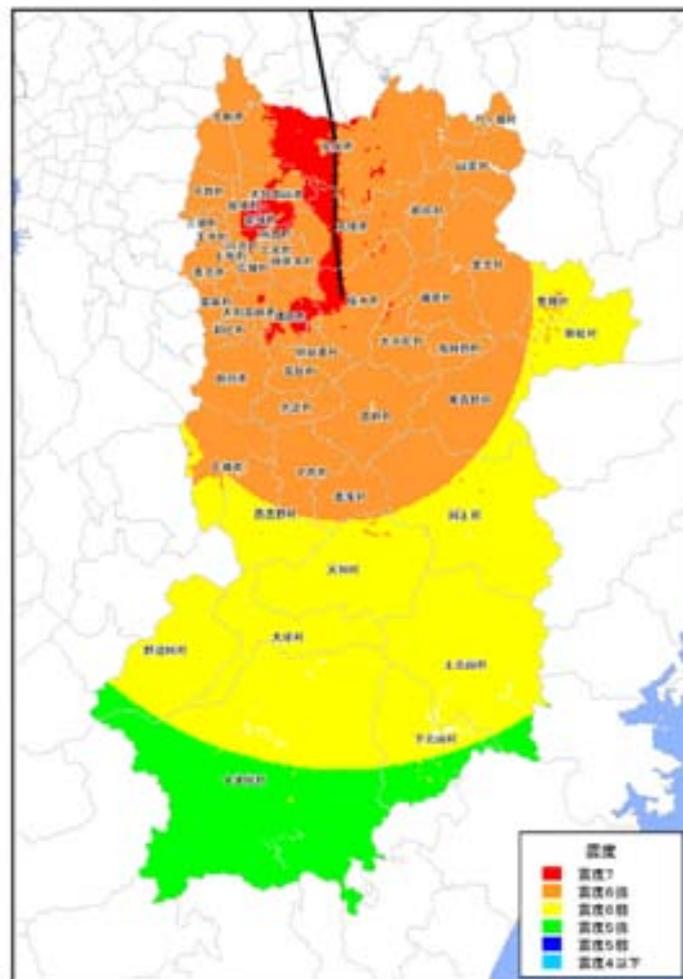
(出所) 中央防災会議専門調査会資料

	想定地震	マグニチュード	断層長さ (km)	深さ
内陸型地震	①奈良盆地東縁断層帯	7.5	35	10
	②中央構造線断層帯	8.0	74	
	③生駒断層帯	7.5	38	
	④木津川断層帯	7.3	31	
	⑤あやめ池撓曲－松尾山断層	7.0	20	
	⑥大和川断層帯	7.1	22	
	⑦千股断層	7.1	22	
	⑧名張断層	6.9	18	
海溝型地震	①東南海・南海地震同時発生	8.6	中央防災会議「東南海、南海地震等に関する専門調査会」で想定された東海、東南海、南海地震の5つの組合せのケースを想定	
	②東南海地震	8.2		
	③南海地震	8.6		
	④東海・東南海地震同時発生	8.3		
	⑤東海・東南海・南海地震同時発生	8.7		

■想定結果

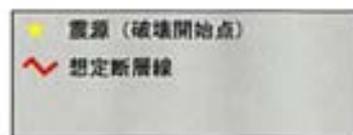
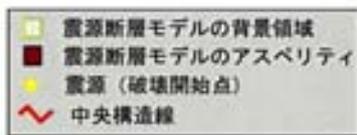
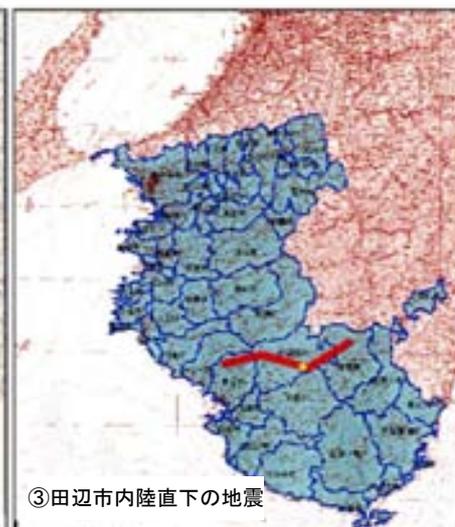
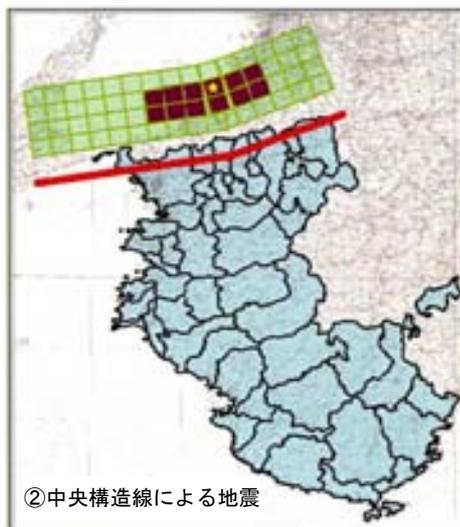
想定地震		奈良盆地東縁断層帯	中央構造線断層帯	生駒断層帯
マグニチュード		7.5	8.0	7.5
被害予測	地震動	○	○	○
	津波			
地震動予測	震度	～7	～7	～7
建物被害	建物全壊(大破)棟数	119,535	98,086	98,123
	炎上出火件数	1,199	995	971
	焼失棟数	16,284	15,207	15,528
人的被害	死者数	5,153	4,319	4,527
	重傷者数(含む重篤者)	7,819	6,261	6,580
	避難者数	435,074	393,781	431,210
ライフライン被害	電力(停電)	486,436世帯	485,013世帯	480,844世帯
	通信(電話不通)	67,339世帯	65,613世帯	63,267世帯
	都市ガス(供給支障)	256,903世帯	256,903世帯	256,903世帯
	上水道(断水)	433,526世帯	385,855世帯	437,286世帯
	下水道(被害延長)	429.1km	335.2km	348.6km
備考		下水道の管路総延長は3,743.1km		

【震度分布：奈良盆地東縁断層帯】



和歌山県(2006)

■想定地震

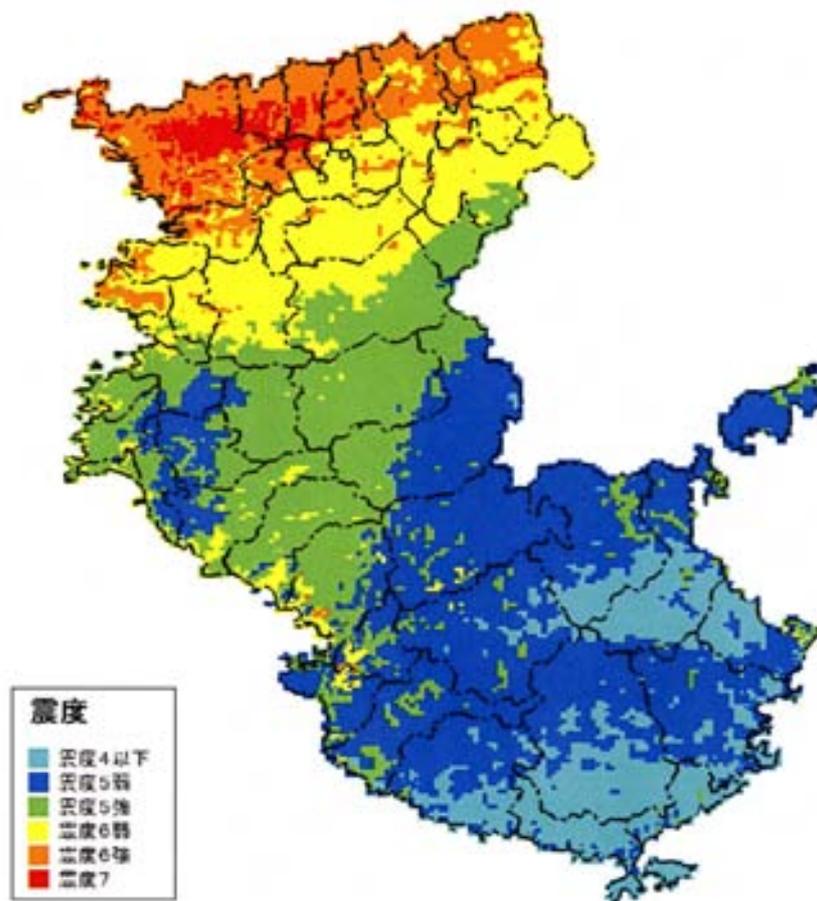


	①東海・東南海・南海地震	②中央構造線による地震	③田辺市内陸直下の地震
地震の規模 (マグニチュード)	8.6 相当	8.0 相当	6.9 相当
震源断層の位置	駿河トラフ～南海トラフ	中央構造線 (淡路島南沖～和歌山・奈良県境付近)	田辺市～本宮町
震源断層の深さ	約 10～30km	4～14km	4～12.6km

■ 想定結果

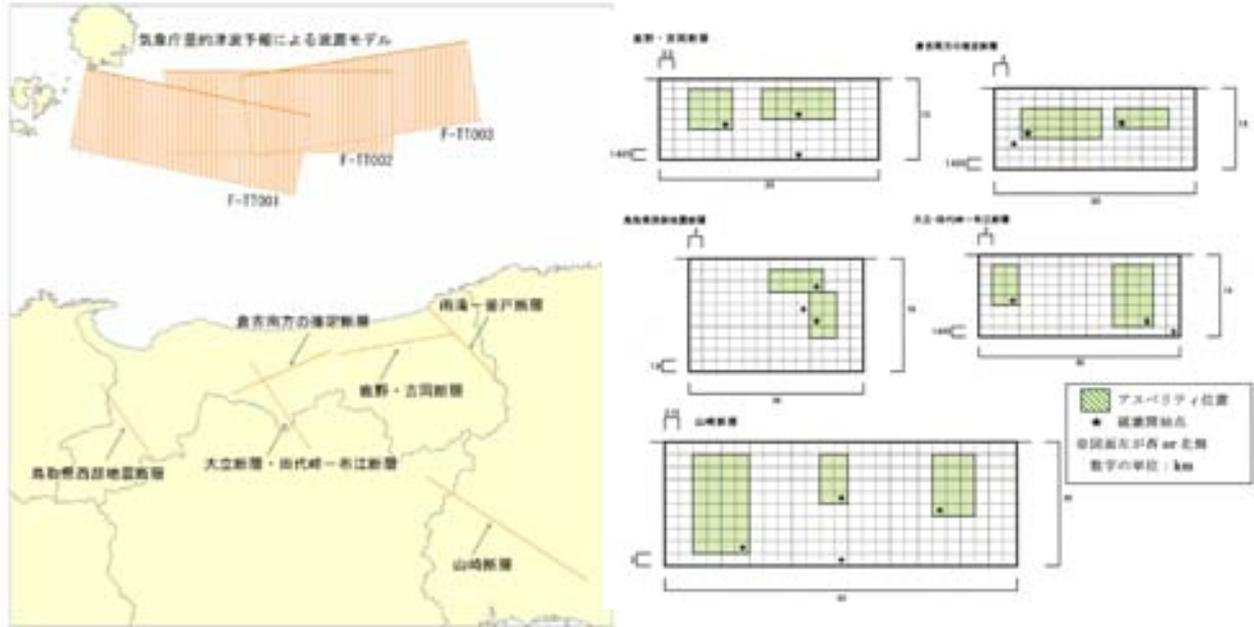
想定地震		東海・東南海・南海地震	中央構造線による地震	田辺市内陸直下の地震
マグニチュード		8.6相当	8.0相当	6.9相当
被害予測	地震動	○	○	○
	津波	○		
地震動予測	震度	7	7	6強
建物被害	建物全壊(大破)棟数	62,532棟	55,648棟	976棟
	炎上出火件数	410件	621件	11件
	焼失棟数	42,063棟	81,593棟	100棟
人的被害	死者数	4,700人	3,520人	52人
	重傷者数	1,924人	3,164人	31人
	避難者数	243,230人	322,652人	6,218人
ライフライン被害	電力(停電)	920,527人	886,302人	73,569人
	通信(電話不通)	411,960人	546,683人	5,435人
	都市ガス(供給支障)	170,246人	163,597人	213人
	上水道(断水)	549,177人	704,828人	11,648人
	下水道(機能支障)	5,741人	9,250人	59人
備考		建物全壊(大破)棟数は、地震動・液状化・津波・がけ崩れ・火災別の被害を重複処理した被害数から火災による焼失棟数を引いた値		

【震度分布：中央構造線による地震】



鳥取県(2005)

■想定地震



【地震動】

No.	想定地震	マグニチュード ^a
1	鹿野・吉岡断層(1943年鳥取地震)	7.2
2	倉吉南方の推定断層	7.2
3	鳥取県西部地震断層	7.3
4	大立断層・田代峠-布江断層	7.2
5	山崎断層	7.7
6	雨滝-釜戸断層	7.3

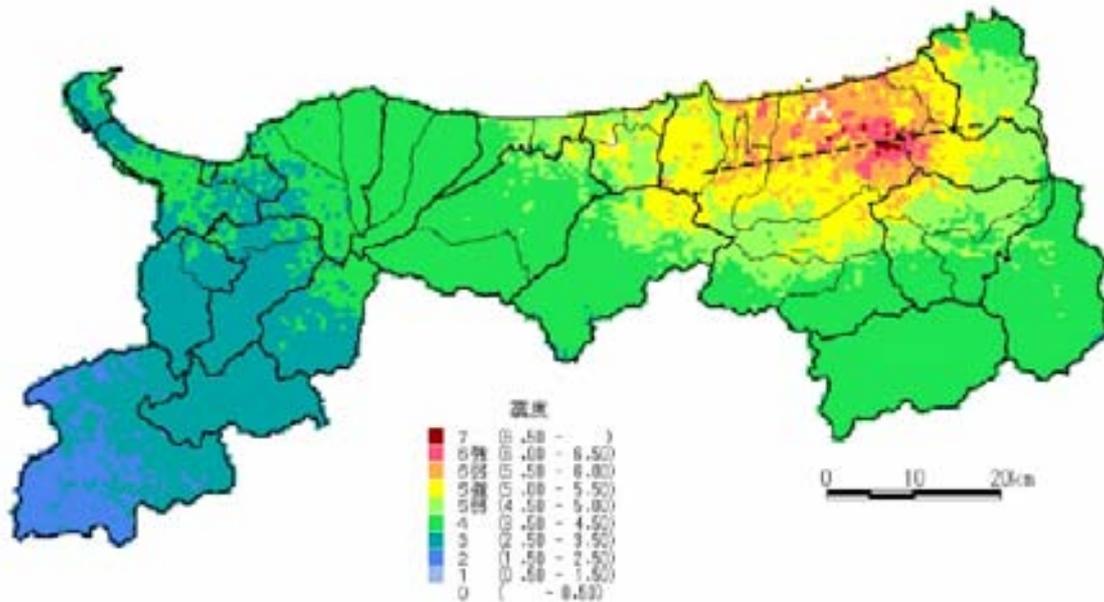
【津波】

	気象庁量的津波予報に対応する断層の断層モデル		
	F-TT001	F-TT002	F-TT003
原点座標(度)	(36.22, 133.10)	(36.19, 133.32)	(36.16, 133.55)
マグニチュード	7.4	7.4	7.4
断層長さ(km)	63	63	63
断層幅(km)	32	32	32
断層すべり量(m)	3.16	3.16	3.16
断層走向(度)	102	90	81
上端深さ(km)	10	10	10
傾斜角(度)	45	45	45
滑り角(度)	90	90	90

■想定結果

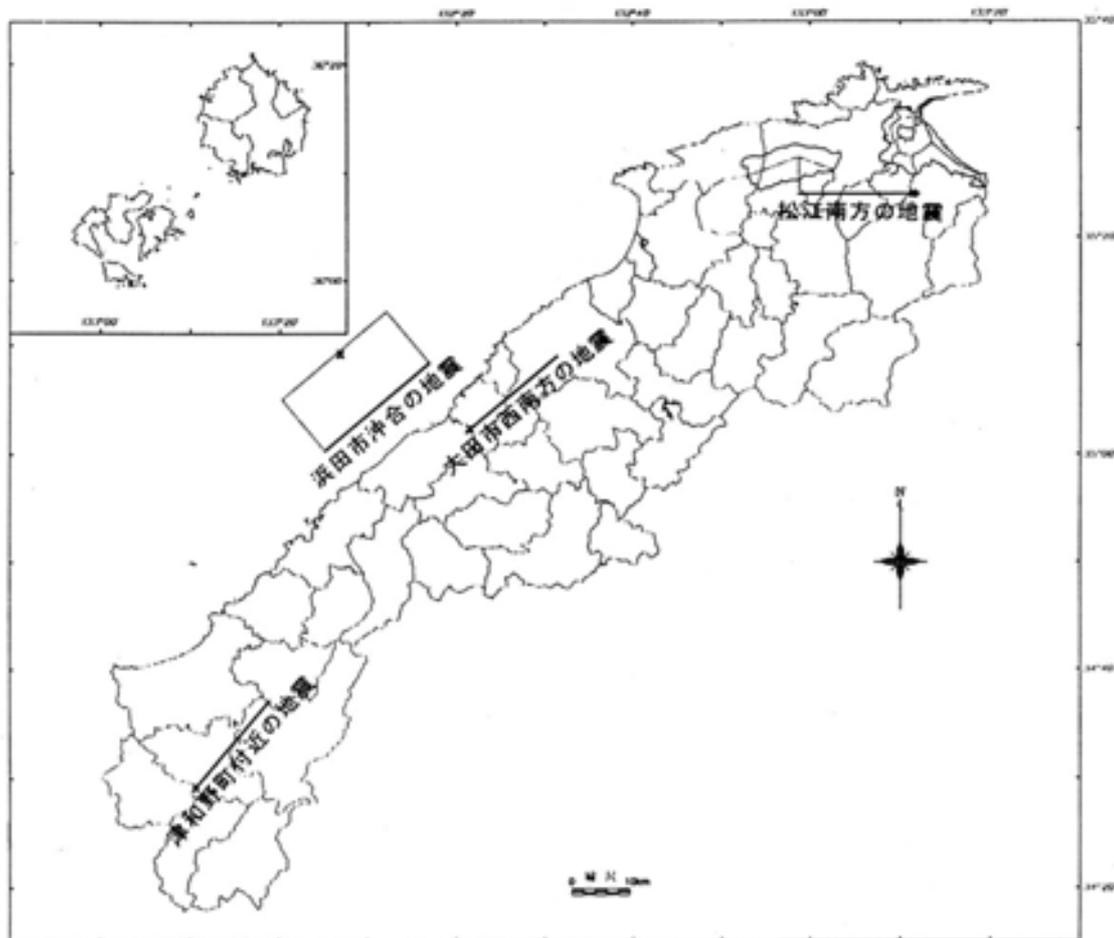
想定地震		鹿野・吉岡断層	倉吉南方の推定断層	鳥取県西部地震断層
マグニチュード		7.2	7.2	7.3
被害予測	地震動	○	○	○
	津波			
地震動予測	震度	～7	～6強	～7
建物被害	建物全壊(大破)棟数	2,959 棟	887 棟	515 棟
	炎上出火件数	43 件	12 件	9 件
	焼失棟数	5,052 棟	1,519 棟	2,216 棟
人的被害	死者数	296 人	50 人	45 人
	重傷者数	265 人	137 人	129 人
	避難者数	18,883 人	8,496 人	5,201 人
ライフライン被害	電力(停電率)	12.5%	7.9%	9.9%
	通信(通話支障率)	2.4%	1.4%	3.0%
	都市ガス(供給支障)	23,170 戸	0 戸	14,280 戸
	上水道(断水率)	82%	33%	30%
	下水道(機能支障)	3,937 人	1,086 人	1,768 人
備考		都市ガスは、鳥取ガスと米子ガスの合計値		

【震度分布：鹿野・吉岡断層】



島根県(1997)

■想定地震



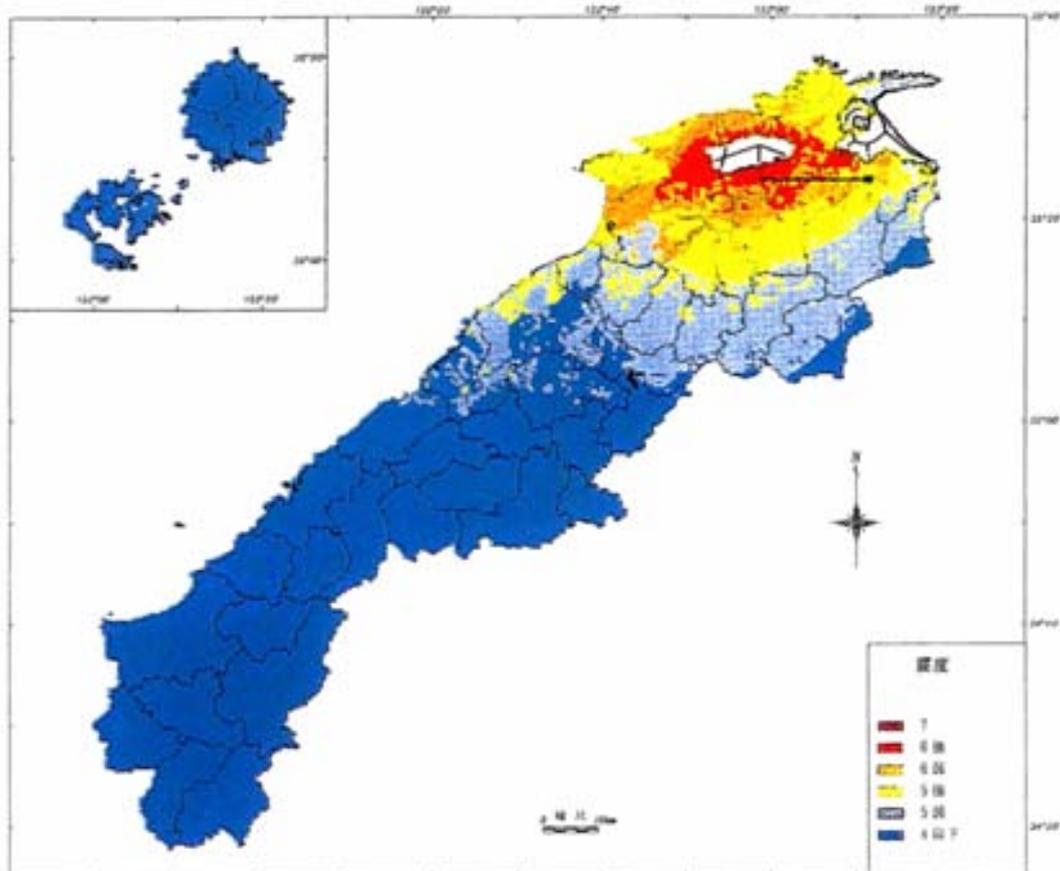
	松江南方の地震	大田市西南方の地震	浜田市沖合の地震	津和野町付近の地震
マグニチュード	7.0	7.0	7.1	7.0
長さ(km)	20.0	20.0	23.0	20.0
幅(km)	10.0	10.0	11.5	10.0
深さ(km)	1.0	1.0	3.0	1.0
走向(度)	270	230	230	220
傾斜(度)	90	90	10	90
断層原点				
北緯(度)	35.40	35.15	35.14	34.62
東経(度)	133.20	132.52	132.28	131.98
破壊開始点	断層東端下部より	断層西南端下部より	断層中央下部より	断層西南端下部より

○ 歴史地震，地震活動および活断層分布を参考にして震源断層を設定

■ 想定結果

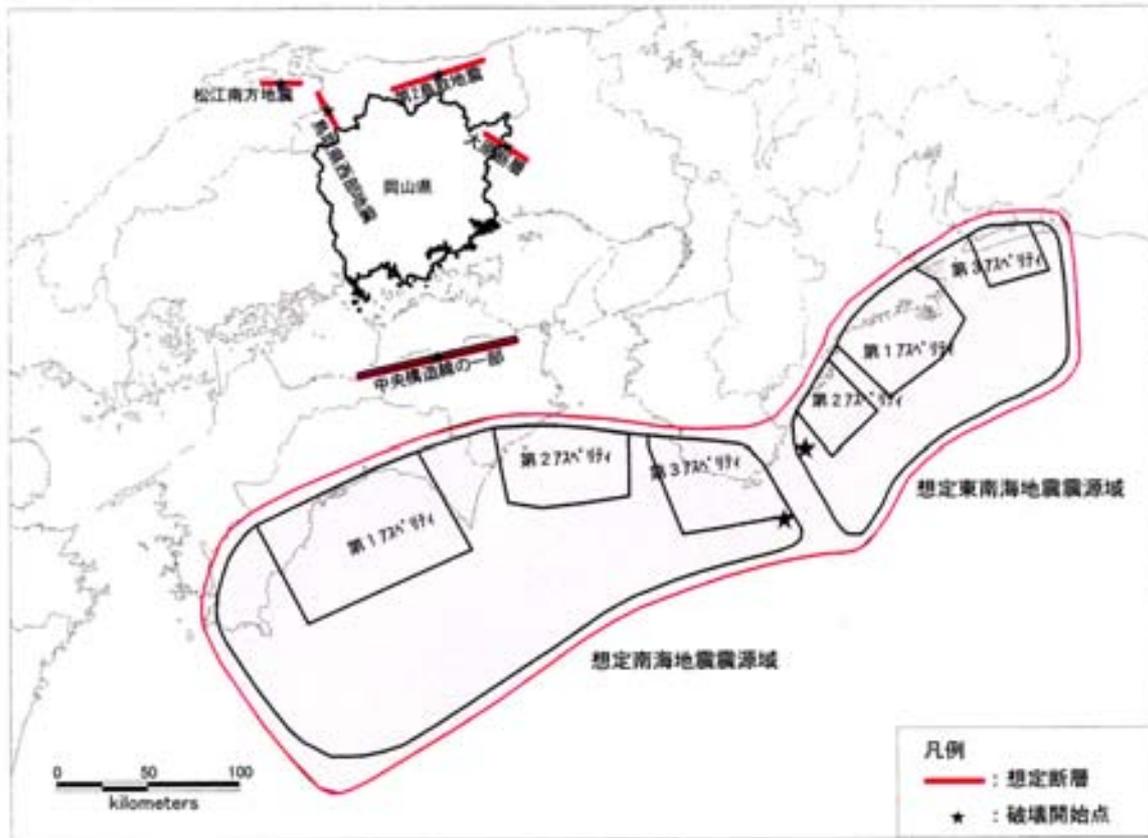
想定地震		松江南方の地震	大田市西南方の地震	浜田市沖合の地震
マグニチュード		7.0	7.0	7.1
被害予測	地震動	○	○	○
	津波			
地震動予測	震度	～7	～6強	～6強
建物被害	建物全壊(大破)棟数	12,112 棟	4,429 棟	2,588 棟
	炎上出火件数	118 件	44 件	24 件
	焼失棟数	22,521 棟	2,656 棟	697 棟
人的被害	死者数	1,391 人	373 人	148 人
	負傷者数	9,896 人	3,642 人	1,901 人
	避難者数	113,489 人	27,853 人	11,216 人
ライフライン被害	電力(停電)	92,241 戸	36,420 戸	20,327 戸
	通信(電話不通)	112,019 件	41,286 件	14,047 件
	都市ガス(被害箇所数)	230.3 箇所	20.9 箇所	277.2 箇所
	上水道(断水)	137,175 世帯	39,683 世帯	45,805 世帯
	下水道(被害箇所数)	656.42 箇所	24.98 箇所	17.54 箇所
備考				

【震度分布：松江南方の地震】



岡山県(2003)

■想定地震

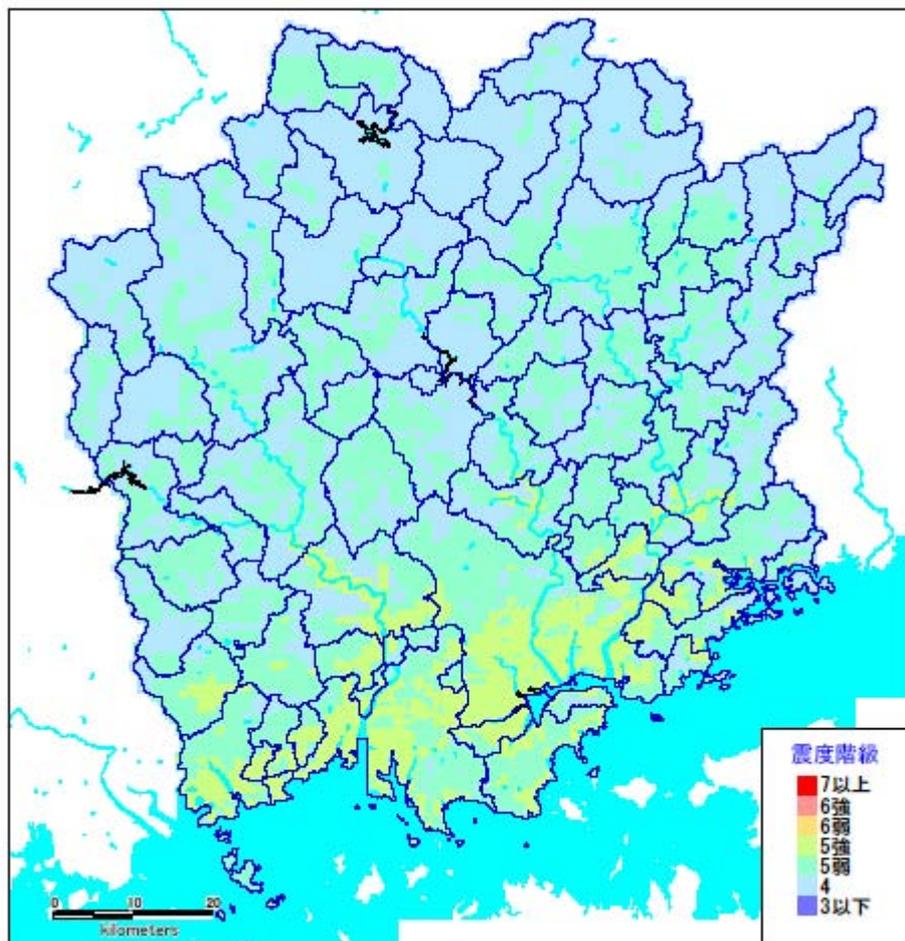


想定地震 諸元	南海トラフの地震		鳥取県 西部地震	第2鳥取 地震	松江南方 地震	中央構造線の 一部	大原断層
	南海地震	東南海地震					
マグニチュード	8.5		7.3	7.2	7.0	8.0	7.2
モーメントマグニチュード	8.6		6.6	7.1	6.6	7.4	6.7
長さ L(km)	約 300	約 200	20	50	20	87	25.8
幅 W(km)	約 150	約 100	10	13	10	10	8.5
断層上端深さ d (km)	10	10	1	0	1	5	5
走向 θ (°)	N65E	N49E	N28W	N70E	N90W	N76E	N59W
傾斜 δ (°)	7.66S	11.5S	86W	90	90	75N	90
断層位置 (南西端)北緯	31° 58'	33° 7'	35° 21'	35° 30'	35° 24'	33° 58'	33° 9'
断層位置 (南西端)東経	133° 18'	136° 19'	133° 18'	134° 15'	133° 12'	133° 32'	134° 16'

■ 想定結果

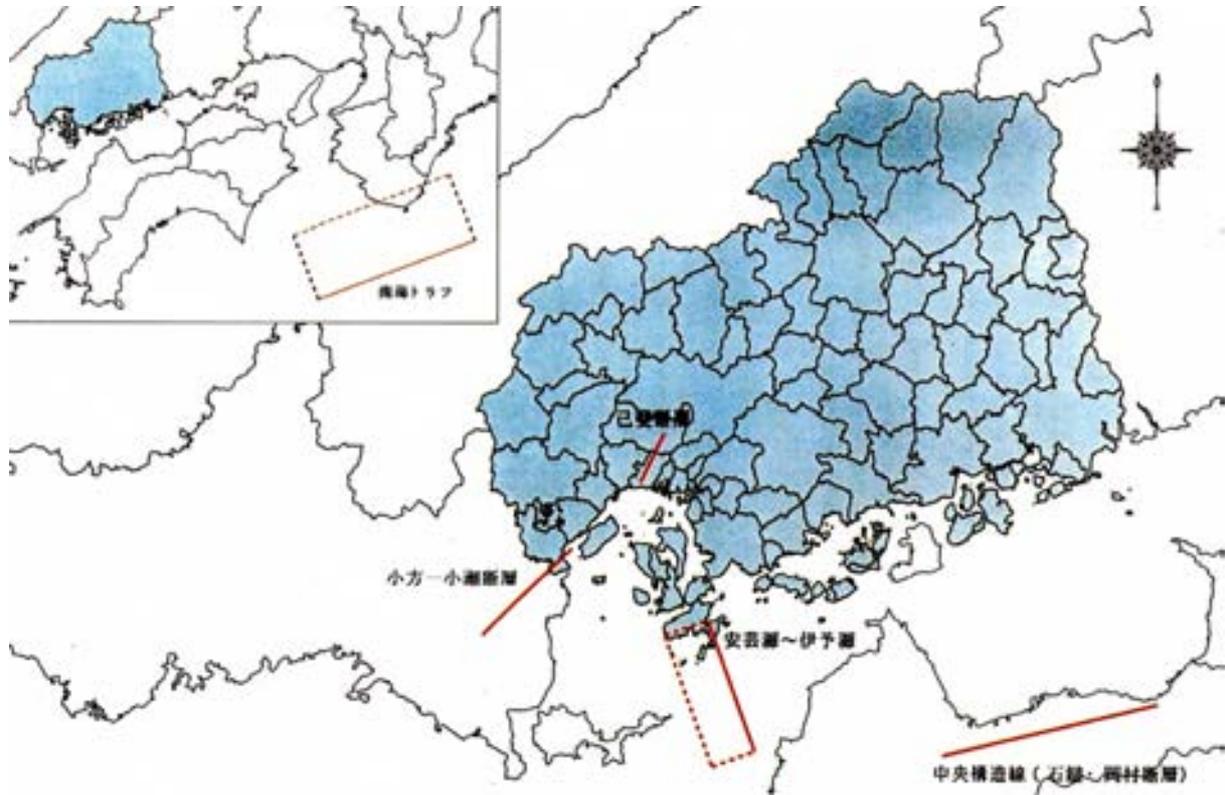
想定地震		南海トラフの地震	中央構造線の一部	大原断層
マグニチュード		8.5	8.0	7.2
被害予測	地震動	○	○	○
	津波			
地震動予測	震度	～5強	～5強	～6強
建物被害	建物全壊(大破)棟数	8,819棟	5,934棟	1,146棟
	炎上出火件数	262件	164件	8件
	焼失棟数	86,668棟	58,068棟	69棟
人的被害	死者数	821人	486人	9人
	負傷者数	25,422人	15,407人	527人
	罹災者数	181,901人	112,805人	1,755人
ライフライン被害	電力(停電)			
	通信(電話不通)			
	都市ガス(供給支障)			
	上水道(断水)			
	下水道(機能支障)			
備考				

【震度分布：南海トラフの地震】



広島県(1997)

■想定地震



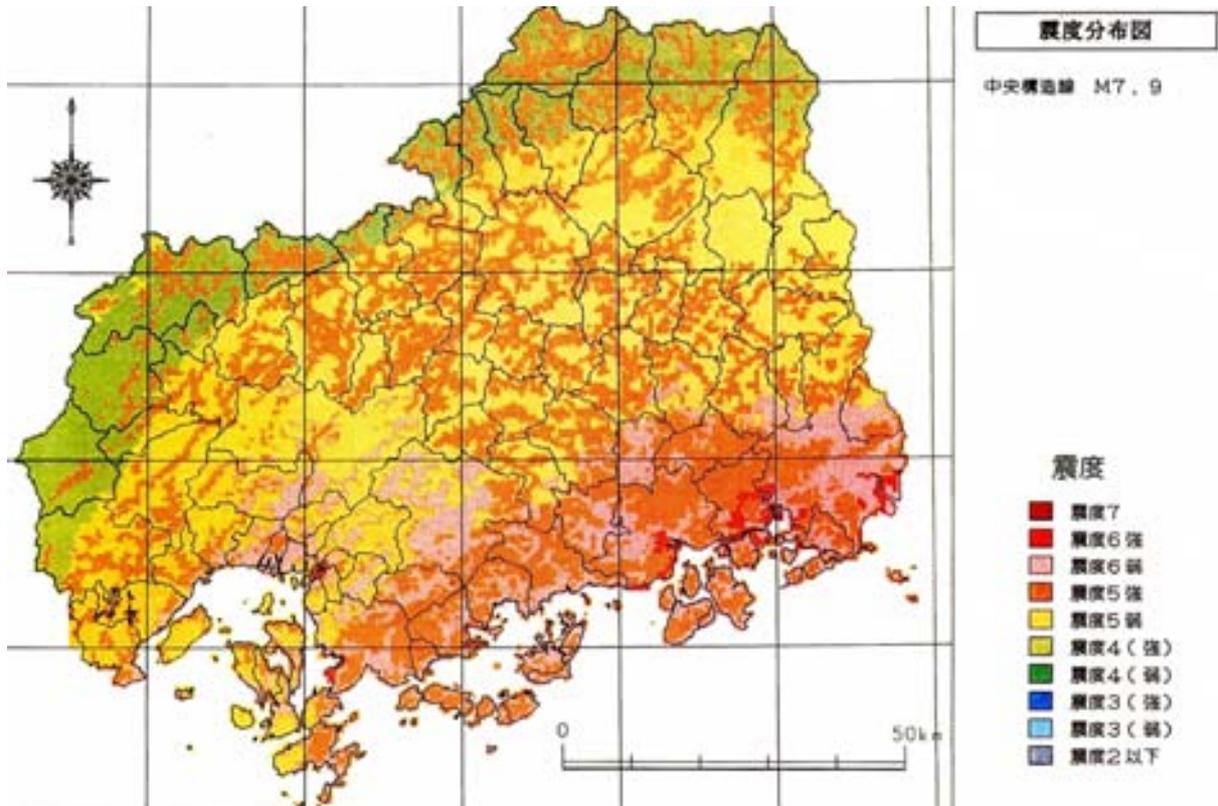
想定地震	マグニチュード	長さ(km)	幅(km)	断層上端の深さ(km)
安芸灘～伊予灘の地震	7 1/4	28	13	45
己斐断層による地震	6.5	10	10	0
小方-小瀬断層による地震	7.2	26	15	0
中央構造線による地震	7.9	50	20	0
南海トラフの地震	8.4	150	70	0

- 広島県における過去の地震被害および活断層分布を参考にして震源断層を設定
- 「南海トラフの地震」に関しては、県内の想定震度が最大でも5強程度と他の地震に比べて小さいため、地震動、液状化および地盤災害の想定のみが行われている

■ 想定結果

想定地震		己斐断層	小方-小瀬断層	中央構造線
マグニチュード		6.5	7.2	7.9
被害予測	地震動	○	○	○
	津波			
地震動予測	震度	～6強	～6強	～6強
建物被害	建物全壊(大破)棟数	29,781棟	42,148棟	71,910棟
	炎上出火件数	69件	659件	903件
	焼失棟数	14,756棟	14,118棟	18,161棟
人的被害	死者数	1,085人	973人	1,196人
	重傷者数	3,339人	5,499人	7,090人
	罹災者数	268,880人	447,966人	667,754人
ライフライン被害	電力(停電)	84,747世帯	116,807世帯	158,427世帯
	通信(電話不通)			
	都市ガス(被害箇所数)	3,110箇所	1,696箇所	2,005箇所
	上水道(断水)	443,381世帯	638,131世帯	753,579世帯
	下水道(被害箇所数)	3,152箇所	3,558箇所	3,753箇所
備考				

【震度分布：中央構造線】



山口県(1997)

■想定地震



断層パラメータ	小方・小瀬断層	菊川断層
長さL (km)	26.0	27.0
幅 W (km)	15.0	13.5
走向	N45° E	N45° W
傾斜	垂直	垂直
マグニチュードM	7.2	7.2
地震モーメントM ₀ (dyne・cm)	1.4×10 ²⁶	1.6×10 ²⁶

(注) 気象庁マグニチュード M : $\log L = 0.6M - 2.9$ より算出

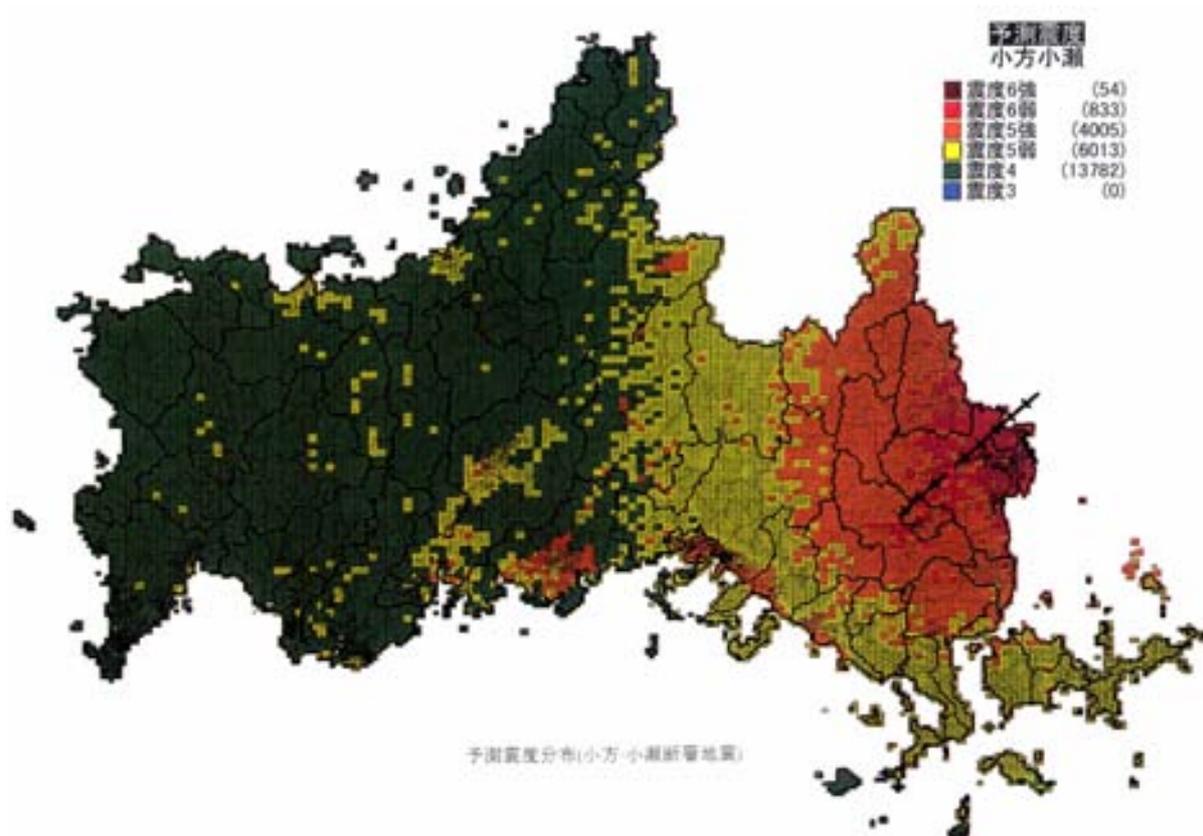
地震モーメント M₀ : $\log M_0 = 2.619 \log L + 22.445$ より算出

- 活断層調査結果を参考にして震源断層を設定
- 県内およびその周辺で過去に発生し、県内に影響を及ぼすと考えられる地震記録を統計処理し、地震活動度は今後も変わらないであろうという前提のもとに算出した「100年期待値の地震(歴史地震)」のケースも想定している。

■ 想定結果

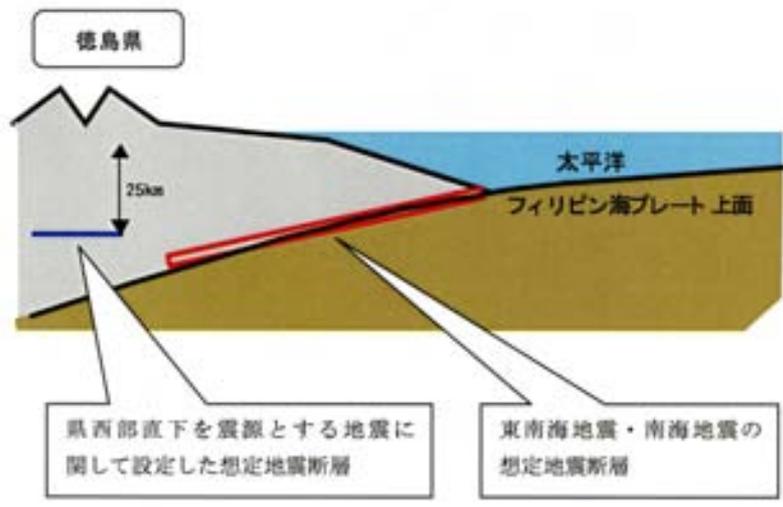
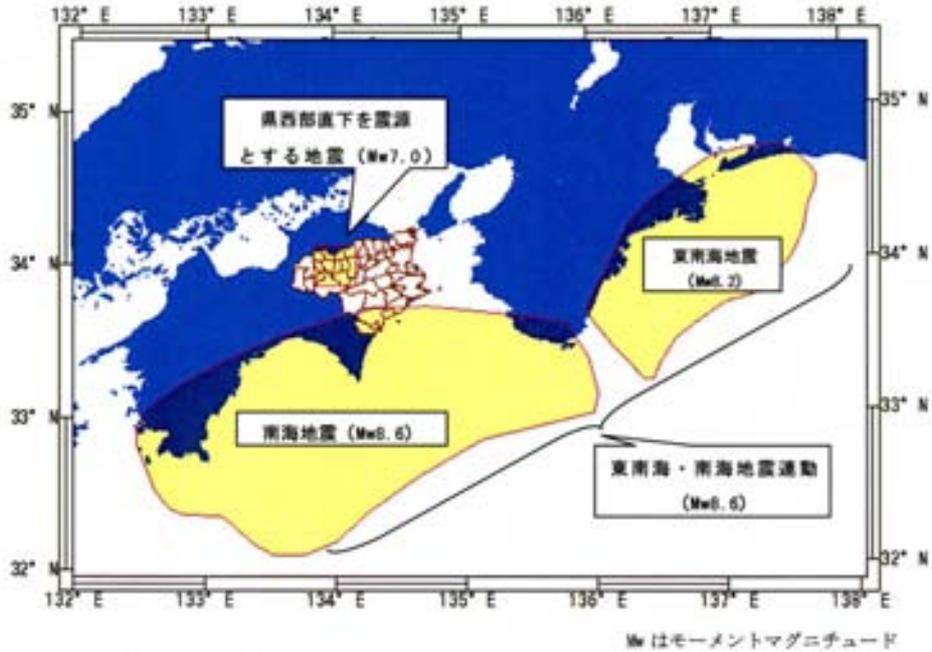
想定地震		小方-小瀬断層	菊川断層
マグニチュード		7.2	7.2
被害予測	地震動	○	○
	津波		
地震動予測	震度	～6強	～6強
建物被害	建物全壊(大破)棟数	2,174 戸	1,293 戸
	炎上出火件数	136 件	136 件
	焼失棟数		
人的被害	死者数	117 人	95 人
	負傷者数	1,814 人	2,392 人
	罹災者数	28,341 人	30,779 人
ライフライン被害	電力	50,510 戸	85,273 戸
	通信		
	都市ガス		
	上水道(断水)		
	下水道		
備考			

【震度分布：小方-小瀬断層】



徳島県 (2005)

■ 想定地震

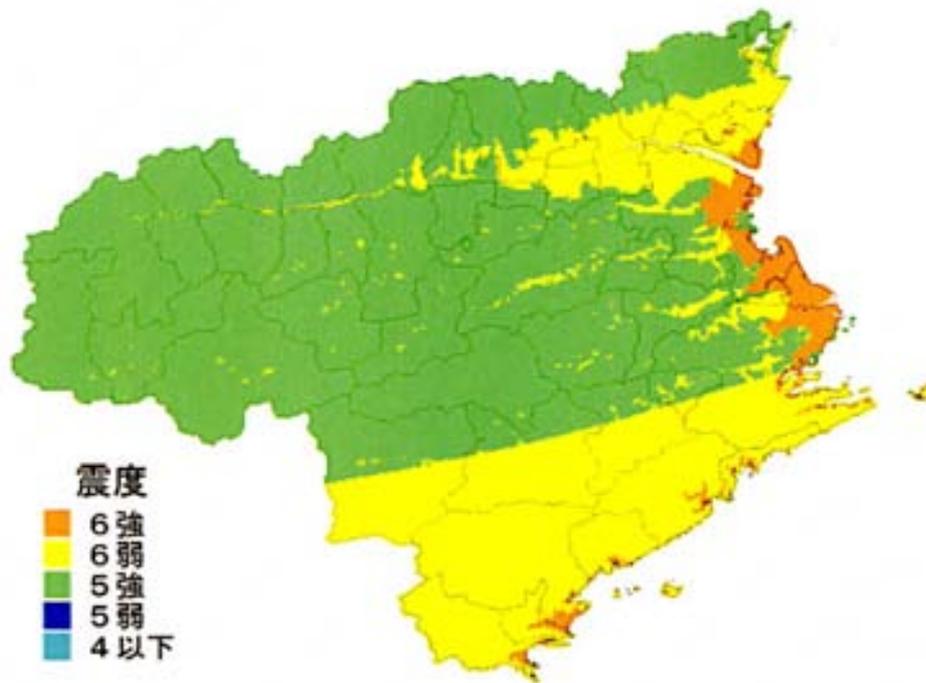


想定地震	モーメントマグニチュード
南海地震 (中央防災会議モデル)	Mw 8.6
東南海・南海地震連動 (中央防災会議モデル)	Mw 8.6
徳島県西部直下の地震	Mw 7.0

■ 想定結果

想定地震		南海地震 (中央防災会議モデル)	東南海・南海地震連動 (中央防災会議モデル)	徳島県西部直下の地震
マグニチュード		Mw 8.6	Mw 8.6	Mw 7.0
被害予測	地震動	○	○	○
	津波		○	
地震動予測	震度	～6強	～6強	～6弱
建物被害	建物全壊(大破)棟数	37,900棟	37,900棟	6,200棟
	炎上出火件数	228件	228件	31件
	焼失棟数	9,850棟	9,850棟	30棟
人的被害	死者数	2,980人	2,980人	180人
	重傷者数	1,540人	1,540人	120人
	避難者数	321,500人	321,500人	86,600人
ライフライン被害	電力(停電)			
	通信(電話不通)			
	都市ガス(供給支障)			
	上水道(断水)			
	下水道(機能支障)			
備考		被害数に津波によるものは含まない		

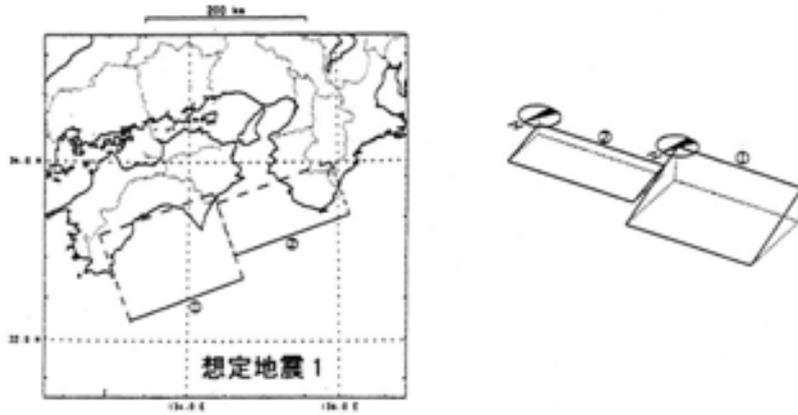
【震度分布：南海地震，東南海・南海地震連動】



○ 南海地震と東南海・南海地震連動の地震動予測結果は同じになっている

香川県(1997)

■想定地震



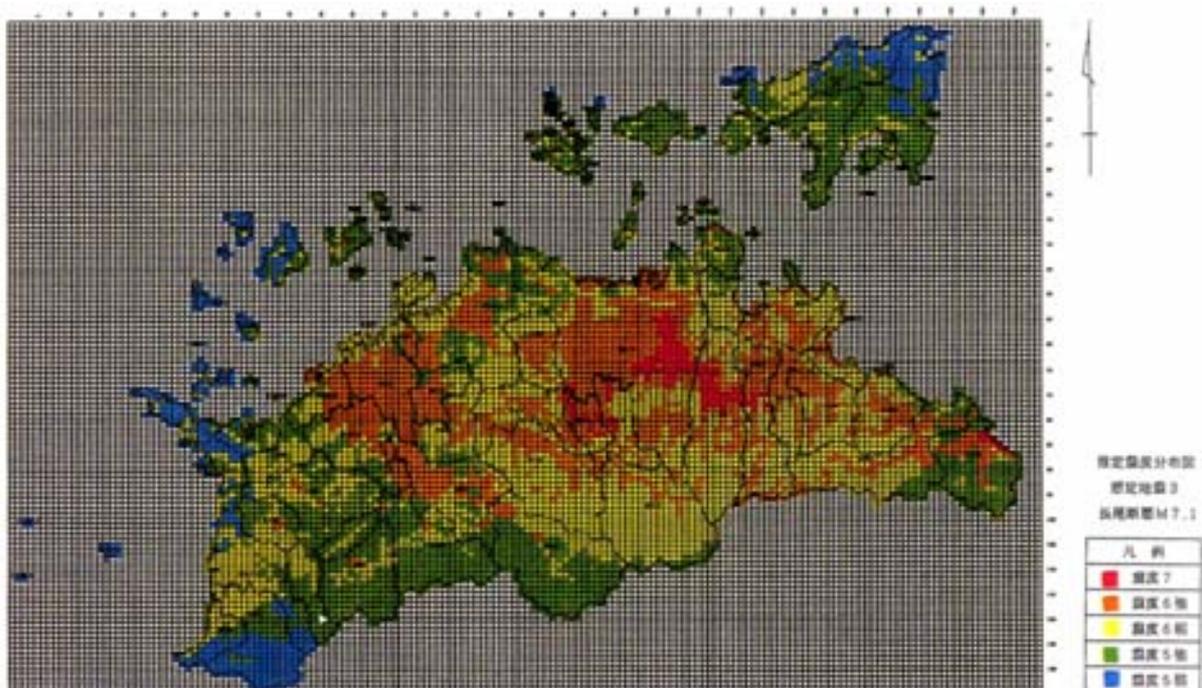
	想定地震 1	想定地震 2	想定地震 3
震源域	南海トラフ	中央構造線 (三野・池田断層)	長尾断層
マグニチュード	8.4	7.7	7.1
長さ(km)	52	52	23.5
幅(km)	26	26	15
断層上端の深さ(km)	1~10	5	5
走向(度)	20		170.5~201.8
傾斜(度)	10~20	80(北落ち)	80(南落ち)
備考	相田(1981)モデル		

○ 過去の地震および活断層分布を参考にして震源断層を設定

■ 想定結果

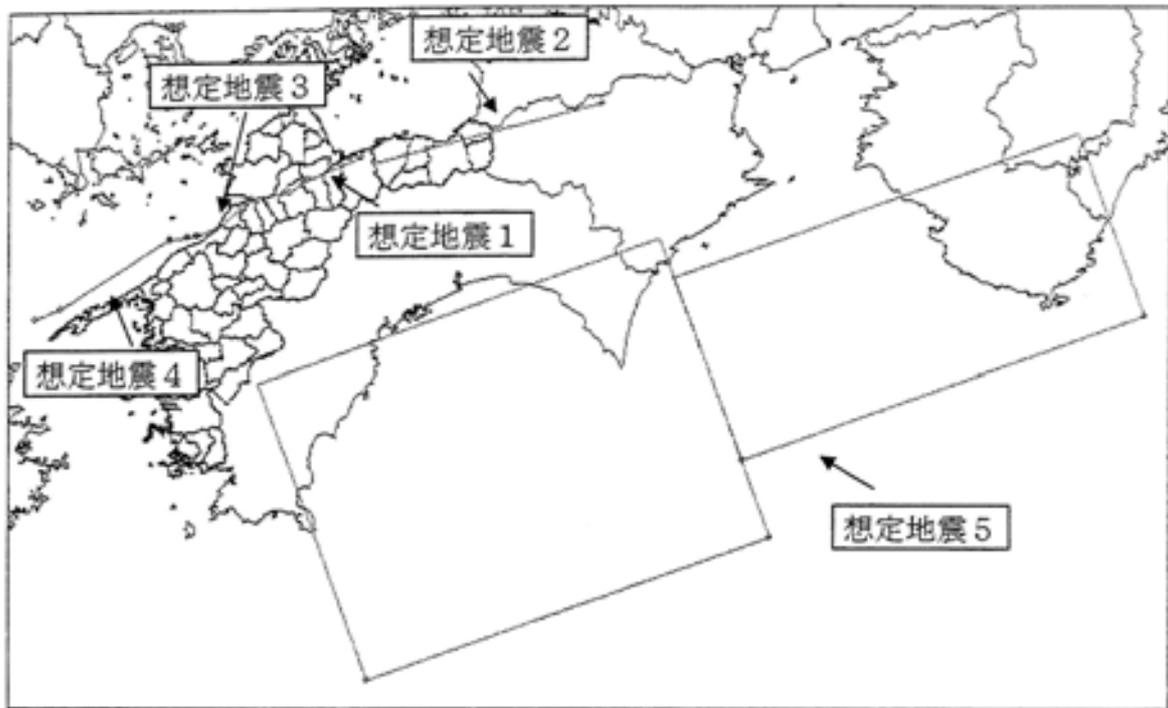
想定地震		南海トラフ	中央構造線 (三野・池田断層)	長尾断層
マグニチュード		8.4	7.7	7.1
被害予測	地震動	○	○	○
	津波			
地震動予測	震度	～6強	～7	～7
建物被害	建物全壊(大破)棟数	4,567棟	61,671棟	80,068棟
	炎上出火件数	47件	302件	340件
	焼失棟数	29棟	30,780棟	36,815棟
人的被害	死者数	188人	6,763人	6,692人
	負傷者数	3,324人	36,969人	36,168人
	避難者数	10,232人	117,017人	115,734人
ライフライン被害	電力(電柱被害)	367	1,113	956
	通信(電話柱被害)	224	604	548
	都市ガス(被害箇所数)	343	1,238	1,310
	上水道(被害箇所数)	839	7,539	6,753
	下水道(被害箇所数)	60	1,141	1,496
備考				

【震度分布：長尾断層】



愛媛県(2002)

■想定地震

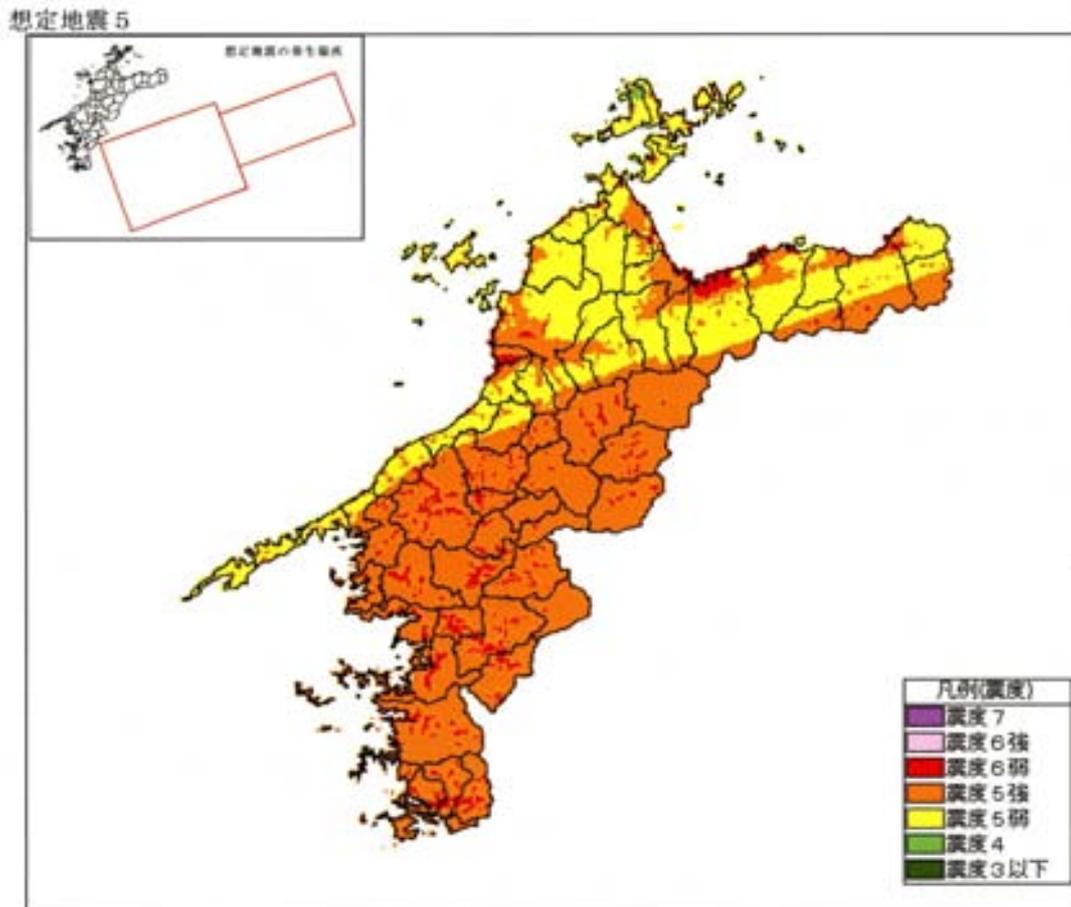


	内 容	マグニチュード
想定地震1	川上・小松断層セグメントが活動して発生する地震	7.6
想定地震2	石鎚-池田・三野断層セグメントが活動して発生する地震	8.0
想定地震3	伊予断層が活動して発生する地震	7.1
想定地震4	伊予灘沖海底活断層が活動して発生する地震	7.8
想定地震5	安政南海地震(1854)(相田,1981)	8.4

■ 想定結果

想定地震		川上・小松断層	石鎚-池田・三野断層	安政南海地震(1854)
マグニチュード		7.6	8.0	8.4
被害予測	地震動	○	○	○
	津波			○
地震動予測	震度	～6強	～6強	～6弱
建物被害	建物全壊(大破)棟数	60,715 棟	41,431 棟	76,493 棟
	炎上出火件数	104 件	65 件	98 件
	焼失棟数	11,362 棟	237 棟	98 棟
人的被害	死者数	2,453 人	1,477 人	2,556 人
	重傷者数	605 人	456 人	648 人
	避難者数	349,674 人	243,423 人	383,950 人
ライフライン被害	電力(停電)	94,544 戸	86,209 戸	59,378 戸
	通信			
	都市ガス(供給支障)	30,633 戸	159 戸	9,419 戸
	上水道(断水)	260,616 戸	173,355 戸	329,409 戸
	下水道(機能支障)	8,927 人	7,956 人	6,232 人
備考	安政南海地震では津波による被害は発生しないと予想している			

【震度分布：安政南海地震(1854)】



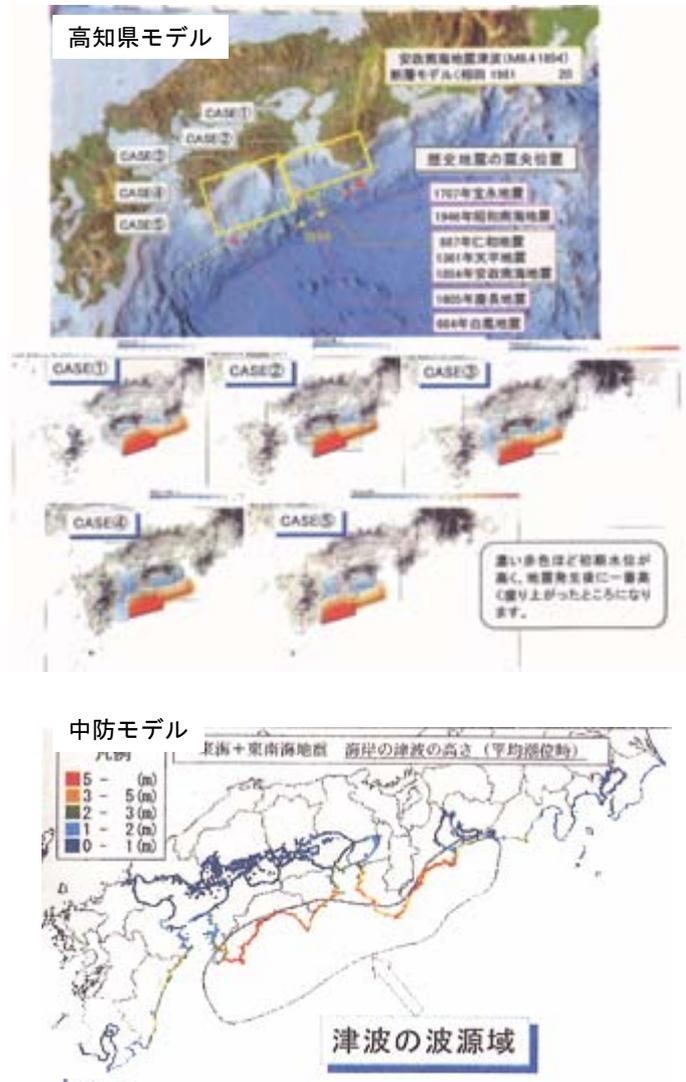
高知県(2004)

■想定地震

【地震動】



【津波】

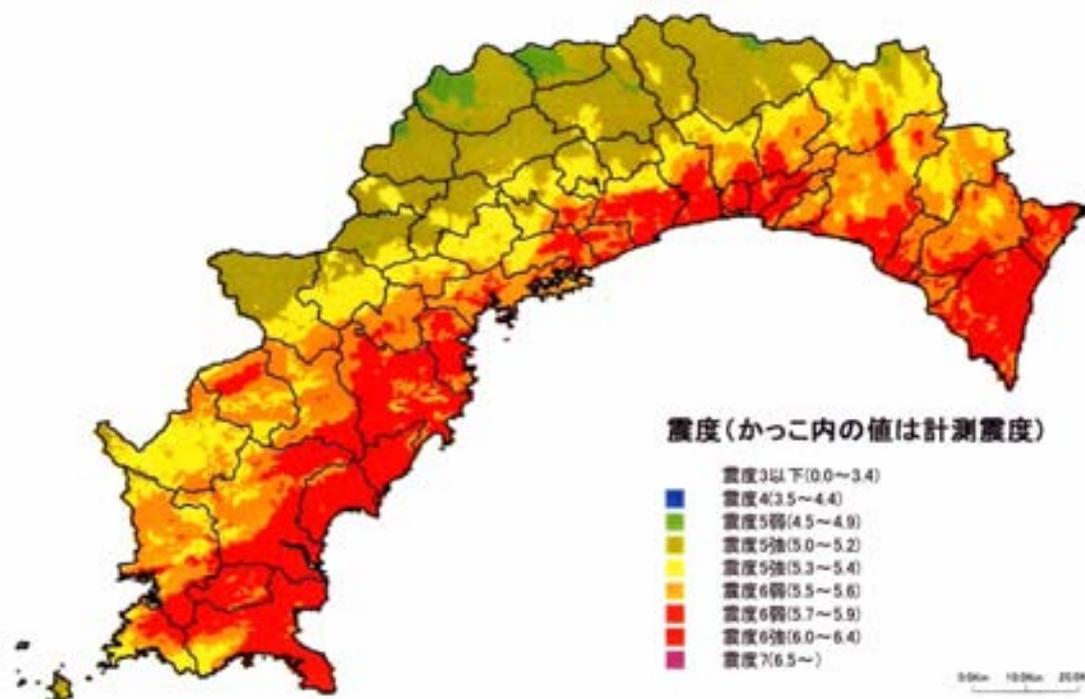


	想定地震	モデル	マグニチュード	備考
地震動	南海地震	高知県モデル アスペリティ I	8.4	地震調査研究推進本部に準拠
		高知県モデル アスペリティ II	8.4	中央防災会議に準拠
	東南海・南海地震同時発生	中防モデル	8.6	中央防災会議の採用モデル
津波	安政南海地震(1854)規模	高知県モデル CASE①	8.4	沿岸が東西に長いことを考慮し、波源位置を南海トラフに沿って移動させて各沿岸域で最も危険な波源位置を抽出
		高知県モデル CASE②安政南海地震	8.4	
		高知県モデル CASE③	8.4	
		高知県モデル CASE④	8.4	
		高知県モデル CASE⑤	8.4	
	東南海・南海地震同時発生	中防西2連発モデル	8.5	

■想定結果

想定地震		南海地震単独発生モデル (高知県モデル)
マグニチュード		8.4
被害予測	地震動	○
	津波	○
地震動予測	震度	～6強
建物被害	建物全壊(大破)棟数	79,000 棟
	炎上出火件数	218 件
	焼失棟数	14,042 棟
人的被害	死者数	10,250 人
	負傷者数	13,143 人
	避難者数	46,961 人
ライフライン被害	電力	5,264 箇所
	通信	
	都市ガス	
	上水道(被害箇所数)	
	下水道	
備考		負傷者数は津波による被害を 含まない 津波による死者数は避難意識 が低い場合

【震度分布：南海地震単独発生モデル(高知県モデル)】



福岡県(1997)

■想定地震



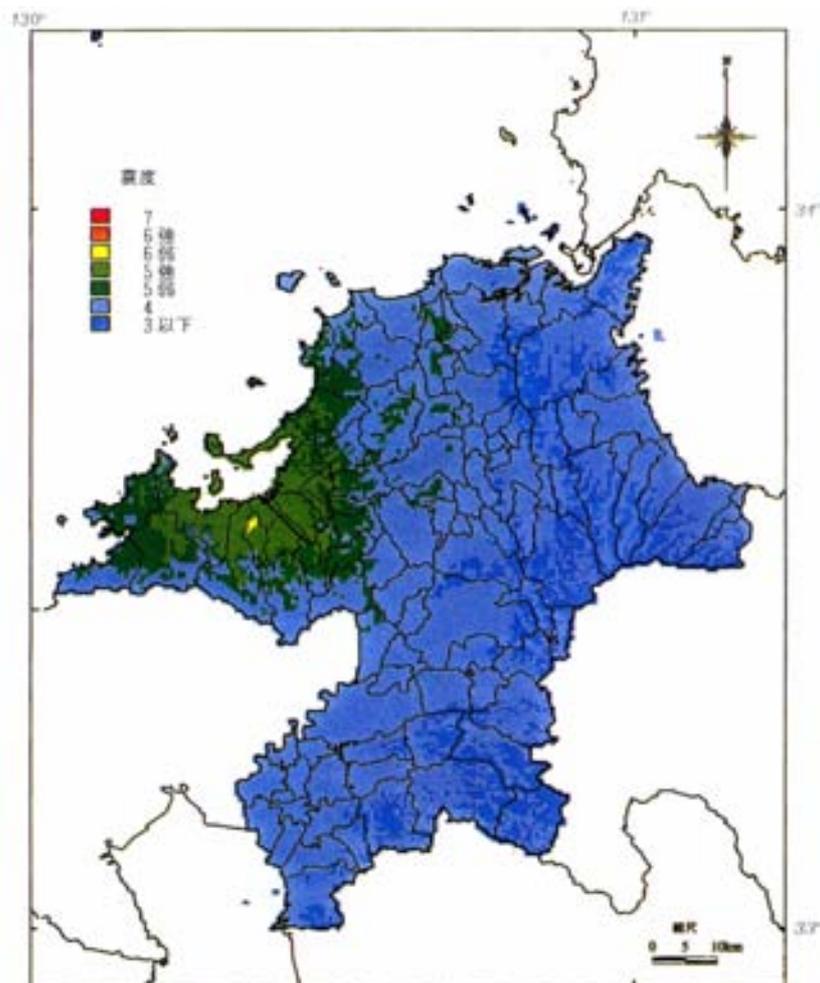
	①小倉東断層北東部	②福知山断層北西部	③西山断層南東部	④警固断層北西部	⑤水縄断層西部	⑥糸島半島の地震
マグニチュード ^a	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.0
モーメント マグニチュード ^b Mw	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	5.4
長さ(km)	10	10	10	10	10	5
幅(km)	5	5	5	5	5	2.5
深さ(km)	5	5	5	5	5	3
走向(度)	14	345	326	315	266	96
傾斜(度)	90	90	90	90	90	90
断層原点 北緯(度) 東経(度)	33.798 130.877	33.761 130.779	33.616 130.661	33.536 130.456	33.315 130.646	33.583 130.181
破壊開始点	断層南端 下部より	断層南端 下部より	断層南東端 下部より	断層南東端 下部より	断層中央 下部より	断層中央 下部より

- 地震①～⑤：活断層分布を参考にして震源断層を設定
- 地震⑥：1898年糸島地震時の震度分布を良く説明できるような震源断層を設定
- 地震②，⑥については，地震動予測のみ
- 全県下の基盤上に，一定の大きさの地震動(M6.5，深さ10km相当)を与えた場合の被害想定も実施

■ 想定結果

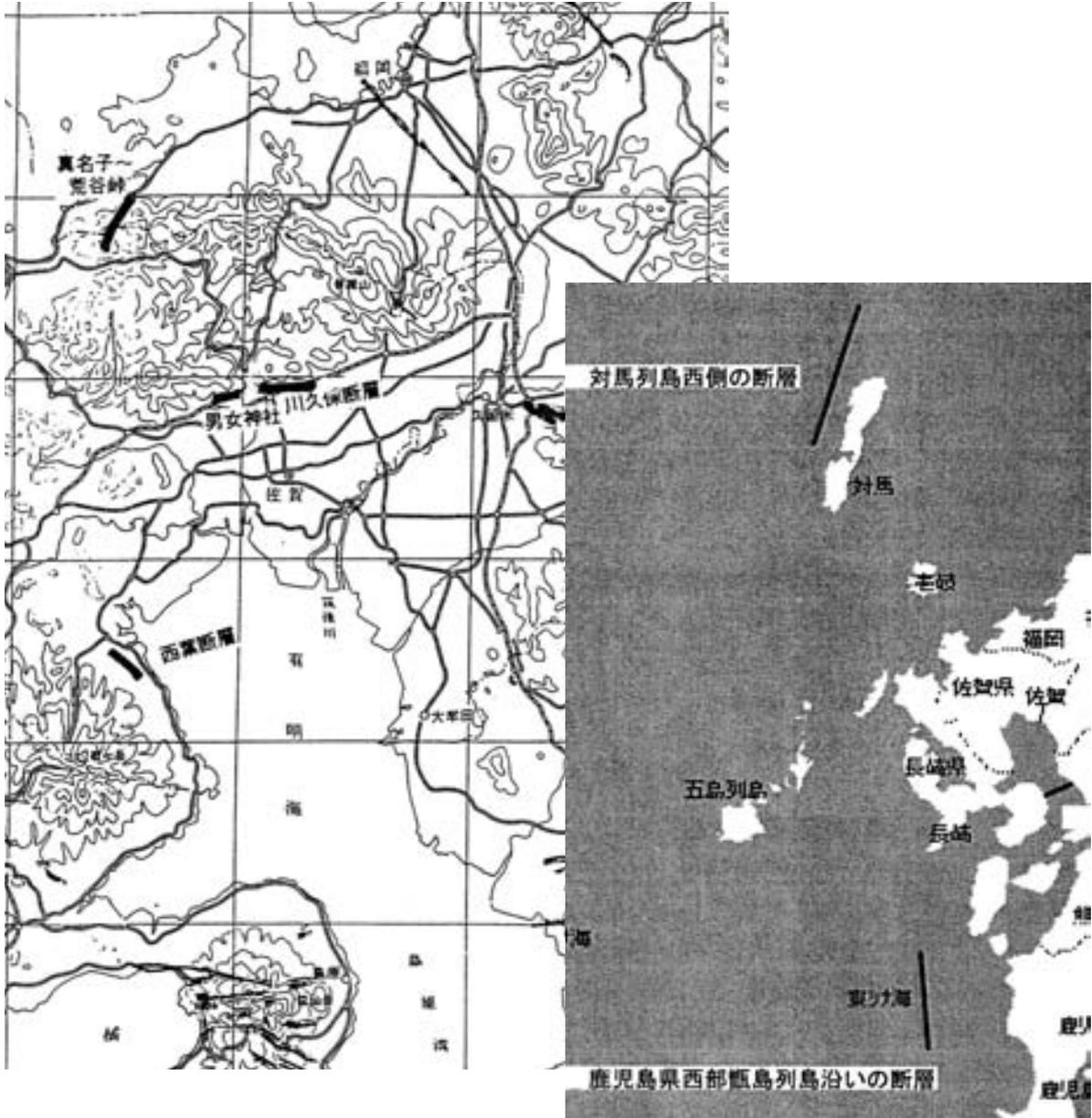
想定地震		小倉東断層北東部	西山断層南東部	警固断層北西部
マグニチュード		6.5	6.5	6.5
被害予測	地震動	○	○	○
	津波			
地震動予測	震度	～6弱	～6弱	～6弱
建物被害	建物全壊(大破)棟数	881棟	404棟	1,103棟
	炎上出火件数	7件	4件	11件
	焼失棟数	0棟	0棟	31棟
人的被害	死者数	54人	28人	80人
	負傷者数	1,890人	1,857人	3,063人
	避難者数	2,037人	1,046人	3,128人
ライフライン被害	電力(電柱被害)	1本	1本	1本
	通信(電話柱被害)	1本	5本	2本
	都市ガス(被害箇所数)	0箇所	0箇所	2箇所
	上水道(被害箇所数)	11箇所	47箇所	91箇所
	下水道(被害箇所数)	0箇所	0箇所	1箇所
備考				

【震度分布：警固断層北西部】



佐賀県(1997)

■想定地震



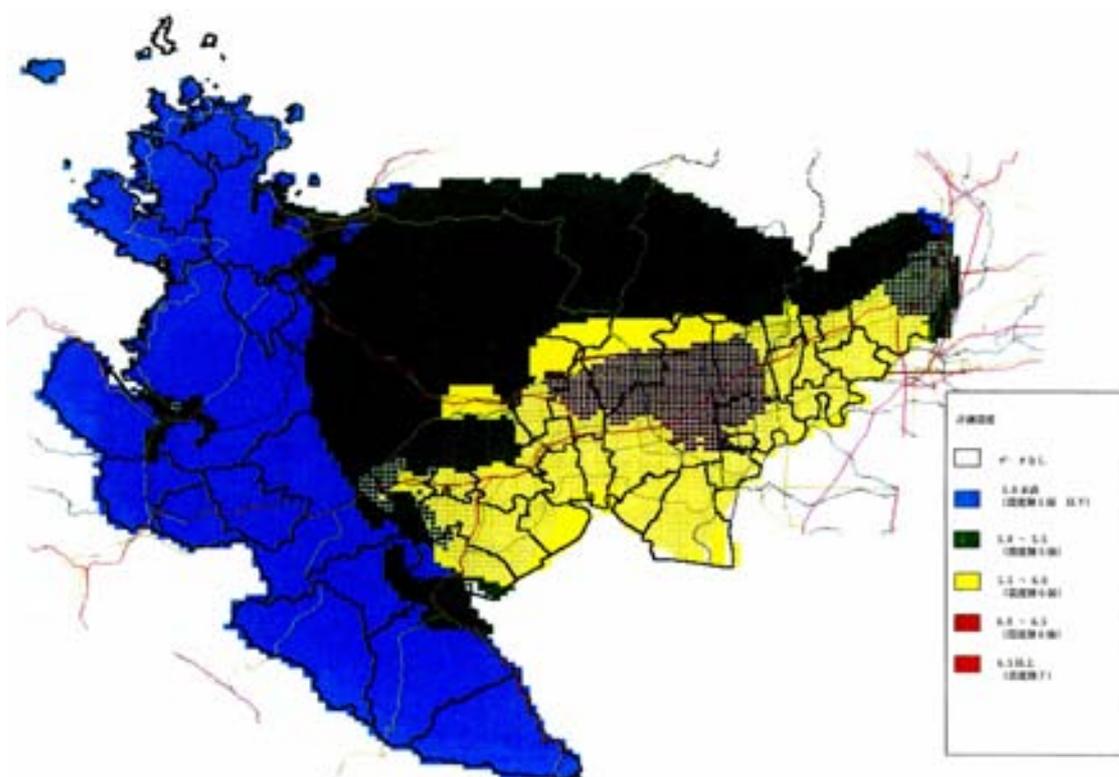
	想定地震	マグニチュード	備考
地震動	川久保断層系	6.7	
津波	甌島列島(鹿児島県西方沖)の断層を震源とする地震	7.9	有明海側
	対馬列島西の断層を震源とする地震	7.9	玄界灘側

○ 全県下で同一の地表面加速度(150gal, 250gal, 400gal)を仮定した場合の被害も想定している

■ 想定結果

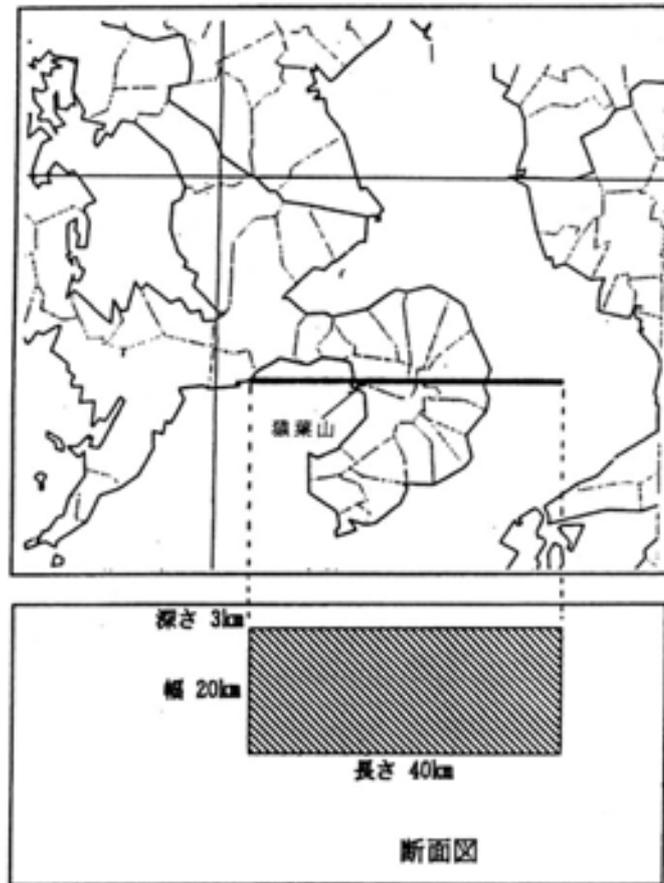
想定地震		川久保断層系	甌島列島の断層を震源とする地震	対馬列島西の断層を震源とする地震
マグニチュード		6.7		
被害予測	地震動 津波	○	○	○
地震動予測	震度	～6強		
建物被害	建物全壊(大破)棟数	13,590 件	3,860 戸	1,730 戸
	炎上出火件数	262 件		
	焼失棟数			
人的被害	死者数	560	490 人	210 人
	重傷者数	1,828		
	避難者数	約 70,000 人		
ライフライン被害	電力(停電)	148,357 戸		
	通信(電話不通)	119,707 戸		
	都市ガス(供給停止確率)	佐賀市 100%		
		鳥栖市 2%		
	上水道(断水)	82,419 戸		
下水道(機能支障)				
備考	死者数、重傷者数は建物倒壊による被害 津波は沿岸での高さを平均 4m としている			

【震度分布：川久保断層系】



長崎県(1998)

■想定地震



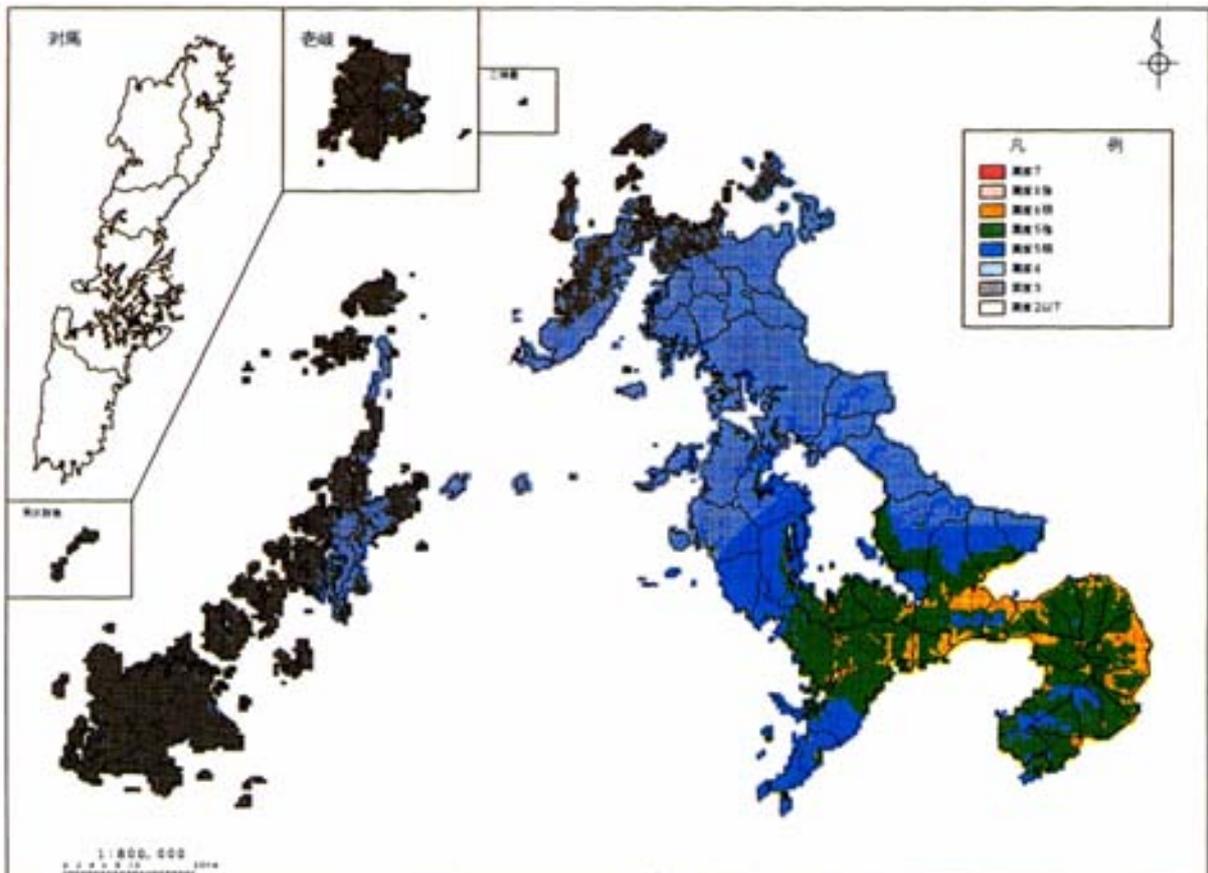
震源域	マグニチュード	長さ (km)	幅 (km)	上端深さ (km)	参考となる地震
橋湾-島原半島	7.0	40	20	3	1922年(M6.9)

- 近年の地震活動および活断層分布を参考にして震源断層を設定
- 全県下の基盤上に、一定の大きさの地震動を与えた場合の被害想定2ケースも実施 (① M6.5, 深さ 10 km相当 ② M7.0, 深さ 10 km相当)

■ 想定結果

想定地震		橘湾一島原半島を震源とする地震
マグニチュード		7.0
被害予測	地震動 津波	○
地震動予測	震度	～6弱
建物被害	建物全壊(大破)棟数	5,385棟
	炎上出火件数	93件
	焼失棟数	383棟
人的被害	死者数	510人
	負傷者数	4,061人
	避難者数	57,923人
ライフライン被害	電力(電柱被害)	27.3本
	通信(電話柱被害)	24.6本
	都市ガス(供給支障)	27,937世帯
	上水道(断水)	791,111人
	下水道(被害箇所数)	65.5箇所
備考		

【震度分布：橘湾一島原半島を震源とする地震】



宮崎県(1997)

■想定地震



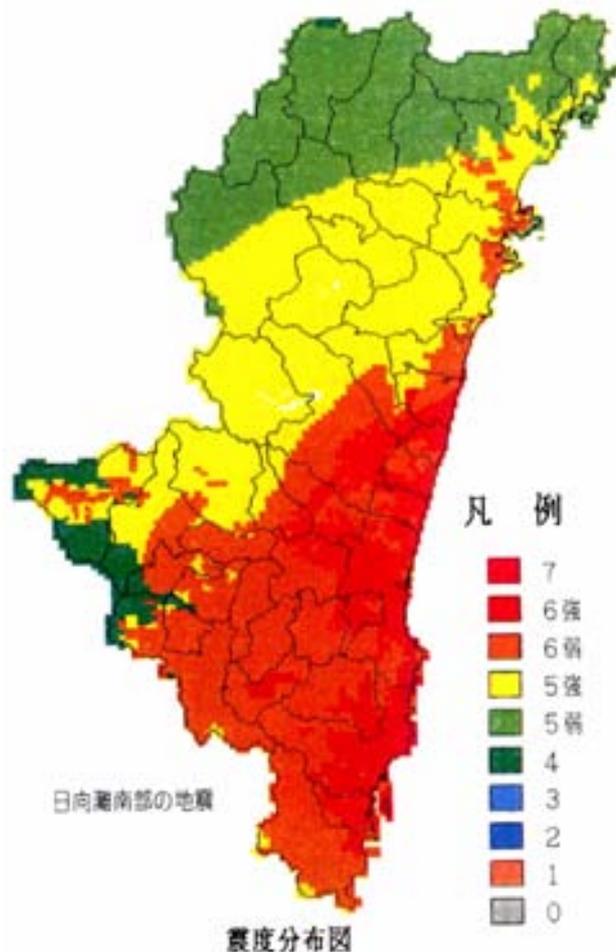
	日向灘南部の地震	日向灘北部の地震	えびのー小林地震
マグニチュード	7.5	7.5	6.5
長さ(km)	70	70	25
幅(km)	40	40	15
深さ(km)	3	3	3
走向(度)	N15E	N20E	N60W
傾斜(度)	20	20	90
断層位置	31° 28.0' N 131° 50.0' E	31° 58.0' N 131° 59.0' E	31° 55.0' N 131° 05.5' E
	32° 05.0' N 132° 01.5' E	32° 34.5' N 132° 14.0' E	32° 02.5' N 130° 51.5' E
破壊開始点	断層中央上端	断層中央上端	断層中央下端

○ 過去の被害地震を参考にして、宮崎県に大きな被害をもたらす可能性があり、かつ発生の可能性があると考えられる地震を想定

■ 想定結果

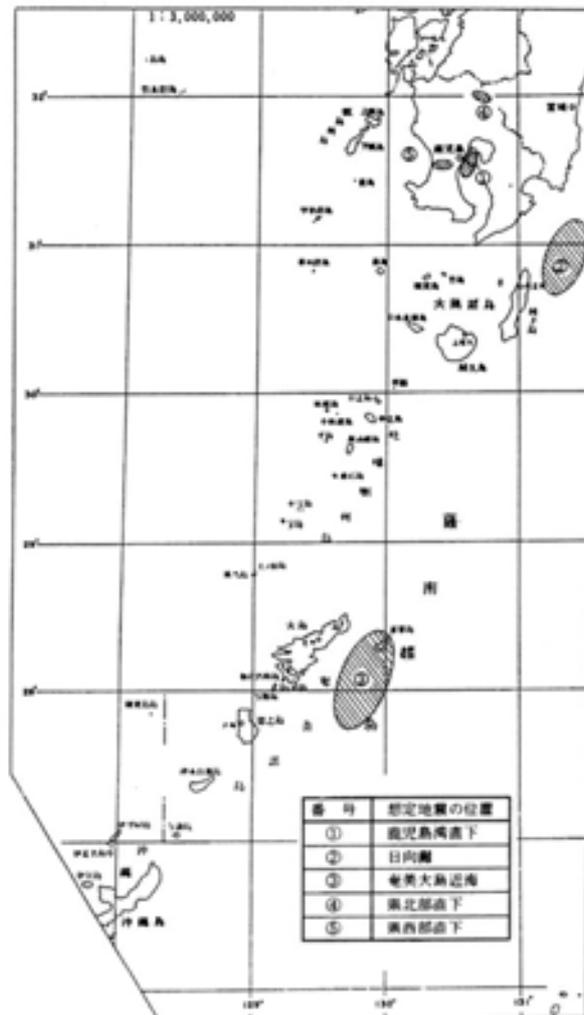
想定地震		日向灘南部の地震	日向灘北部の地震	えびのー小林地震
マグニチュード		7.5	7.5	6.5
被害予測	地震動	○	○	○
	津波	○	○	
地震動予測	震度	～7	～7	～6強
建物被害	建物全壊(大破)棟数	22,645 棟	12,661 棟	3,781 棟
	炎上出火件数	332 件	203 件	50 件
	焼失棟数	16,334 棟	7,516 棟	917 棟
人的被害	死者数	914 人	408 人	93 人
	重傷者数	1,779 人	1,191 人	290 人
	長期避難者数	157,134 人	88,108 人	17,241 人
ライフライン被害	電力(停電)	83,868 戸	70,116 戸	37,773 戸
	通信(電話不通)	183,302 回線	124,403 回線	26,306 回線
	都市ガス(供給支障)	17,279 件	274 件	0 件
	上水道(断水)	231,046 世帯	229,434 世帯	47,099 世帯
	下水道(機能支障)	15,423 世帯	11,527 世帯	2,448 世帯
備考				

【震度分布：日向灘南部の地震】



鹿児島県(1997)

■想定地震



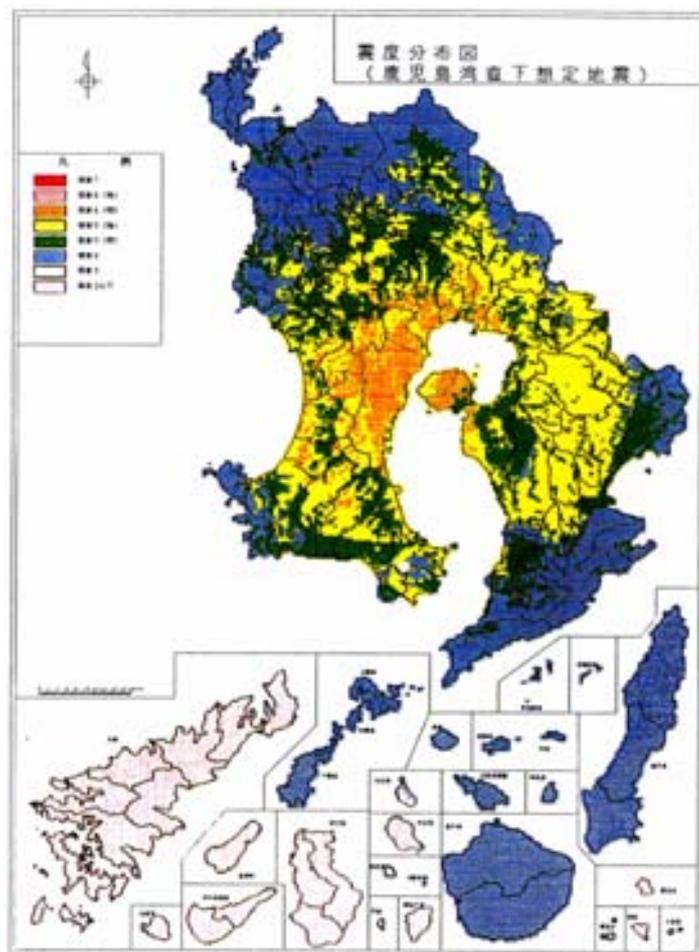
番号	想定地震	マグニチュード	長さ (km)	幅 (km)	断層上端の深さ (km)	すべり量 (cm)	備考
①	鹿児島湾直下	7.1	22.9	11.5	5.0	140	
②	日向灘(逆断層)	7.8	60.3	30.2	10.0	320	津波想定のみ
	〃 (正断層)	7.8	60.3	30.2	10.0	320	
③	奄美大島近海(逆断層)	8.0	79.4	39.7	10.0	400	津波想定のみ
	〃 (正断層)	8.0	79.4	39.7	10.0	400	
	〃 (逆断層)	7.5	39.8	19.9	10.0	225	
	〃 (正断層)	7.5	39.8	19.9	10.0	225	
	〃 (逆断層)	7.0	20.0	10.0	10.0	125	
	〃 (正断層)	7.0	20.0	10.0	10.0	125	
④	県北部直下	6.5	10.0	5.0	2.5	—	
⑤	県西部直下	6.5	10.0	5.0	2.5	—	

- 過去に死者が発生した被害地震と近年の地震活動をもとに震源断層①～⑤を設定
- 津波想定の際には、「日向灘の想定地震」,「奄美大島近海の想定地震」の高角正断層モデルとマグニチュードの異なるモデルも設定
- 全県下の基盤上に、一定の大きさの地震動 (M6.5, 深さ 10 km相当) を与えた場合の被害想定も実施

■ 想定結果

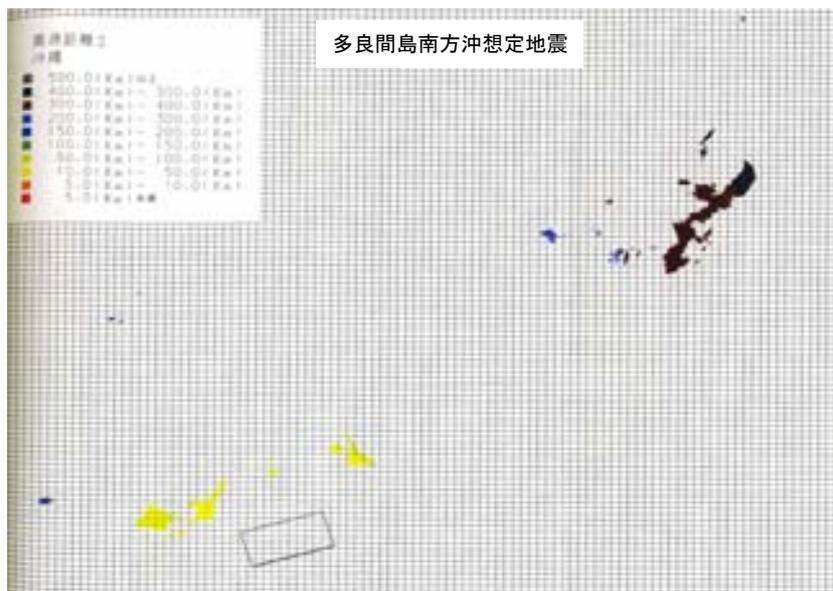
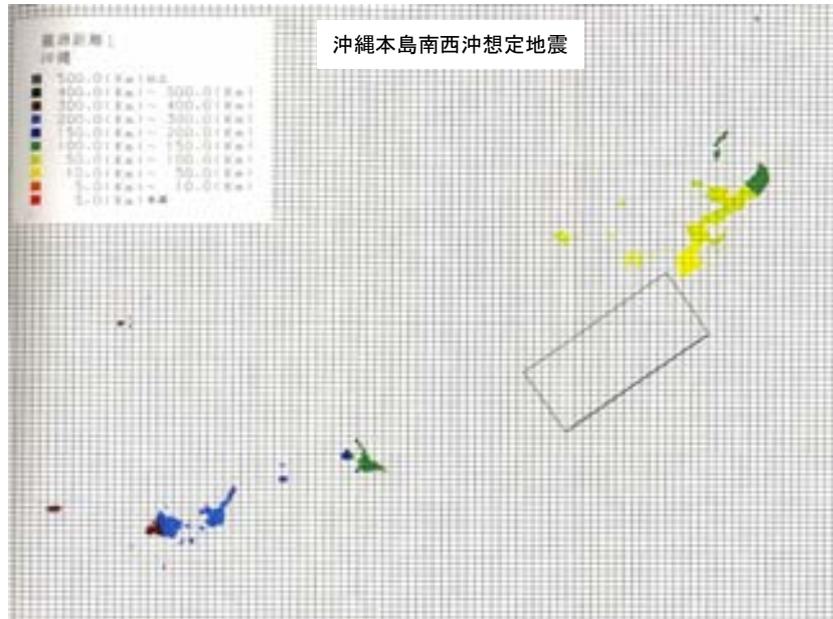
想定地震		鹿児島湾直下	日向灘	奄美大島近海
マグニチュード		7.1	7.8	8.0
被害予測	地震動	○	○	○
	津波	○	○	○
地震動予測	震度	～6弱	～6弱	～6強
建物被害	建物全壊(大破)棟数	17,542棟	3,452棟	4,146棟
	炎上出火件数	276件	84件	96件
	焼失棟数	1,242棟	3棟	41棟
人的被害	死者数	1,664人	257人	114人
	重傷者数	11,873人	2,841人	1,910人
	避難者数	43,182人	4,074人	9,781人
ライフライン被害	電力(電柱被害)	1,795本	80本	304本
	通信(電話柱被害)	2,050本	41本	153本
	都市ガス(被害箇所数)	8,656箇所	9箇所	302箇所
	上水道(断水)	374,342世帯	43,041世帯	36,310世帯
	下水道(被害箇所数)	403箇所	6箇所	147箇所
備考				

【震度分布：鹿児島湾直下】



沖縄県(1997)

■想定地震

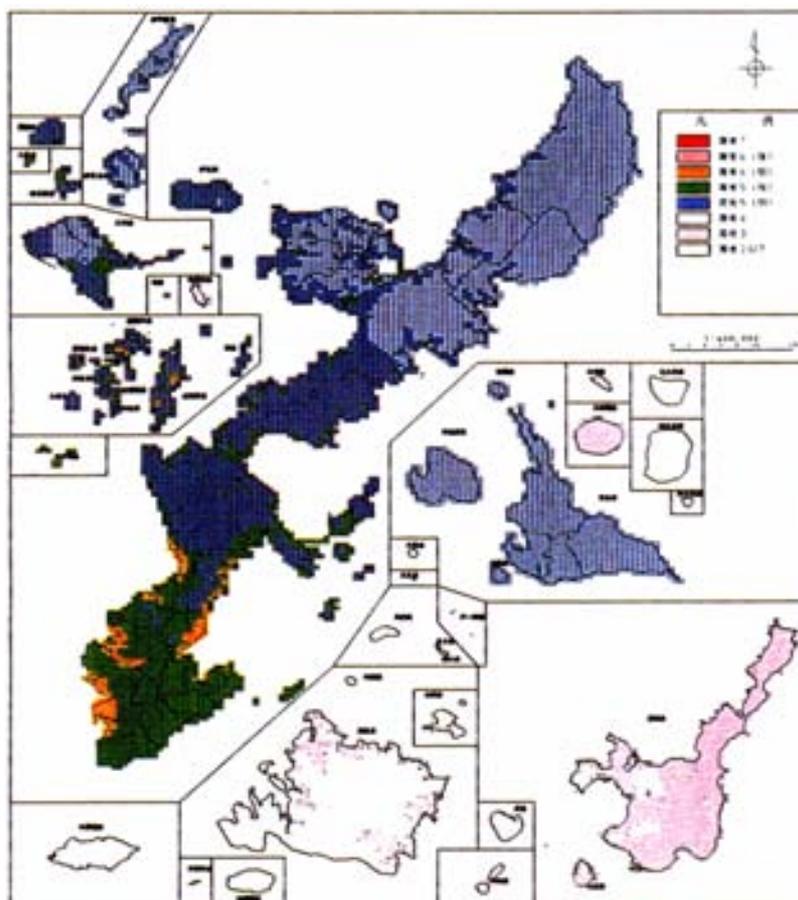


想定地震	マグニチュード	長さ (km)	幅 (km)	断層上端の深さ (km)	過去の地震
沖縄本島南西沖想定地震	8.0	132	65	7.5	1911年(M8.0)
多良間島南方沖想定地震	7.4	66	32	5	1771年(M7.4)

■想定結果

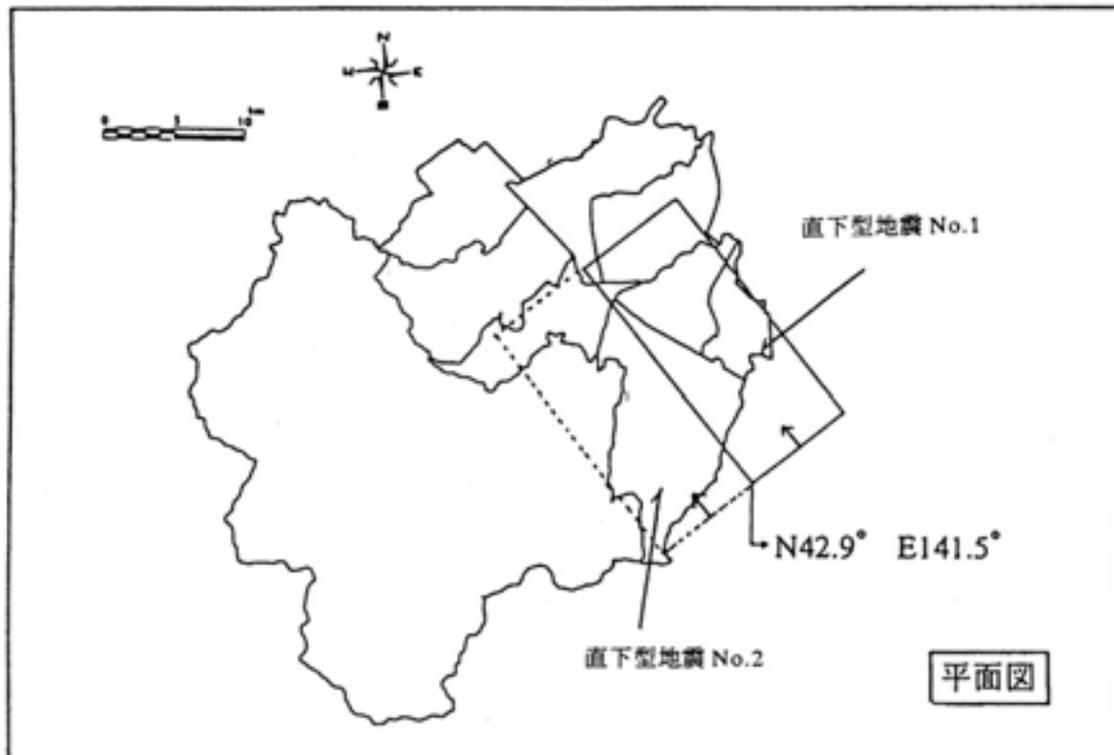
想定地震		沖縄本島南西沖	多良間島南方沖
マグニチュード		8.0	7.4
被害予測	地震動	○	○
	津波	○	○
地震動予測	震度	～6弱	～5強
建物被害	建物全壊(大破)棟数	16,425 棟	330 棟
	炎上出火件数	144 件	3 件
	焼失棟数	215 棟	1 棟
人的被害	死者数	1,326 人	50 人
	負傷者数	3,689 人	162 人
	避難者数	59,893 人	1,094 人
ライフライン被害	電力(電柱被害)	298 本	14 本
	通信(電話柱被害)	165 本	5 本
	都市ガス(被害箇所数)	213 箇所	0 箇所
	上水道(被害箇所数)	2,236 箇所	15 箇所
	下水道(被害箇所数)	862 箇所	2 箇所
備考			

【震度分布：沖縄本島南西沖想定地震】



札幌市(1997)

■想定地震



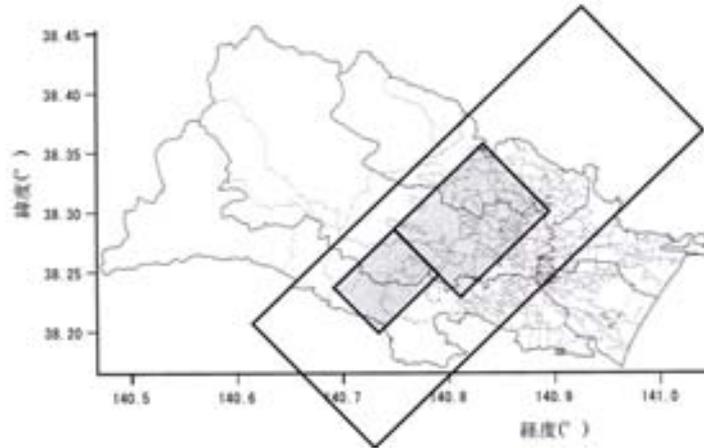
想定地震	マグニチュード	長さ (km)	幅 (km)	断層上端の深さ (km)
プレート型地震	7.5	胆振西部のやや深発プレート内地震		
直下型地震 No.1	6.5	20	10	1
直下型地震 No.2	6.5	20	10	1

- プレート型：過去の地震と最近の地震学的知見をもとにして設定した、北海道周辺の複数の震源断層のうち、札幌の最大加速度が一番大きくなるものを選定（想定震源断層の詳細な位置と諸元は情報なし）
- 内陸型：1834年石狩地震を念頭に置いて札幌市直下に設定した36通りの震源断層のうち、全市の被害が最大になるもの(No.1)と札幌市中心部の被害が最大になるもの(No.2)を選定

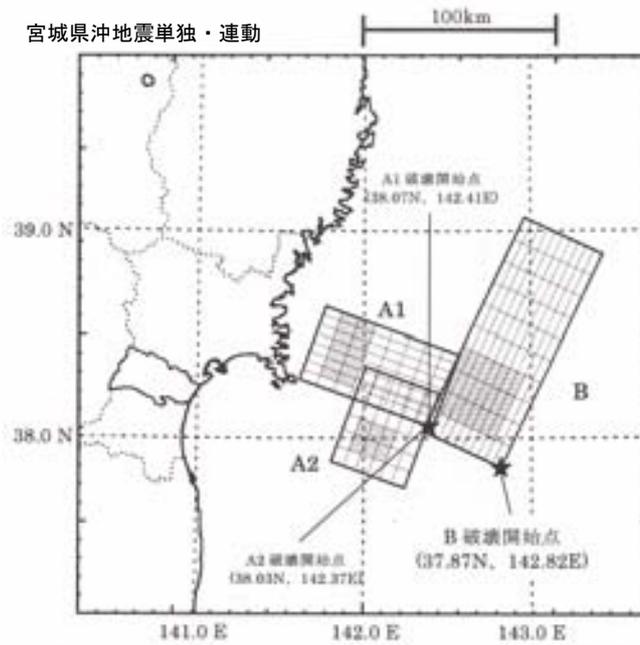
仙台市(2002)

■想定地震

長町 - 利府断層



宮城県沖地震単独・連動

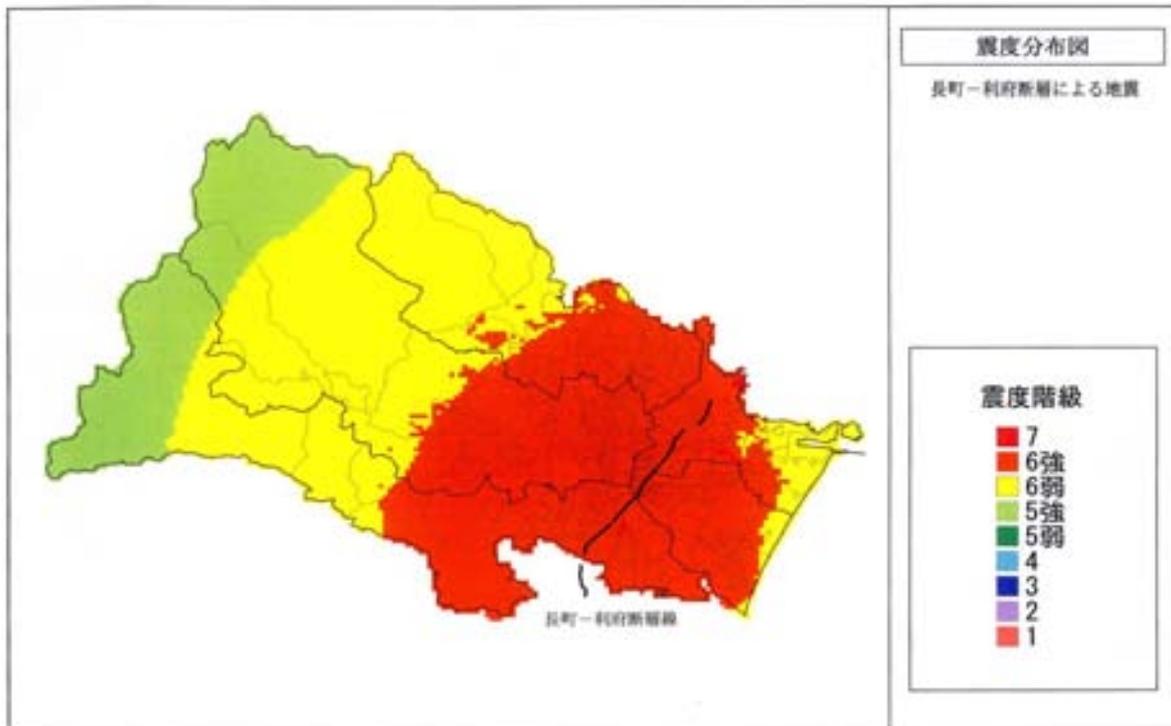


想定地震		長町 - 利府断層	宮城県沖地震単独	宮城県沖地震連動		
				A1	A2	B
マグニチュード		7.5	7.5	7.9		
				7.5	7.4	7.8
断層原点	緯度(°)	38.366	38.41	38.41	38.24	38.9
	経度(°)	141.042	142.55	142.55	142.45	143.42
	深さ(km)	1	20	20	20	10
断層長さ(km)		40	40	40	55	130
断層幅(km)		20	80	80	45	50
走向(°)		223	200	200	200	205
傾斜(°)		40	20	20	20	6.5

■ 想定結果

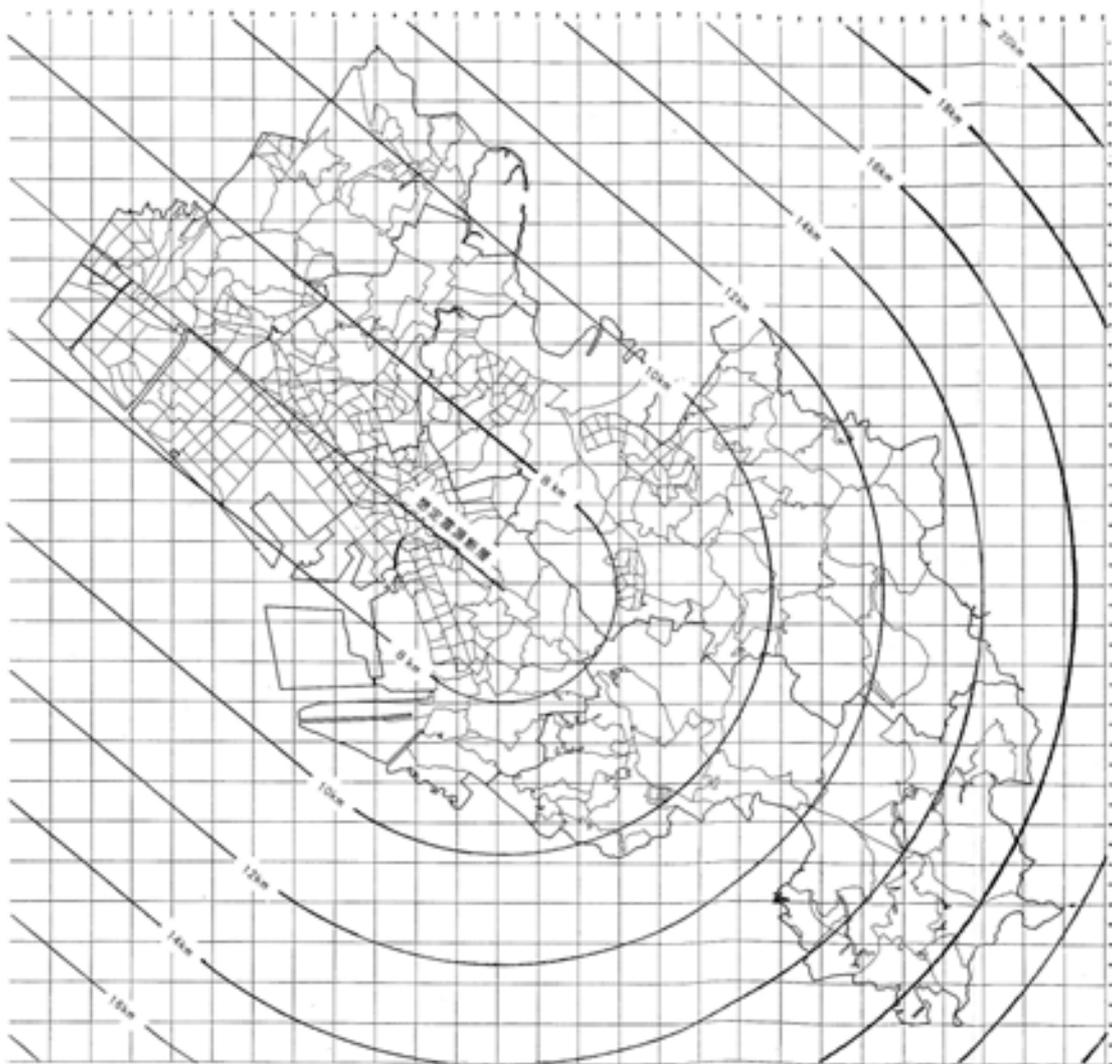
想定地震		長町-利府断層	宮城県沖地震(単独)	宮城県沖地震(連動)
マグニチュード		7.5	7.5	8.0
被害予測	地震動	○	○	○
	津波		○	○
地震動予測	震度	～7	～6強	～6強
建物被害	建物全壊(大破)棟数	18,068 棟	3,740 棟	6,191 棟
	炎上出火件数	194 件	107 件	123 件
	焼失棟数	10,102 棟	4,686 棟	5,785 棟
人的被害	死者数	1,032 人	27 人	87 人
	重傷者数	1,290 人	253 人	552 人
	長期避難者数	179,319 人	54,931 人	94,516 人
ライフライン被害	電力(停電)	71,508 戸	40,378 戸	44,527 戸
	通信(電話不通)	165,584 回線	49,451 回線	33,657 回線
	都市ガス(供給支障)	291,522 件	163,405 件	291,522 件
	上水道(断水)	175,000 人	56,000 人	78,000 人
	下水道(被害箇所数)	10,310 箇所	4,531 箇所	6,764 箇所
備考				

【震度分布：長町 - 利府断層】



千葉市(1996)

■想定地震



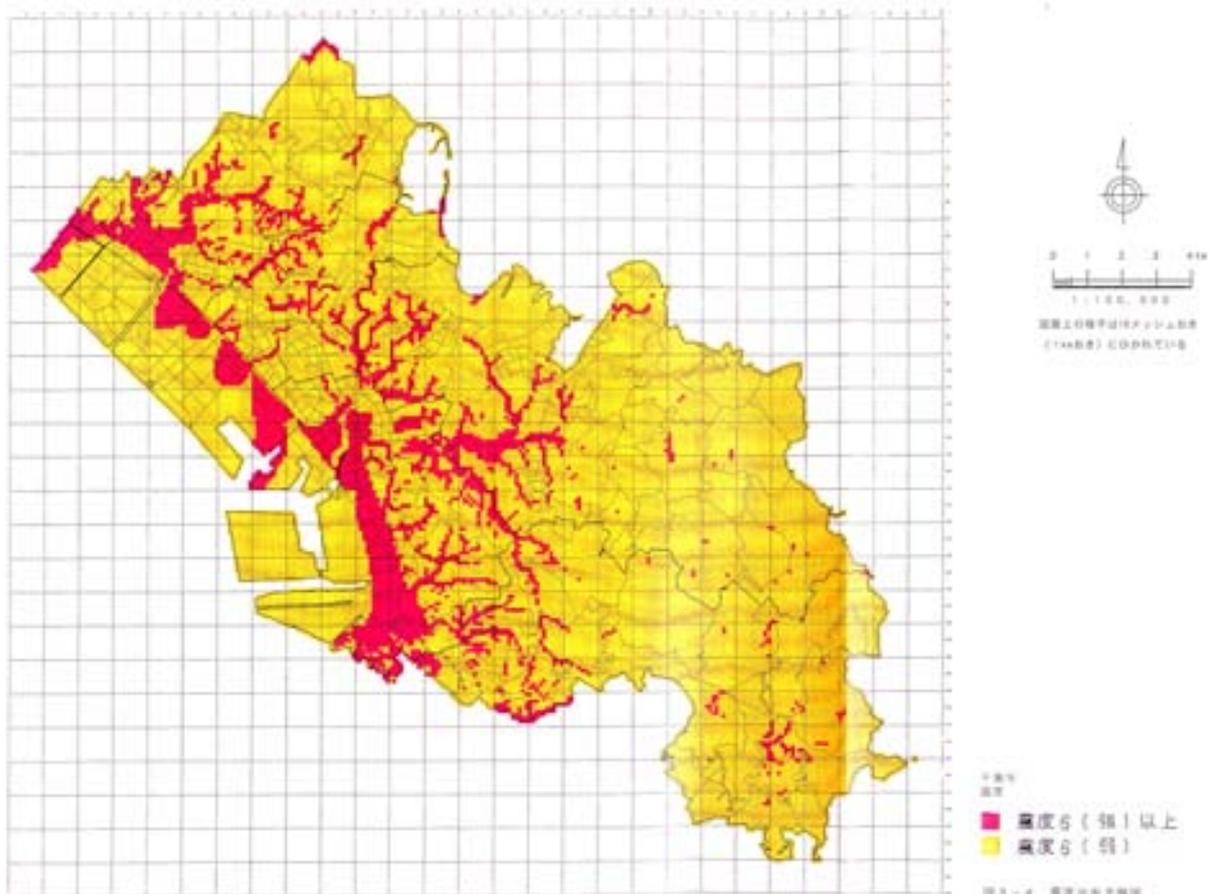
想定地震	千葉市直下
マグニチュード	7.2
断層面の傾斜角	ほぼ垂直
断層面の走向	N50° W
断層面上端の深さ	7.5km

○ 東京湾北縁断層を想定している.

■ 想定結果

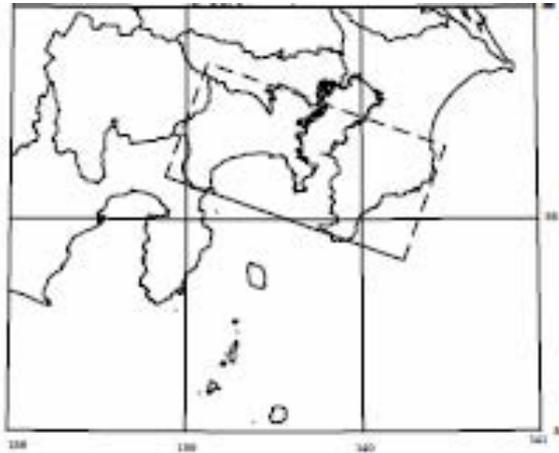
想定地震		千葉市直下
マグニチュード		7.2
被害予測	地震動 津波	○
地震動予測	震度	～7
建物被害	建物全壊(大破)棟数	7,178 棟
	炎上出火件数	97.7 件
	焼失棟数	26,492 棟
人的被害	死者数	2,680 人
	重傷者数	1,566 人
	罹災者数	217,434 人
ライフライン被害	電力(電柱被害)	1,380 本
	通信(電話柱被害)	372 本
	都市ガス(被害箇所数)	3,174 箇所
	上水道(被害箇所数)	6,377 箇所
	下水道(被害箇所数)	2,556 箇所
備考		

【震度分布：千葉市直下の地震】



横浜市(2005)

■想定地震



南関東地震



東海地震



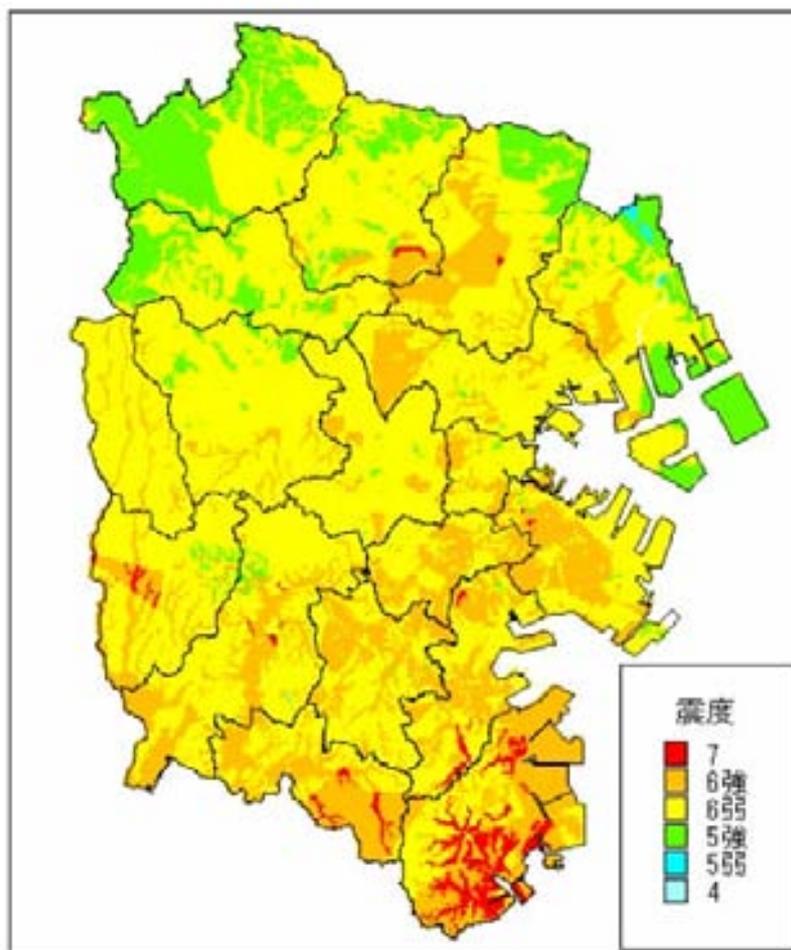
横浜市直下型地震

想定地震		南関東地震	東海地震	横浜市直下型地震
マグニチュード		7.9	8.0	7.0
断層長さ(km)		130	—	20
断層幅(km)		70	—	10
上端深さ(km)		2	—	20
走向(°)		N290E	—	E25S
傾斜(°)		25	—	25
断層基準点	緯度(°)	34.8075	—	35.5
	経度(°)	140.235	—	139.5
備考		1923年関東地震の再来。相模トラフを震源とするマグニチュード7.9の地震	駿河トラフを震源とするマグニチュード8クラスの地震。2001年に中央防災会議が地震防災対策強化地域の設定で用いた地震	神奈川県庁直下のフィリピン海プレート境界面を震源とするマグニチュード7クラスの地震

■ 想定結果

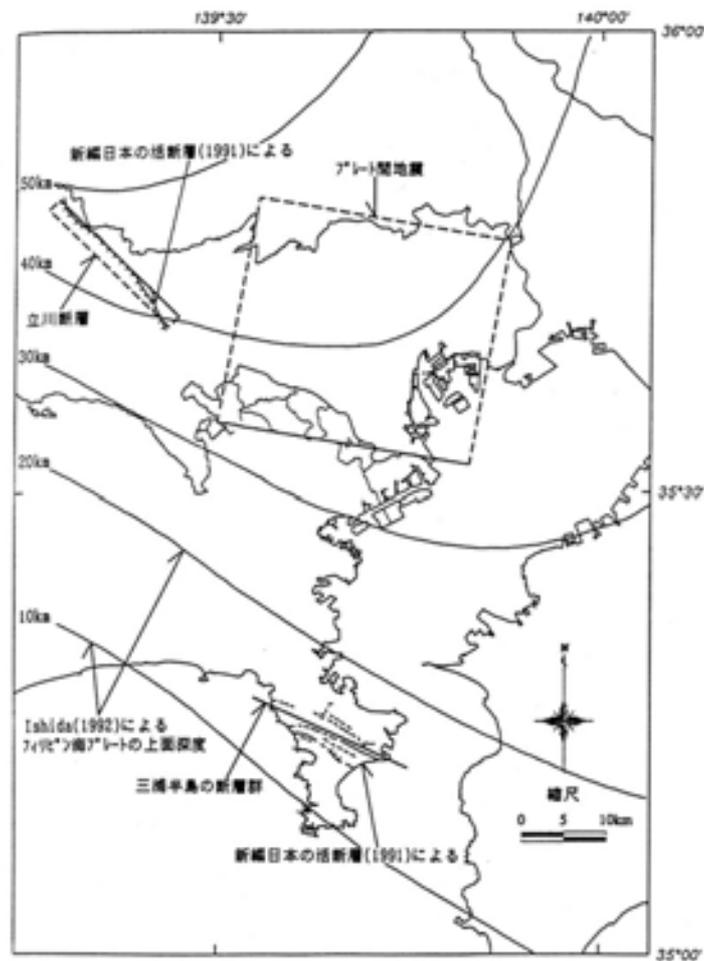
想定地震		南関東地震	東海地震	横浜市直下型地震
マグニチュード		7.9	8.0	7.0
被害予測	地震動	○	○	○
	津波			
地震動予測	震度	～7	～6弱	～6強
建物被害	建物被害棟数	119,574 棟	1,900 棟	82,401 棟
	炎上出火件数			
	焼失棟数	6,903 棟	0 棟	2,685 棟
人的被害	死者数	3,653 人	19 人	2,066 人
	重傷者数	1,837 人	28 人	1,819 人
	避難者数	503,034 人	5,360 人	338,411 人
ライフライン被害	電力(停電)	164,740 世帯	1,604 世帯	116,321 世帯
	通信(電話不通)	30,628 世帯	203 世帯	19,454 世帯
	都市ガス(供給支障)	879,892 件	0 件	747,330 件
	上水道(断水)	774,343 世帯	44,072 世帯	733,946 世帯
	下水道(機能支障)	47,189 人	28,503 人	52,256 人
備考				

【震度分布：南関東地震】



川崎市(1997)

■想定地震



想定地震		三浦半島の断層群	プレート間地震	立川断層による地震
マグニチュード		6.6	7.0	6.6
断層長さ (km)		20	30	20
断層幅 (km)		10	30	10
上端深さ (km)	地表から	4	30	1
	基盤から	0	27.5	0
走向(°)		295	280	135
傾斜(°)		90	23	80
断層原点	緯度(°)	35.20	35.53	35.82
	経度(°)	139.75	139.83	139.29
破壊開始点		断層南東端下部より	断層下端中央	断層北西端下部より

- 「三浦半島の断層群」「立川断層による地震」は既知の活断層を参考にして震源断層を設定
- 「プレート間地震」はフィリピン海プレート上面に設けた複数の震源断層の中で、川崎市に最も大きな影響を及ぼす断層を選定
- 「三浦半島の断層群」に対する予測計測震度が川崎市で4～5弱程度と小さかったため、被害想定は「プレート間地震」と「立川断層による地震」についてのみ行われている

■想定結果

想定地震		プレート間地震	立川断層
マグニチュード		7.0	6.6
被害予測	地震動	○	○
	津波		
地震動予測	震度	5強～	4～6弱
建物被害	建物全壊(大破)棟数	10,410 棟	1,392 棟
	炎上出火件数	21 件	12 件
	焼失棟数	57,277 棟	25,573 棟
人的被害	死者数	3,240 人	170 人
	重傷者数	3,760 人	400 人
	避難者数	211,990 人	100,040 人
ライフライン被害	電力(電柱被害)	199 本	5 本
	通信(電話柱被害)	75 本	3 本
	都市ガス(被害箇所数)	182.20 箇所	10.10 箇所
	上水道(被害箇所数)	318.65 箇所	20.12 箇所
	下水道(被害率)	0.56%	0.04%
備考			

【震度分布：プレート間地震】



名古屋市(1999)

■想定地震

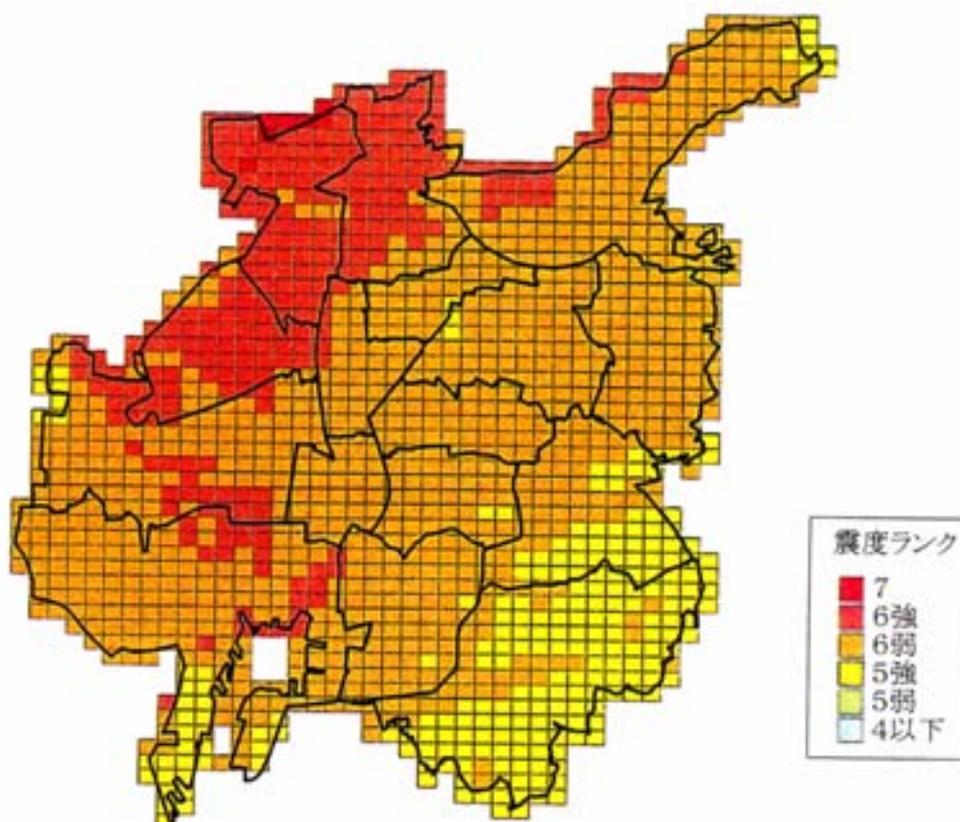


想定地震	断層番号	マグニチュード	長さ (km)	幅 (km)	上端深さ (km)	走向 (度)	傾斜 (度)	原点位置	備考
I 想定東海地震	—	8.0	120	50	5	193	20	35.15 138.70	中央防災会議 (1979)
II 東南海地震	①	7.9	110	70	3	245	24	33.53 137.26	Ishibashi (1981)
	②		80	80	20	245	24	34.14 137.87	
III 濃尾地震	①	7.9	20	15	0	140	90	35.95 136.33	Mikumo・Ando (1976)
	②		17.5	15	0	140	90	35.80 136.46	
	③		17.5	15	0	140	90	35.67 136.57	
	④		25	15	0	120	90	35.54 136.68	
	⑤		24	13	2	150	90	35.54 136.68	

■ 想定結果

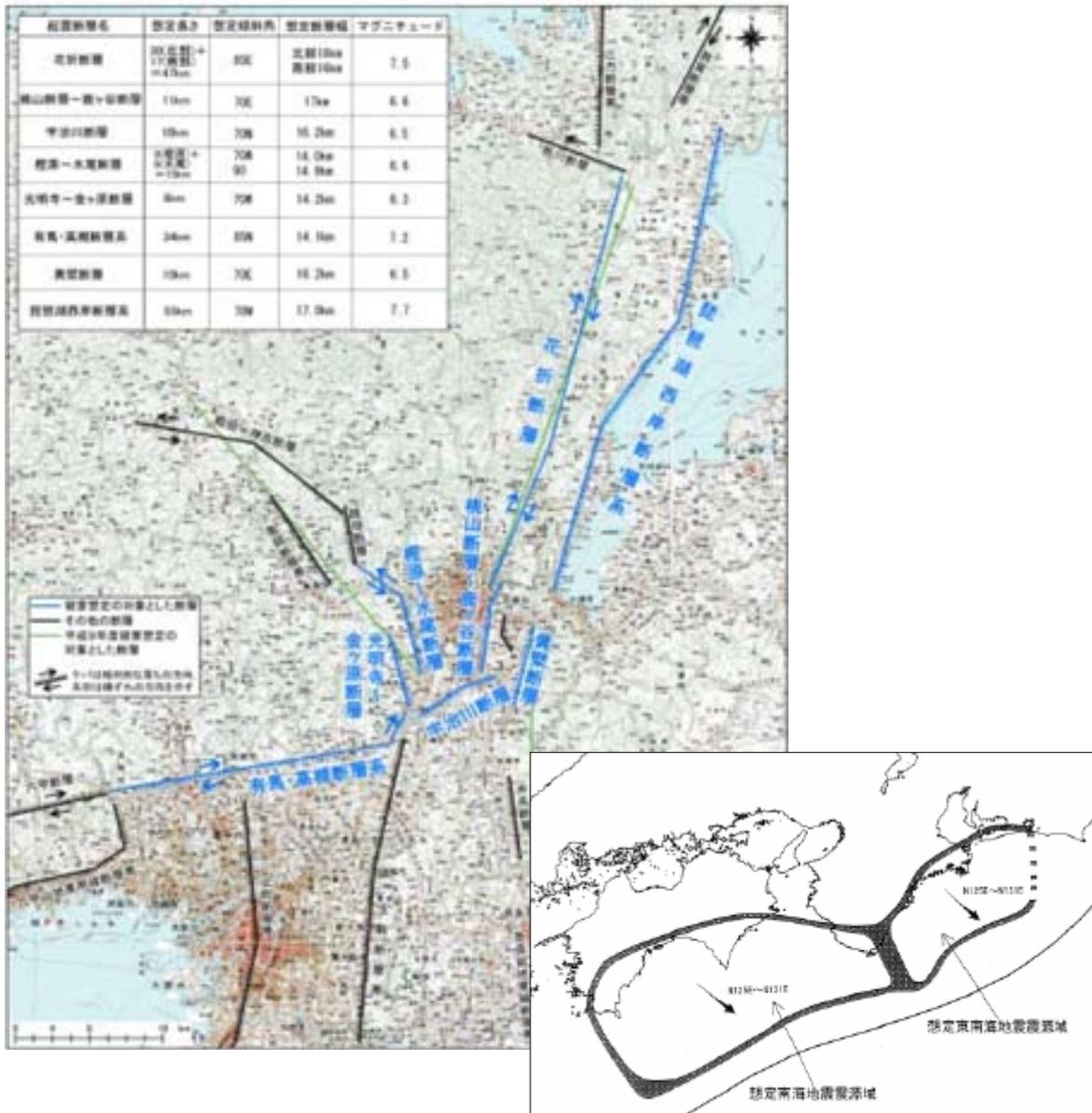
想定地震		想定東海地震	東南海地震	濃尾地震
マグニチュード		8.0	7.9	7.9
被害予測	地震動	○	○	○
	津波	○	○	
地震動予測	震度	～5強	～6弱	～7
建物被害	建物全壊(大破)棟数	1,960棟	4,032棟	23,818棟
	炎上出火件数	0件	11件	184件
	焼失棟数	0棟	657棟	10,577棟
人的被害	死者数	0人	42人	2,169人
	負傷者数	6,119人	18,264人	55,680人
	被災者数	29,395人	99,772人	394,843人
ライフライン被害	電力			
	通信			
	都市ガス(供給支障)	6,400戸	82,600戸	426,000戸
	上水道(断水)	16,874戸	45,935戸	189,051戸
	下水道(本管被害率)	0.56%	1.10%	1.49%
備考		濃尾地震の建物全壊(大破)棟数は地震動によるもの(液状化による被害は地震動による被害に包含されとしている) 焼失棟数は消防運用がない場合		

【震度分布：濃尾地震】



京都市(2003)

■想定地震



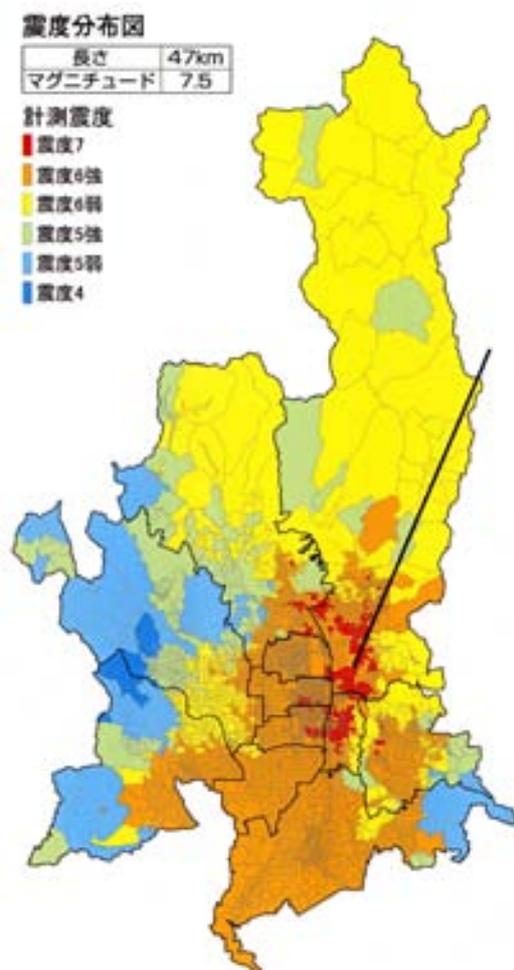
想定地震	花折断層	桃山断層 ～鹿ヶ谷断層	宇治川断層	榎原 ～水尾断層	光明寺 ～金ヶ原断層
長さ	47 km	11 km	10 km	15 km	8 km
マグニチュード	7.5	6.6	6.5	6.6	6.3
想定地震	有馬・高槻 断層系	黄檗断層	琵琶湖 西岸断層系	東南海・南海	
長さ	34 km	10 km	55 km	中央防災会議(※)	
マグニチュード	7.2	6.5	7.7	8.6	

※ 中央防災会議「東南海、南海地震に関する専門調査会」(2001～)のモデルを採用

■ 想定結果

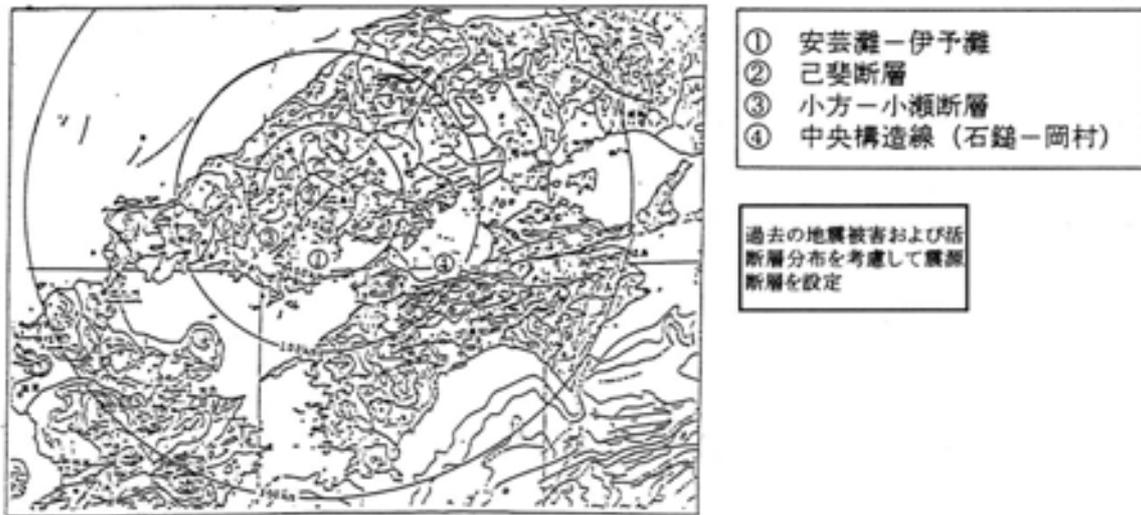
想定地震		花折断層	桃山断層 ～鹿ヶ谷断層	琵琶湖西岸断層系
マグニチュード		7.5	6.6	7.7
被害予測	地震動 津波	○	○	○
地震動予測	震度	～7	～7	～6強
建物被害	建物全壊(大破)棟数	117,800 棟	49,100 棟	28,700 棟
	炎上出火件数	96 件	59 件	51 件
	焼失棟数	7,650 棟	4,780 棟	3,350 棟
人的被害	死者数	5,400 人	2,200 人	800 人
	重傷者数	40,900 人	16,500 人	11,800 人
	避難者数	293,600 人	156,000 人	140,700 人
ライフライン被害	電力(停電)	147,000 戸	21,000 戸	21,700 戸
	通信(被災加入数)	76,000	16,100	14,100
	都市ガス(供給支障)	687,500 件	199,100 件	189,800 件
	上水道(断水)	520,000 戸	360,000 戸	330,000 戸
	下水道(支線被害)	5,911 件	2,354 件	2,069 件
備考		建物全壊(大破)棟数は家屋の被害		

【震度分布：花折断層】



広島市(1997)

■想定地震



想定地震	震源タイプ	確実度	活動度	断層の長さ (km)	地震規模 (M)
①安芸灘－伊予灘 (芸予地震)	プレート境界 やや深い	1649 (M7.1), 1686 (M7.0) 1857 (M6.4), 1905 (M7.1/4)		—	7 1/4
②己斐断層	活断層	I	C	9	6.5
③小方－小瀬断層	活断層	I	Aに近いB	26	7.2
④石鎚－岡村断層 (中央構造線)	活断層	I	A	50	7.7

* 「確実度」は、地形学的あるいは地質学的に活断層の存在の確かさを次の区分で表す。

- ・ 確実度Ⅰ：活断層であることが確実なもの
- ・ 確実度Ⅱ：地表面に変位があるが活断層と判定する決定的資料に欠けるもの
- ・ 確実度Ⅲ：活断層の可能性のあるもの

* 「活動度」は、その活動の程度を示し、1000年につき何メートル動くかという平均変位速度で表す。

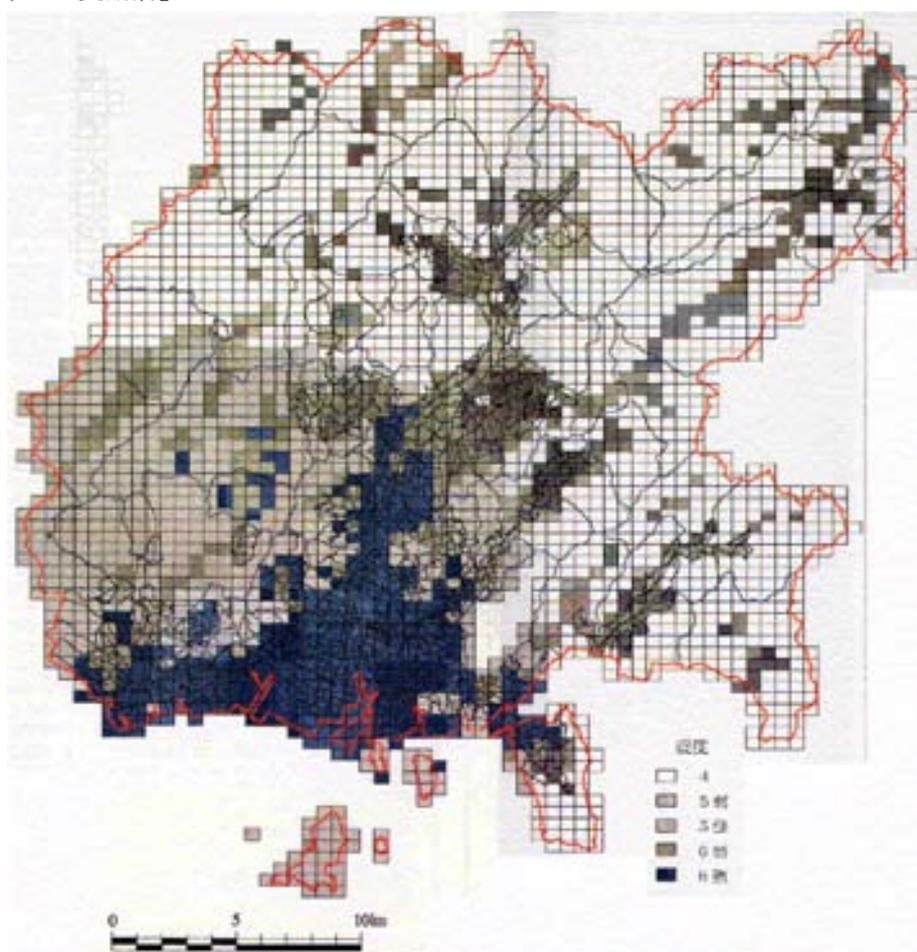
- ・ 活動度A：10～1メートル/1000年
- ・ 活動度B：1～0.1メートル/1000年
- ・ 活動度C：0.1～0.01メートル/1000年

- 地震①～④のうち、再来周期がいちばん短い地震①と広島市街の最大加速度がいちばん大きくなる地震②についてのみ被害想定が行われている。

■ 想定結果

想定地震		安芸灘－伊予灘 (芸予地震)	己斐断層
マグニチュード		7 1/4	6.5
被害予測	地震動 津波	○	○
地震動予測	震度	～6強	～6強
建物被害	建物全壊(大破)棟数	12,704 棟	23,938 棟
	炎上出火件数		
	焼失棟数	7,758 棟	14,556 棟
人的被害	死者数	523 人	1,007 人
	重傷者数	1,363 人	2,667 人
	罹災者数	108,887 人	223,100 人
ライフライン被害	電力(電柱被害)	230 本	401 本
	通信		
	都市ガス(被害箇所数)	472 箇所	3,097 箇所
	上水道(被害箇所数)	828.65 箇所	2,451.27 箇所
	下水道(被害箇所数)	1,447.66 箇所	2,834.23 箇所
備考		罹災者数は延焼火災発生時の被害数	

【震度分布：己斐断層】



大阪市(2004)

■想定地震

大阪市は、上町断層系・生駒断層系・有馬高槻構造線・中央構造線・南海トラフ地震について被害想定を実施している。

■想定結果

想定地震		上町断層系	生駒断層系	有馬高槻構造線
マグニチュード		7.2	6.5~7.2	6.9~7.6
被害予測	地震動	○	○	○
	津波			
地震動予測	震度	~7	~6強	~6弱
建物被害	建物全壊(大破)棟数	86,500棟	7,300棟	1,500棟
	炎上出火件数	267件	59件	19件
	焼失棟数			
人的被害	死者数	6,200人	7,000人	2,000人
	負傷者数	43,400人	4,400人	10,000人
	避難者数	305,000人	37,000人	16,000人
ライフライン被害	電力(停電)	293,000棟	17,000棟	1,000棟
	通信(影響人口)	2,600,000人	2,200,000人	900,000人
	都市ガス(影響戸数)	1,316,000戸	1,316,000戸	759,000戸
	上水道(断水)	2,070,000人	1,820,000人	780,000人
	下水道			
備考	電力被害は需要の高い夏を想定 断水入口には配水管水圧0.098MPa未満となる減水影響人口を含む			

【震度分布：上町断層系】

